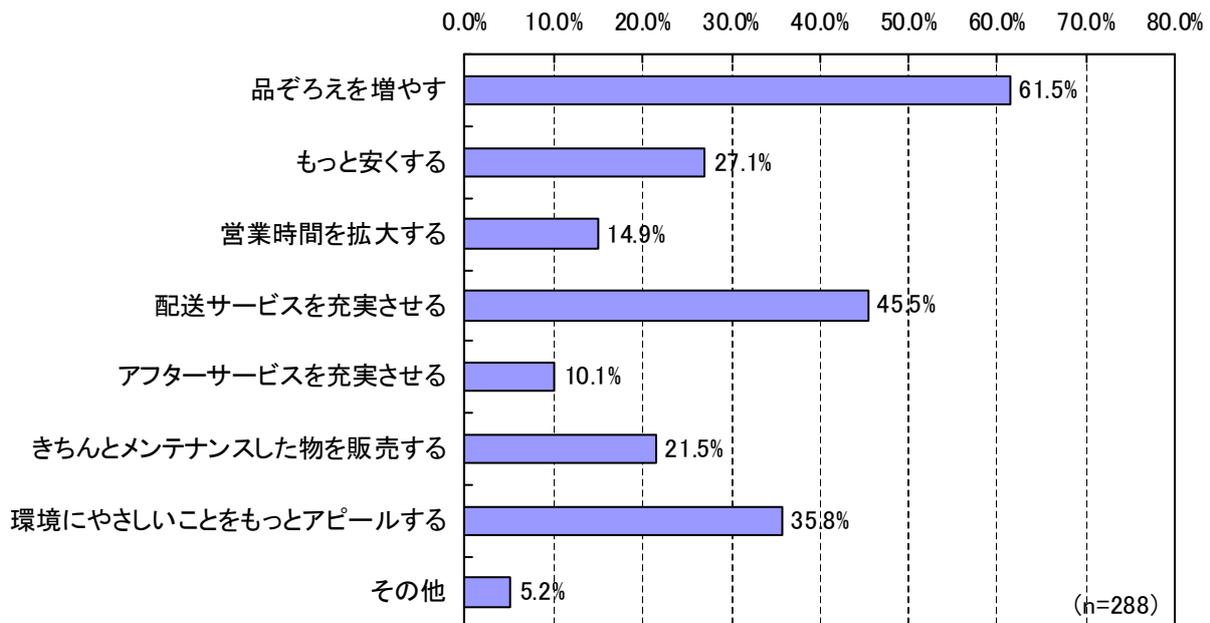


(10) リユース品販売の改善点

リユース品販売の改善点（複数回答可）については、「品ぞろえを増やす」が 61.5%（177 件）と最も多く、次いで「配送サービスを充実させる」が 45.5%（131 件）、「環境にやさしいことをもっとアピールする」が 35.8%（103 件）と続く。

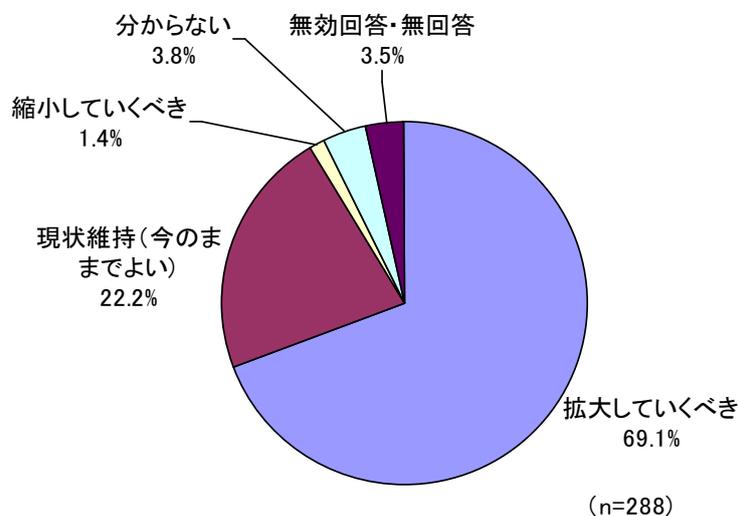
図表 14 リユース品販売の改善点（市川市）



(11) 今後の取り組みへの意見

今後の取り組みについては、「拡大していくべき」が 69.1%（199 件）と最も多く、次いで「現状維持（今のままでよい）」が 22.2%（64 件）、「分からない」が 3.8%（11 件）と続く。

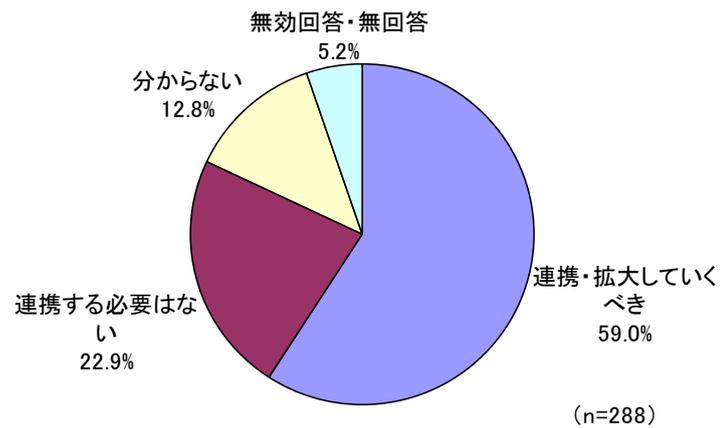
図表 15 今後の取り組みへの意見（市川市）



(12) 民間事業者との連携への意見

民間のリユース事業者との連携については、「連携・拡大していくべき」が 59.0% (170 件) と最も多く、次いで「連携する必要はない」が 22.9% (66 件)、「分からない」が 12.8% (37 件) と続く。

図表 16 民間事業者との連携への意見 (市川市)



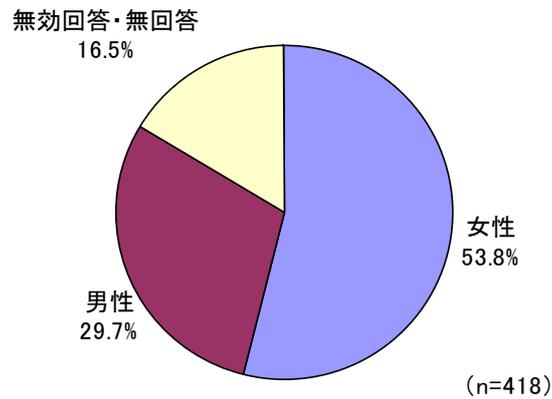
2. 町田市

(1) 回答者の属性

① 性別

回答者の性別は、女性が 53.8% (225 件)、男性が 29.7% (124 件) となっている。

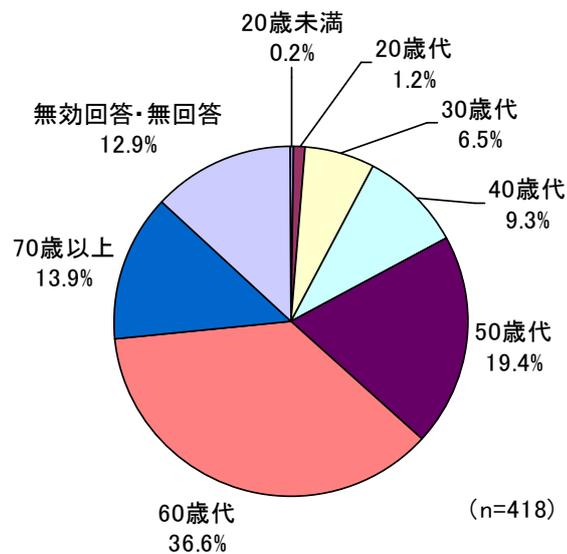
図表 17 回答者の性別 (町田市)



② 年齢構成

回答者の年齢層は、「60 歳代」が 36.6% (153 件) と最も多く、「50 歳代」が 19.4% (81 件)、「70 歳代」が 13.9% (58 件) と続く。

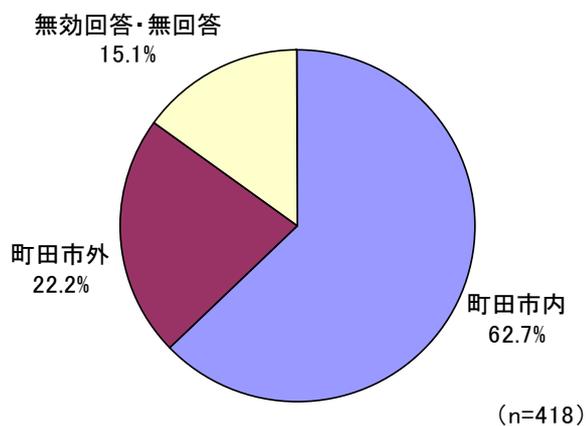
図表 18 回答者の年齢構成 (町田市)



③ 居住地

回答者の居住地は、「町田市内」が62.7%（262件）、「町田市外」が22.2%（93件）となっている。

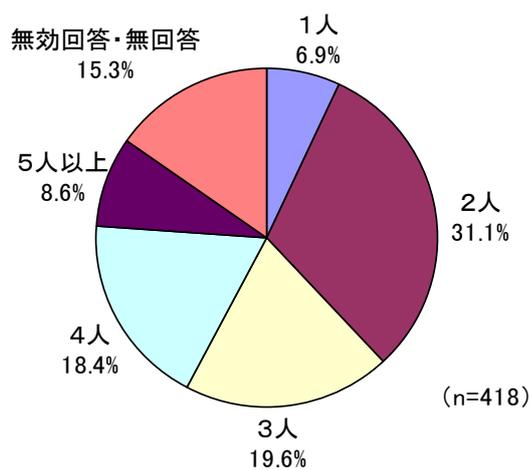
図表 19 回答者の居住地（町田市）



④ 世帯人数

回答者の世帯人数は、「2人」が31.1%（130件）と最も多く、次いで「3人」が19.6%（82件）、「4人」が18.4%（77件）と続く。

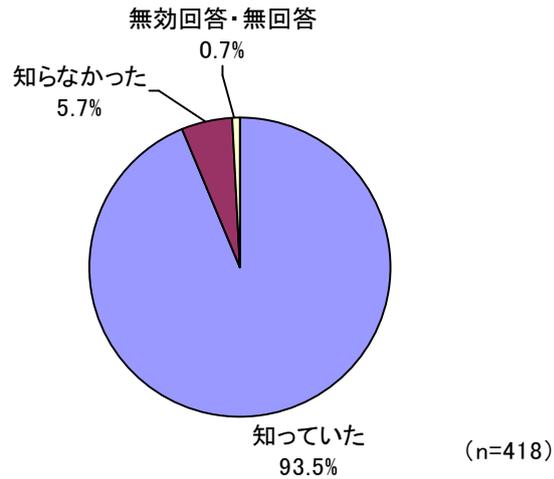
図表 20 回答者の世帯人数（町田市）



(2) リユース品であることに対する認知度

町田市リサイクル公社で販売されている商品がリユース品であることに対する認知度については、「知っていた」が93.5% (391件)、「知らなかった」が5.7% (24件)となっている。

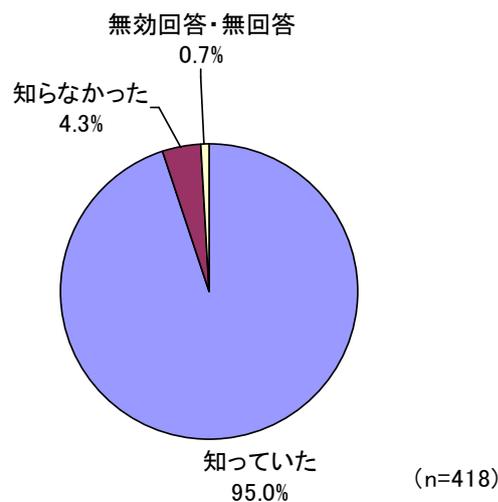
図表 21 リユース品であることに対する認知度 (町田市)



(3) リユースのごみ削減効果に対する認知度

リユースの取り組みがごみ削減に繋がることに対する認知度については、「知っていた」が95.0% (397件)、「知らなかった」が4.3% (18件)となっている。

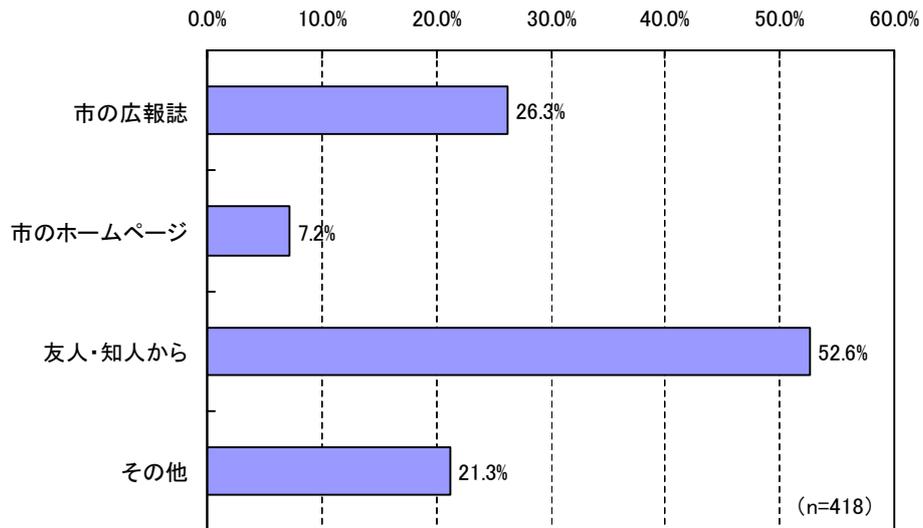
図表 22 ごみ削減効果に対する認知度 (町田市)



(4) リユース品販売の認知機会

リユース品販売を知ったきっかけ（複数回答可）については、「友人・知人から」が52.6%（220件）と最も多く、次いで「市の広報誌」が26.3%（110件）、「その他」が21.3%（89件）と続く。「その他」には「近隣施設を利用した際」、「町田市シルバー人材センターで」等の回答がある。

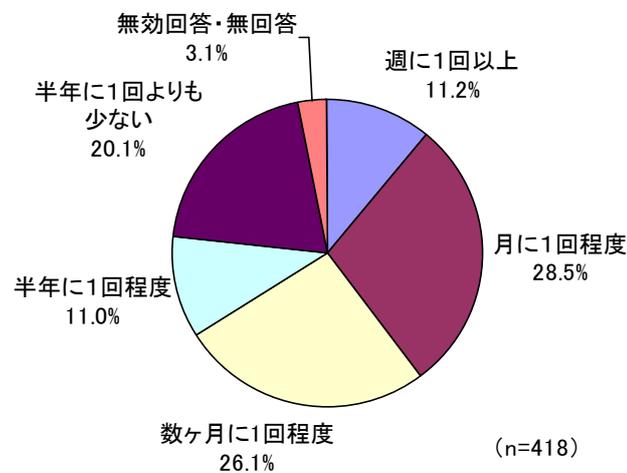
図表 23 リユース品販売を知ったきっかけ（町田市）



(5) 町田市リサイクル公社での購入頻度

町田市リサイクル公社での購入頻度については、「月に1回程度」が28.5%（119件）と最も多く、次いで「数ヶ月に1回程度」が26.1%（109件）、「半年に1回よりも少ない」が20.1%（84件）と続く。

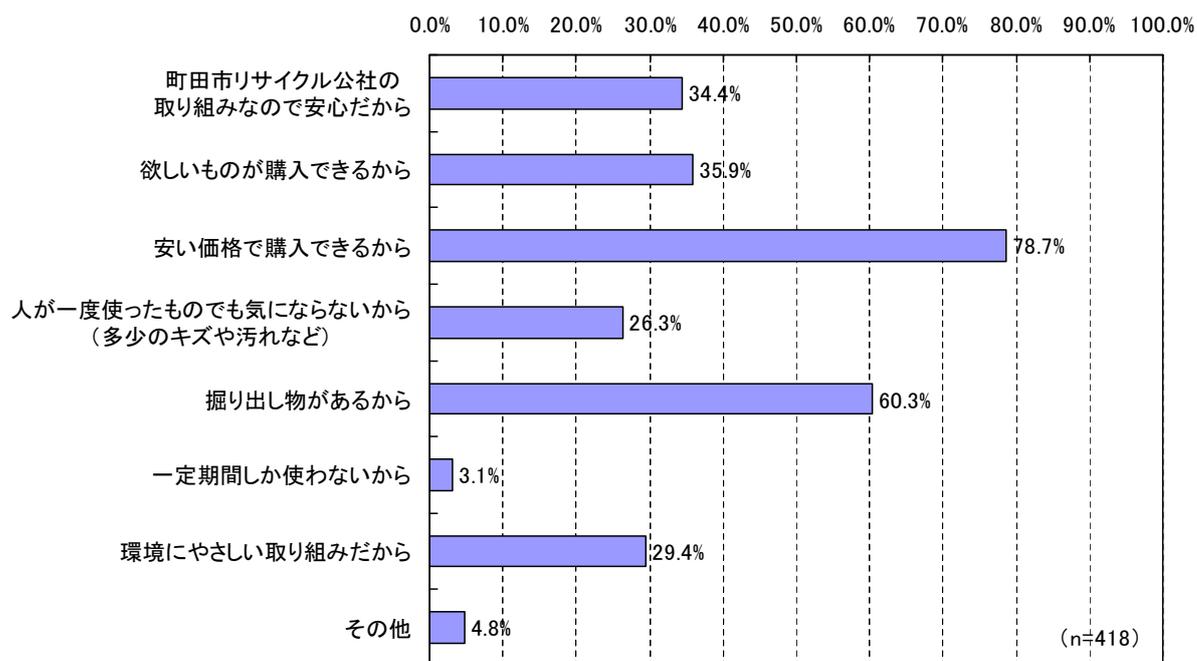
図表 24 町田市リサイクル公社での購入頻度（町田市）



(6) 町田市リサイクル公社での購入理由

町田市リサイクル公社での購入理由（複数回答可）については、「安い価格で購入できるから」が78.7%（329件）と最も多く、次いで「掘り出し物があるから」が60.3%（252件）、
「欲しいものが購入できるから」が35.9%（150件）と続く。

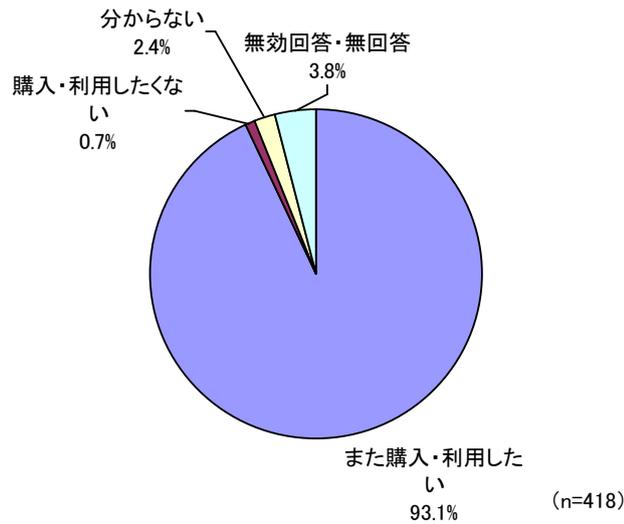
図表 25 町田市リサイクル公社での購入理由（町田市）



(7) 今後の購入意向

リユース品の今後の購入意向については、「また購入・利用したい」が93.1%（389件）と最も多く、次いで「分からない」が2.4%（10件）、「購入・利用したくない」が0.7%（3件）と続く。

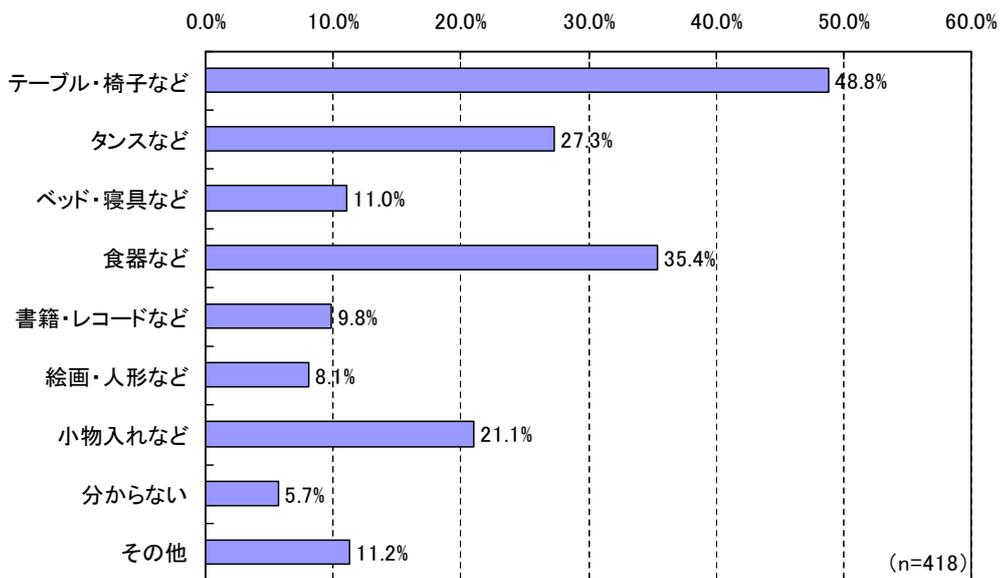
図表 26 今後の購入意向（町田市）



(8) 今後購入したい品物

今後購入したいもの（複数回答可）については、「テーブル・椅子など」が48.8%（204件）と最も多く、次いで「食器など」が35.4%（148件）、「タンスなど」が27.3%（114件）と続く。

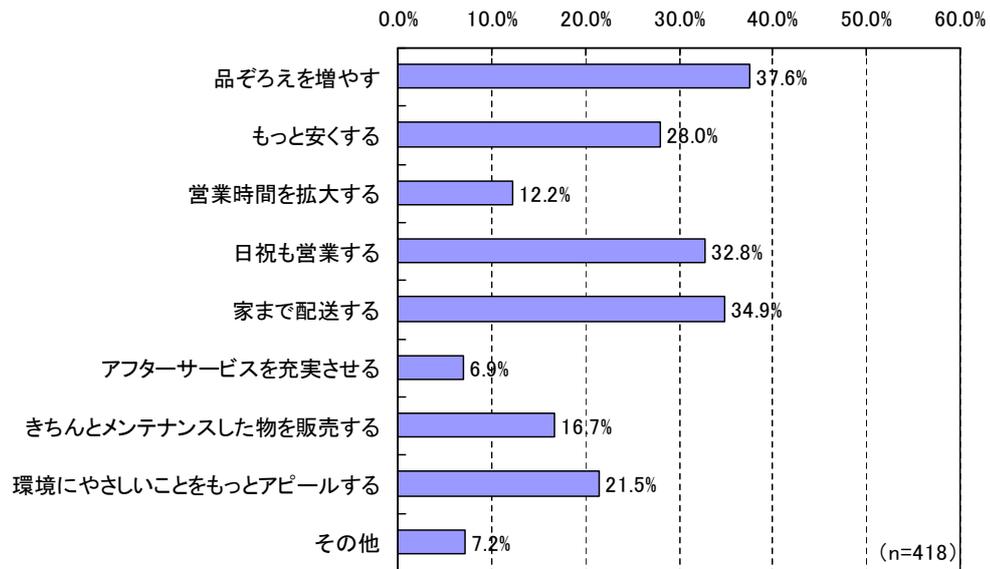
図表 27 今後購入したい品物（町田市）



(9) リユース品販売の改善点

リユース品販売の改善点（複数回答可）については、「品ぞろえを増やす」が 37.6%（157 件）と最も多く、次いで「家まで配送する」が 34.9%（146 件）、「日祝も営業する」が 32.8%（137 件）と続く。

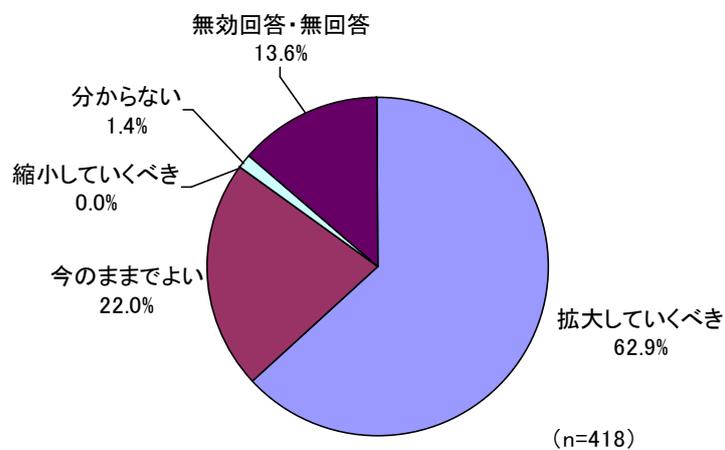
図表 28 リユース品販売の改善点（町田市）



(10) 今後の取り組みへの意見

今後の取り組みについては、「拡大していくべき」が 62.9%（263 件）と最も多く、次いで「今のままでよい」が 22.0%（92 件）、「分からない」が 1.4%（6 件）と続く。

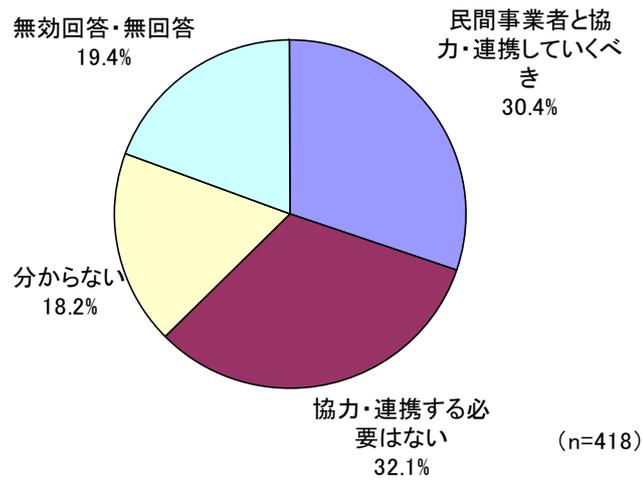
図表 29 今後の取り組みへの意見（町田市）



(11) 民間事業者との連携への意見

民間のリユース事業者との連携については、「協力・連携する必要はない」が 32.1% (134 件) と最も多く、次いで「民間事業者と協力・連携していくべき」が 30.4% (127 件)、「分からない」が 18.2% (76 件) と続く。

図表 30 民間事業者との連携への意見 (町田市)



3. 真庭市

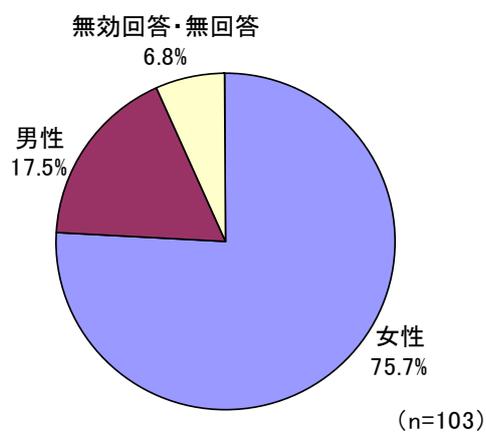
3.1 「リサイクルプラザまにわ」

(1) 回答者の属性

① 性別

回答者の性別は、「女性」が 75.7% (78 件)、「男性」が 17.5% (18 件) となっている。

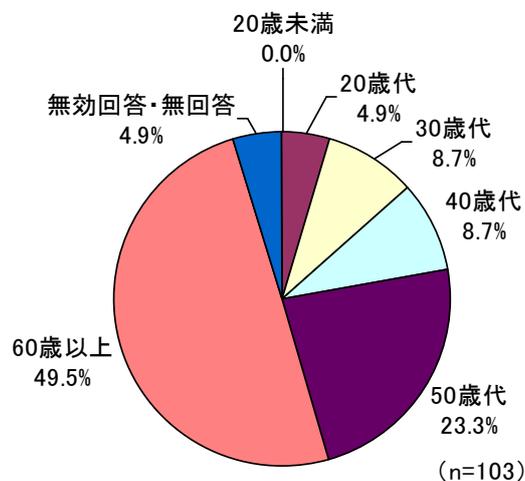
図表 31 回答者の性別 (真庭市・リサイクルプラザまにわ)



② 年齢構成

回答者の年齢層は、「60歳以上」が 49.5% (51 件) と最も多く、「50歳代」が 23.3% (24 件)、「40歳代」と「30歳代」がそれぞれ 8.7% (9 件) と続く。

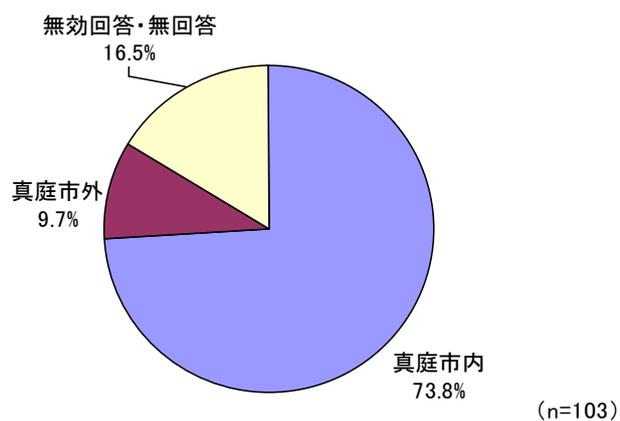
図表 32 回答者の年齢構成 (真庭市・リサイクルプラザまにわ)



③ 居住地

回答者の居住地は、「真庭市内」が 73.8% (76 件)、「真庭市外」が 9.7% (10 件) となっている。

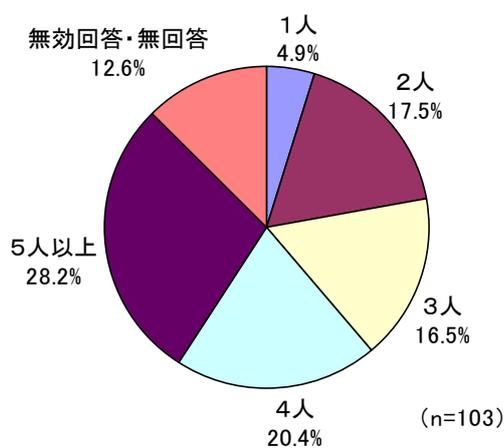
図表 33 回答者の居住地 (真庭市・リサイクルプラザまにわ)



④ 世帯人数

回答者の世帯人数は、「5人以上」が 28.2% (29 件) と最も多く、次いで「4人」が 20.4% (21 件)、「2人」が 17.5% (18 件) と続く。

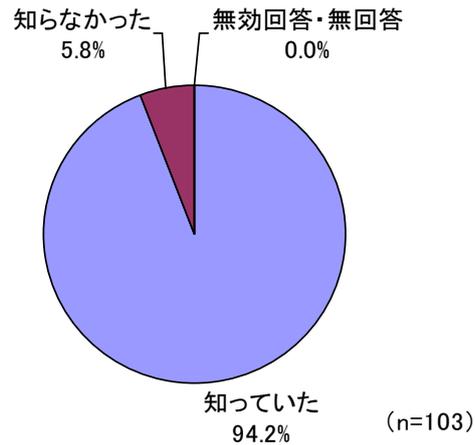
図表 34 回答者の世帯人数 (真庭市・リサイクルプラザまにわ)



(2) リユース品であることに対する認知度

リサイクルプラザまにわで販売されている商品がリユース品であることに対する認知度については、「知っていた」が94.2%（97件）、「知らなかった」が5.8%（6件）となっている。

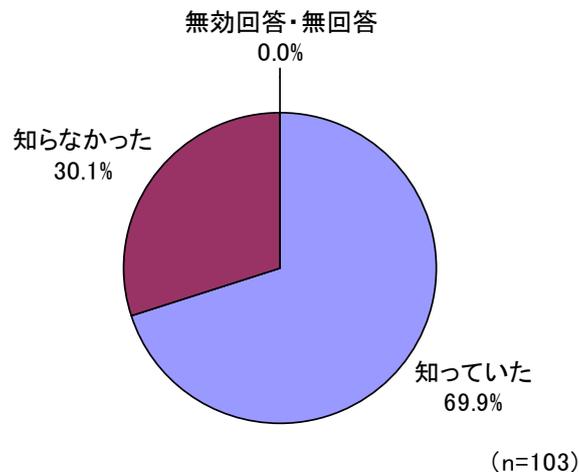
図表 35 リユース品であることに対する認知度（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(3) リサイクルプラザまにわの運営者に対する認知度

リサイクルプラザまにわが市民ボランティア団体「リサイクルプラザまにわの会」によって運営されていることに対する認知度については、「知っていた」が69.9%（72件）、「知らなかった」が30.1%となっている（31件）。

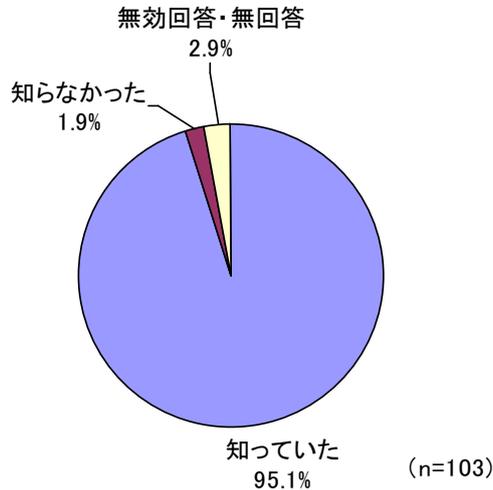
図表 36 リサイクルプラザまにわの運営者に対する認知度（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(4) リユースのごみ削減効果に対する認知度

リユースの取り組みがごみ削減に繋がることに対する認知度については、「知っていた」が95.1%（98件）、「知らなかった」が1.9%（2件）となっている。

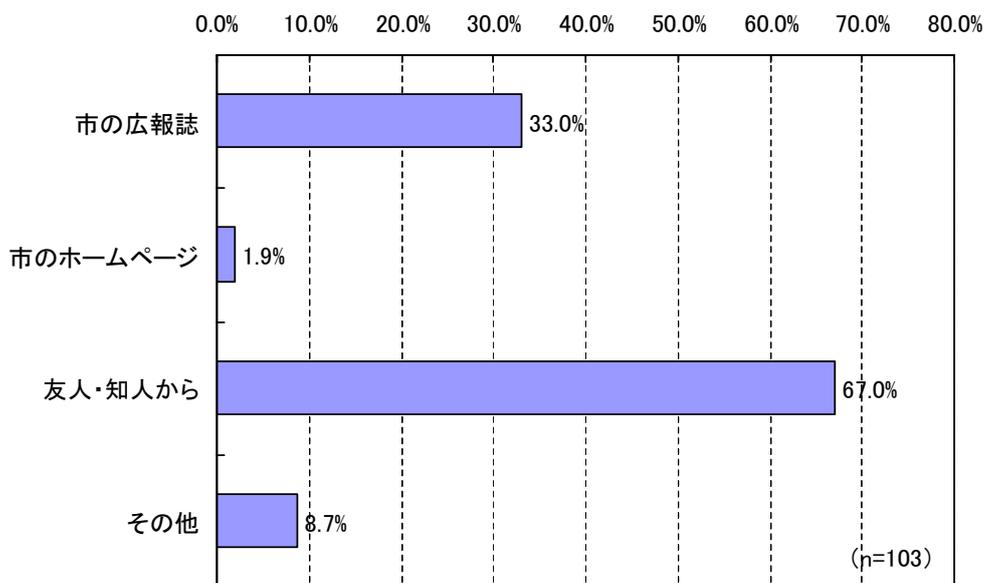
図表 37 ごみ削減効果に対する認知度（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(5) リユース品販売の認知機会

リユース品販売を知ったきっかけ（複数回答可）については、「友人・知人から」が67.0%（69件）と最も多く、次いで「市の広報誌」が33.0%（34件）、「その他」が8.7%（9件）と続く。「その他」には「のぼりを見て」等の回答がある。

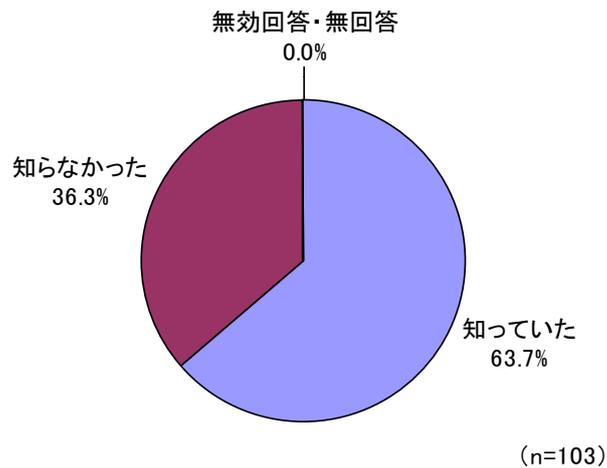
図表 38 リユース品販売を知ったきっかけ（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(6) リサイクルプラザまにわに対する認知度

リサイクルプラザまにわに対する認知度については、「知っていた」が 63.7% (65 件)、「知らなかった」が 36.3% (37 件) となっている。

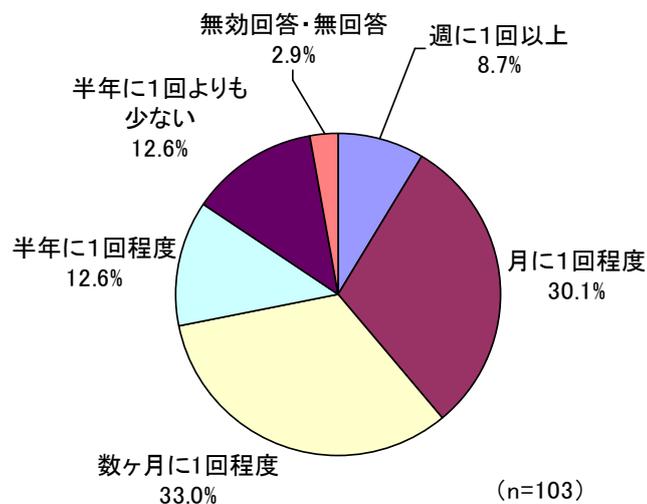
図表 39 リサイクルプラザまにわに対する認知度 (真庭市・リサイクルプラザまにわ)



(7) リサイクルプラザまにわでの購入頻度

リサイクルプラザまにわでの購入頻度については、「数ヶ月に1回程度」が 33.0% (34 件) と最も多く、次いで「月に1回程度」が 30.1% (31 件)、「半年に1回程度」と「半年に1回よりも少ない」がそれぞれ 12.6% (13 件) と続く。

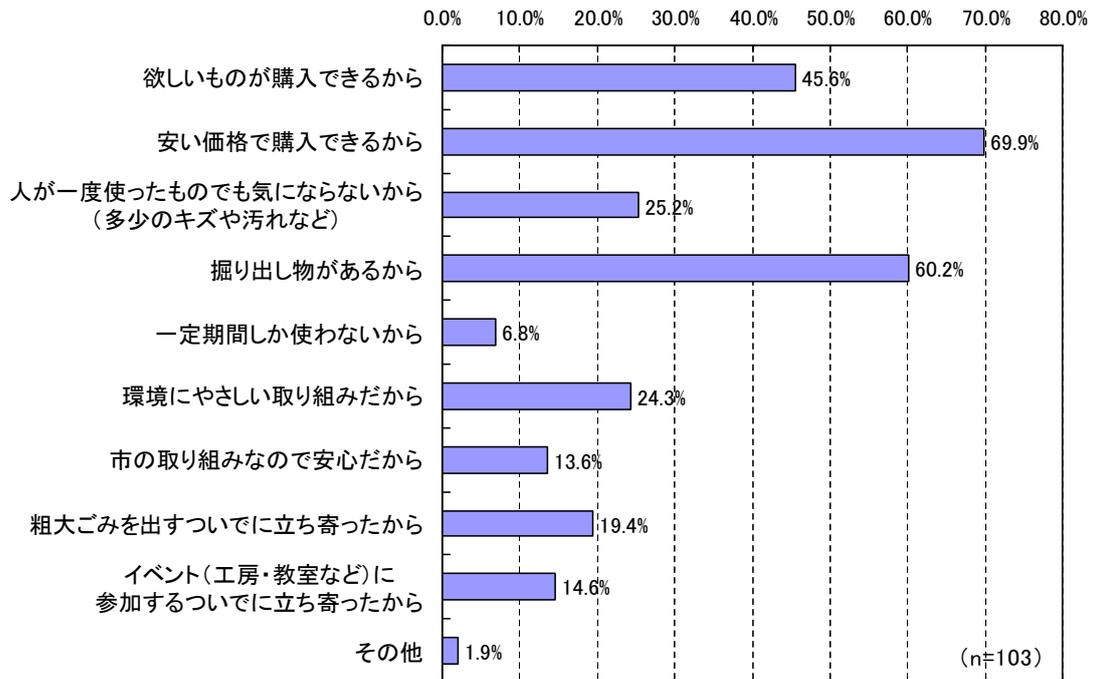
図表 40 リサイクルプラザまにわでの購入頻度 (真庭市・リサイクルプラザまにわ)



(8) リサイクルプラザまにわでの購入理由

リサイクルプラザまにわでの購入理由（複数回答可）については、「安い価格で購入できるから」が69.9%（72件）と最も多く、次いで「掘り出し物があるから」が60.2%（62件）、「欲しいものが購入できるから」が45.6%（47件）と続く。

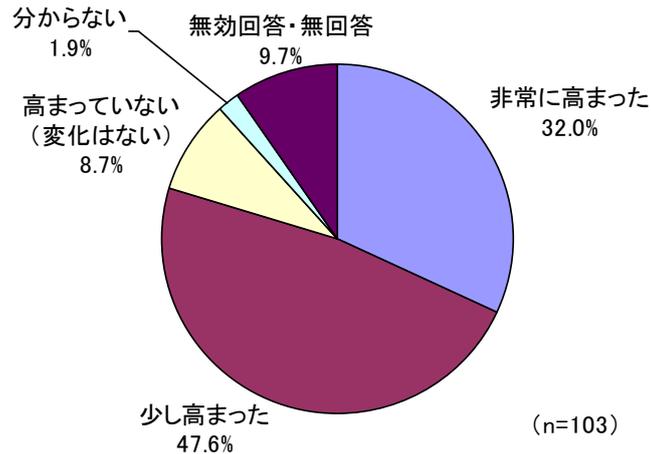
図表 41 リサイクルプラザまにわでの購入理由（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(9) リユース品購入を通しての環境意識の変化

リユース品購入を通しての環境意識の変化については、「少し高まった」が47.6%（49件）と最も多く、次いで「非常に高まった」が32.0%（33件）、「高まっていない（変化はない）」が8.7%（9件）と続く。

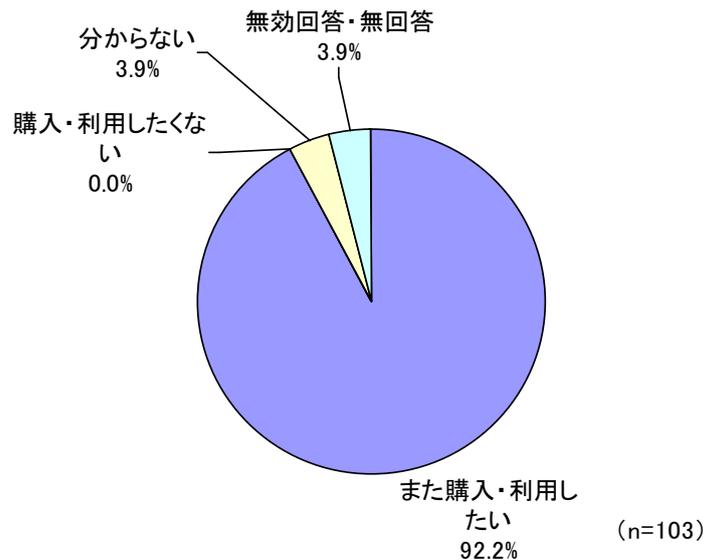
図表 42 リユース品購入を通しての環境意識の変化（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(10) 今後の購入意向

リユース品の今後の購入意向については、「また購入・利用したい」が92.2%（95件）、「分からない」が3.9%（4件）となっている。

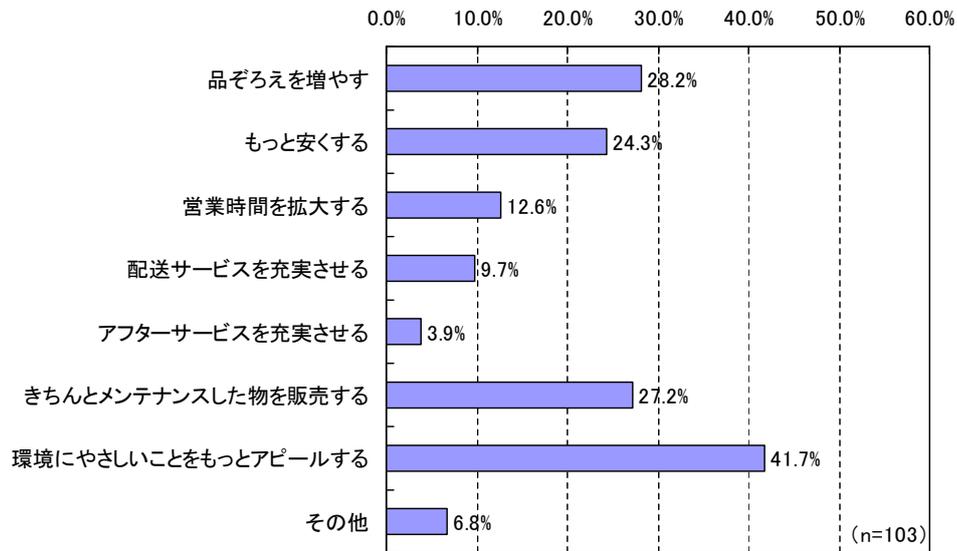
図表 43 今後の購入意向（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(11) リユース品販売の改善点

リユース品販売の改善点（複数回答可）については、「環境にやさしいことをもっとアピールする」が41.7%（43件）と最も多く、次いで「品ぞろえを増やす」が28.2%（29件）、「きちんとメンテナンスした物を販売する」が27.2%（28件）と続く。

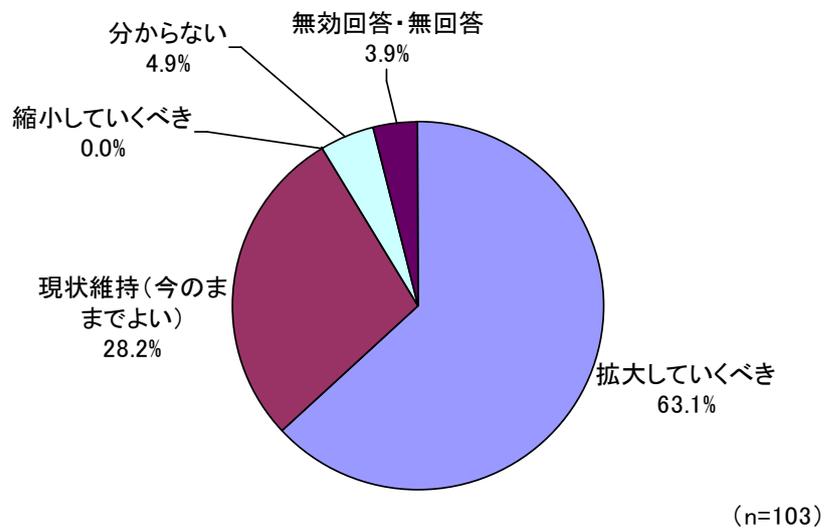
図表 44 リユース品販売の改善点（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(12) 今後の取り組みへの意見

今後の取り組みについては、「拡大していくべき」が63.1%（65件）と最も多く、次いで「現状維持（今のままでよい）」が28.2%（29件）、「分からない」が4.9%（5件）と続く。

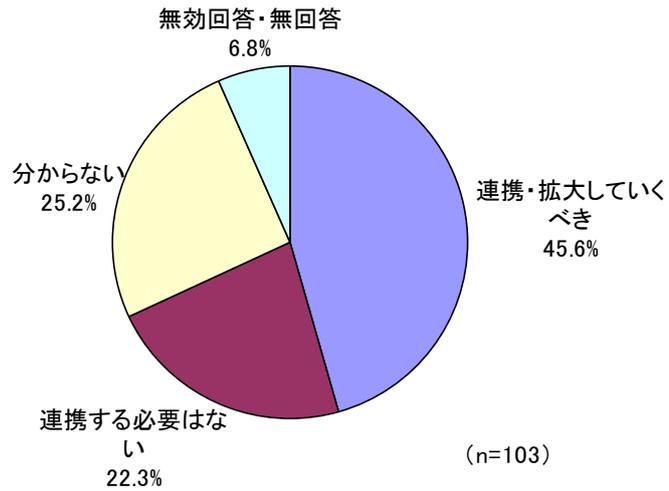
図表 45 今後の取り組みへの意見（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



(13) 民間事業者との連携への意見

民間のリユース事業者との連携については、「連携・拡大していくべき」が45.6%（47件）と最も多く、次いで「分からない」が25.2%（26件）、「連携する必要はない」が22.3%（23件）と続く。

図表 46 民間事業者との連携への意見（真庭市・リサイクルプラザまにわ）



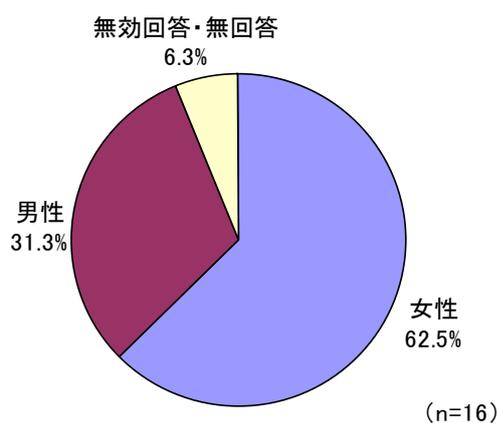
3.2 「リユースプラザ醍醐の里」

(1) 回答者の属性

① 性別

回答者の性別は、「女性」が 62.5%（10 件）、「男性」が 31.3%（5 件）となっている。

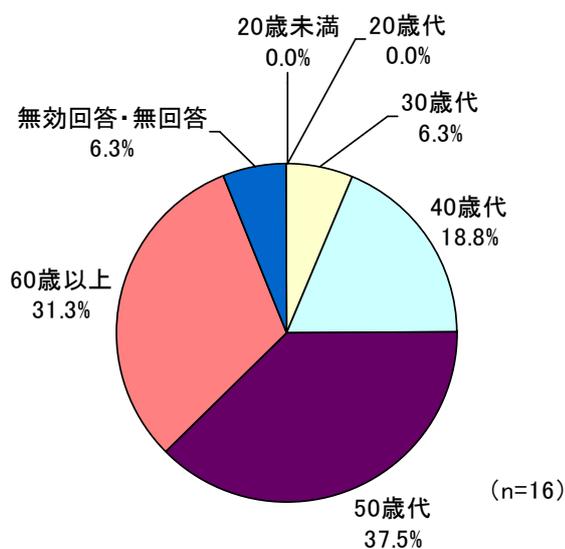
図表 47 回答者の性別（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



② 年齢構成

回答者の年齢層は、「50 歳代」が 37.5%（6 件）と最も多く、「60 歳以上」が 31.3%（5 件）、「40 歳代」が 18.8%（3 件）と続く。

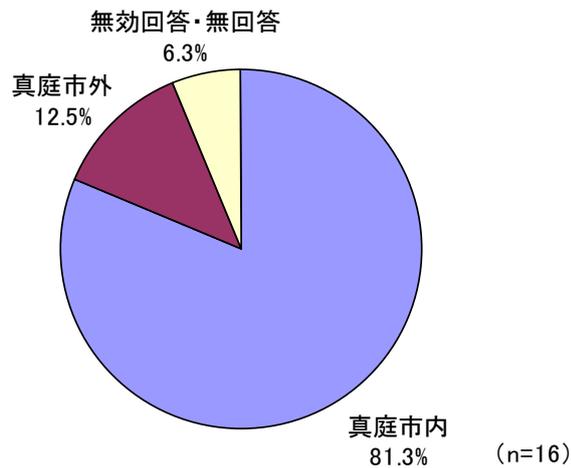
図表 48 回答者の年齢構成（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



③ 居住地

回答者の居住地は、「真庭市内」が 81.3%（13 件）、「真庭市外」が 12.5%（2 件）となっている。

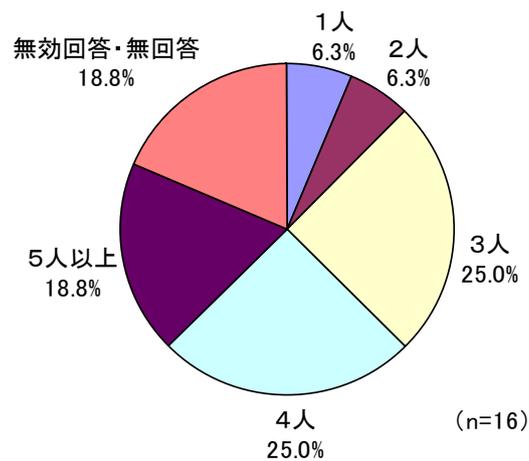
図表 49 回答者の居住地（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



④ 世帯人数

回答者の世帯人数は、「4人」と「3人」がそれぞれ 25.0%（4 件）と最も多く、次いで「5人以上」が 18.8%（3 件）と続く。

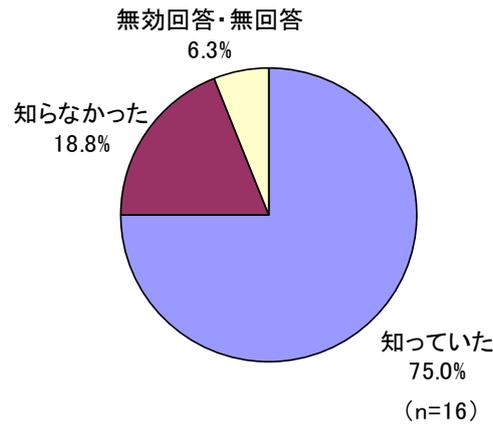
図表 50 回答者の世帯人数（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(2) リユース品であることに対する認知度

リユースプラザ醍醐の里で販売されている商品がリユース品であることに対する認知度については、「知っていた」が75.0%（12件）、「知らなかった」が18.8%（3件）となっている。

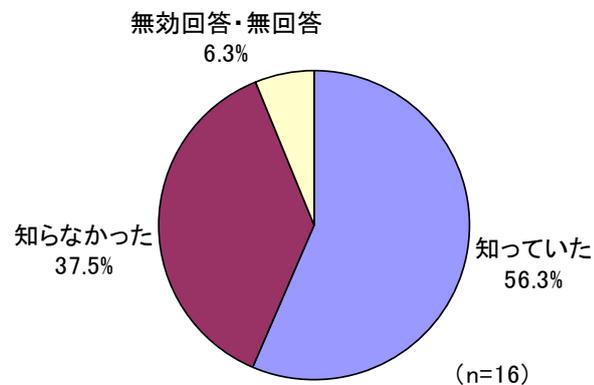
図表 51 リユース品であることに対する認知度（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(3) リユースプラザ醍醐の里の運営者に対する認知度

リユースプラザ醍醐の里が市民ボランティア団体「まにわりリユースプラザの会」によって運営されていることに対する認知度については、「知っていた」が56.3%（9件）、「知らなかった」が37.5%（6件）となっている。

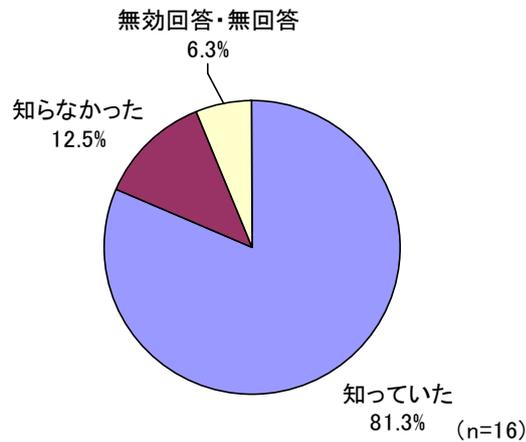
図表 52 リユースプラザ醍醐の里の運営者に対する認知度（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(4) リユースのごみ削減効果に対する認知度

リユースの取り組みがごみ削減に繋がることに対する認知度については、「知っていた」が81.3%（13件）、「知らなかった」が12.5%（2件）となっている。

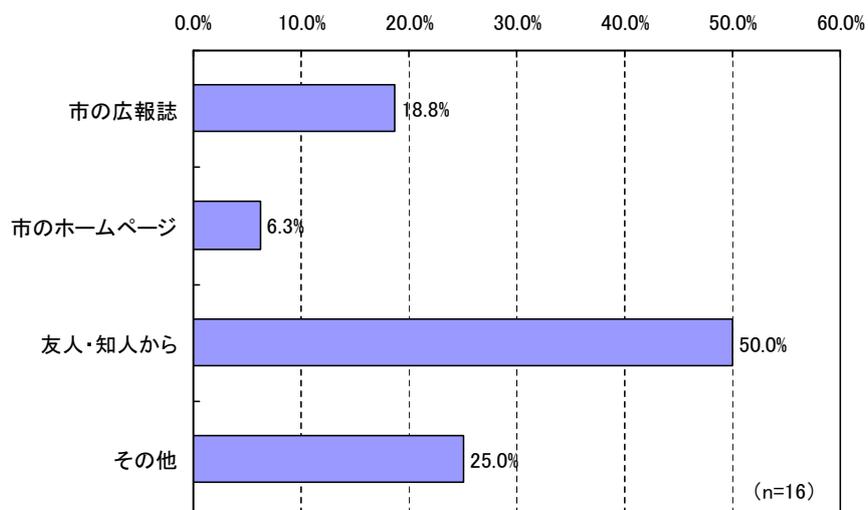
図表 53 ごみ削減効果に対する認知度（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(5) リユース品販売の認知機会

リユース品販売を知ったきっかけ（複数回答可）については、「友人・知人から」が50.0%（8件）と最も多く、次いで「その他」が25.0%（4件）、「市の広報誌」が18.8%（3件）と続く。「その他」には、「醍醐の里へ来て知った」、「取り組み開始前から知っていた」といった回答がある。

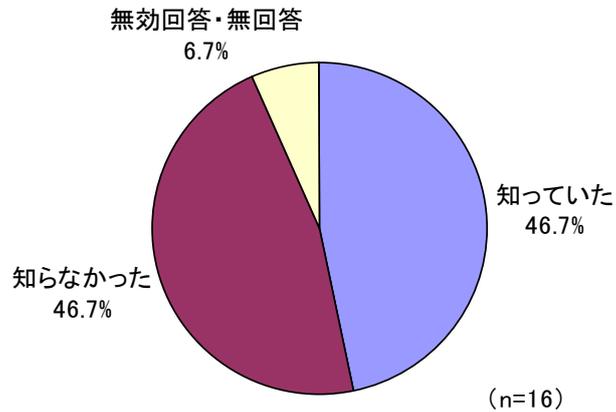
図表 54 リユース品販売を知ったきっかけ（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(6) リユースプラザ醍醐の里に対する認知度

「リユースプラザ醍醐の里」に対する認知度については、「知っていた」と「知らなかった」がそれぞれ46.7%（7件）となっている。

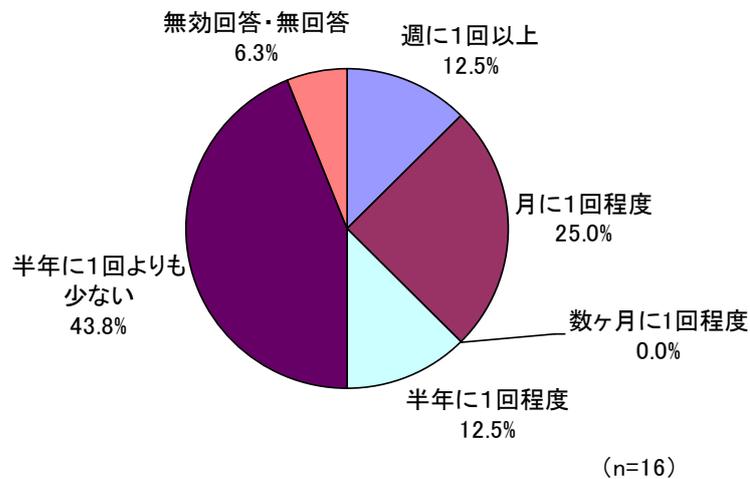
図表 55 リユースプラザ醍醐の里に対する認知度（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(7) リユースプラザ醍醐の里での購入頻度

リユースプラザ醍醐の里での購入頻度については、「半年に1回よりも少ない」が43.8%（7件）と最も多く、次いで「月に1回程度」が25.0%（4件）、「週に1回以上」と「半年に1回程度」が12.5%（2件）と続く。

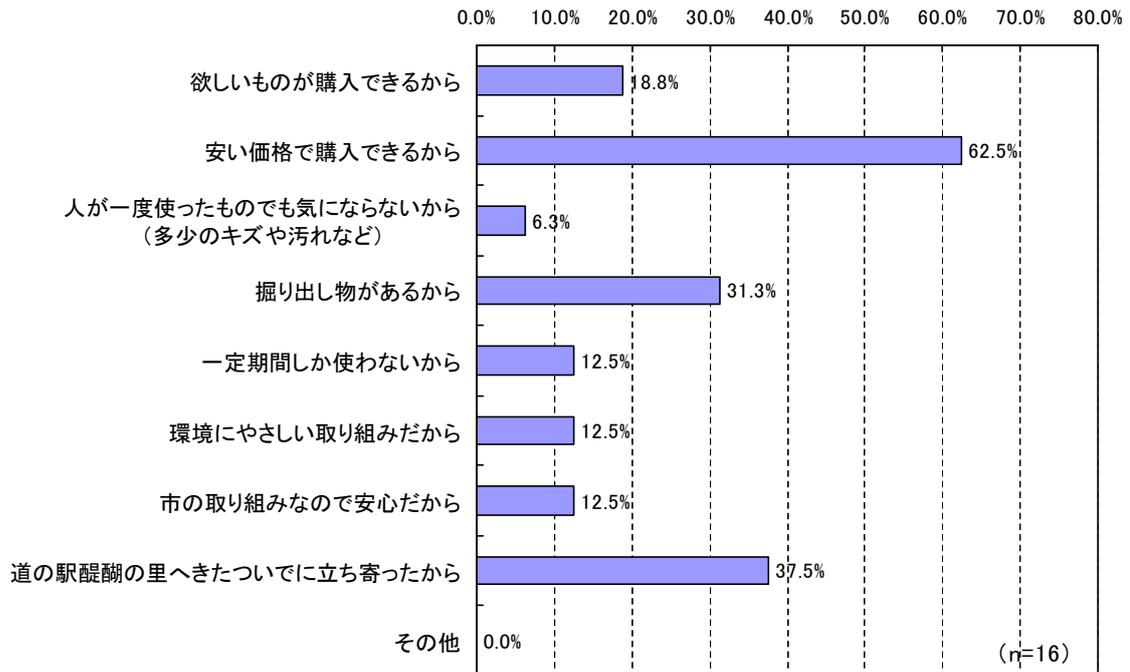
図表 56 リユースプラザ醍醐の里での購入頻度（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(8) リユースプラザ醍醐の里での購入理由

リユースプラザ醍醐の里での購入理由（複数回答可）については、「安い価格で購入できるから」が62.5%（10件）と最も多く、次いで「道の駅醍醐の里へきたついでに立ち寄ったから」が37.5%（6件）、「掘り出し物があるから」が31.3%（5件）と続く。

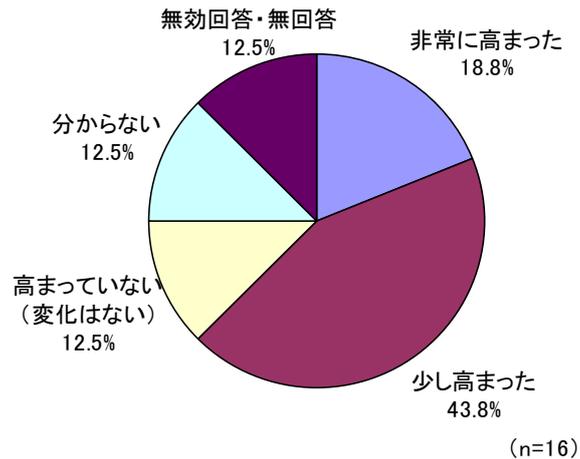
図表 57 リユースプラザ醍醐の里での購入理由（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(9) リユース品購入を通しての環境意識の変化

リユース品購入を通しての環境意識の変化については、「少し高まった」が43.8%（7件）と最も多く、次いで「非常に高まった」が18.8%（3件）、「高まっていない（変化はない）」と「分からない」がそれぞれ12.5%（2件）と続く。

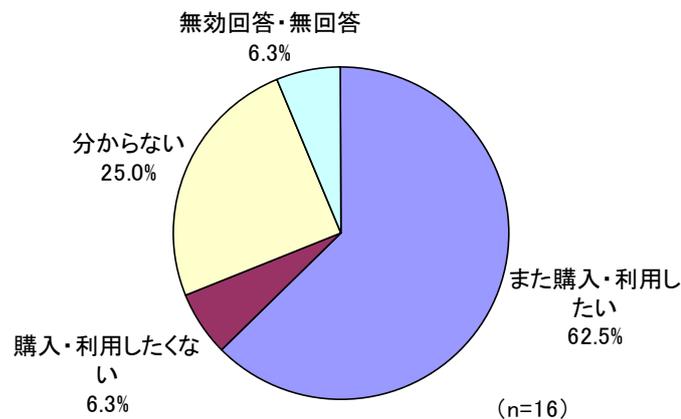
図表 58 リユース品購入を通しての環境意識の変化（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(10) 今後の購入意向

リユース品の今後の購入意向については、「また購入・利用したい」が62.5%（10件）と最も多く、次いで「分からない」が25.0%（4件）、「購入・利用したくない」が6.3%（1件）と続く。

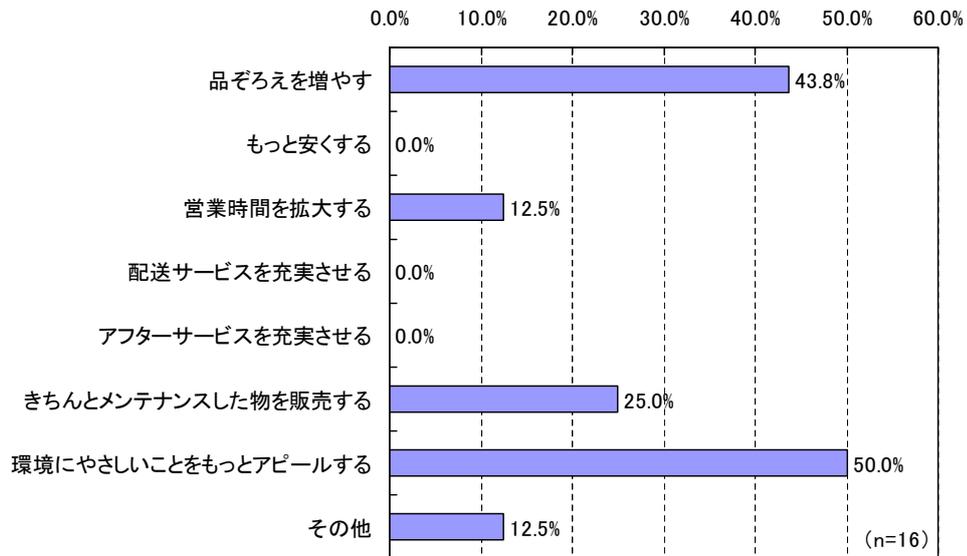
図表 59 今後の購入意向（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(11) リユース品販売の改善点

リユース品販売の改善点（複数回答可）については、「環境にやさしいことをもっとアピールする」が 50.0%（8 件）と最も多く、次いで「品ぞろえを増やす」が 43.8%（7 件）、「きちんとメンテナンスした物を販売する」が 25.0%（4 件）と続く。

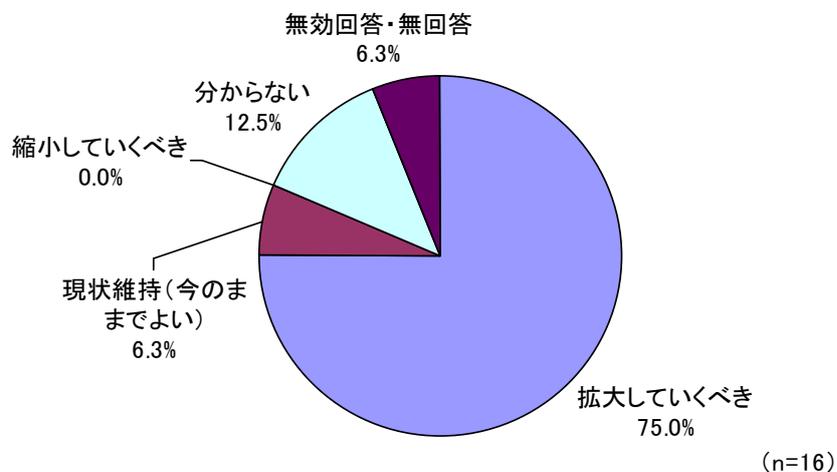
図表 60 リユース品販売の改善点（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(12) 今後の取り組みへの意見

今後の取り組みについては、「拡大していくべき」が 75.0%（12 件）と最も多く、次いで「分からない」が 12.5%（2 件）、「現状維持（今のままでよい）」が 6.3%（1 件）と続く。

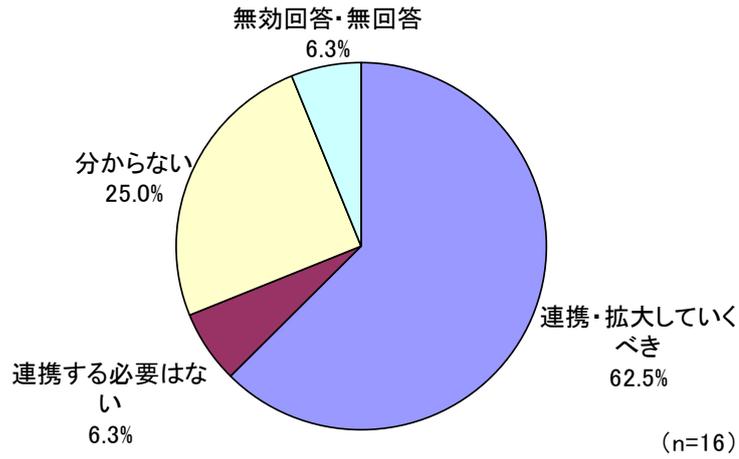
図表 61 今後の取り組みへの意見（真庭市・リユースプラザ醍醐の里）



(13) 民間事業者との連携への意見

民間のリユース事業者との連携への意見については、「連携・拡大していくべき」が62.5% (10件)と最も多く、次いで「分からない」が25.0% (4件)、「連携する必要はない」が6.3% (1件)と続く。

図表 62 民間事業者との連携への意見 (真庭市・リユースプラザ醍醐の里)



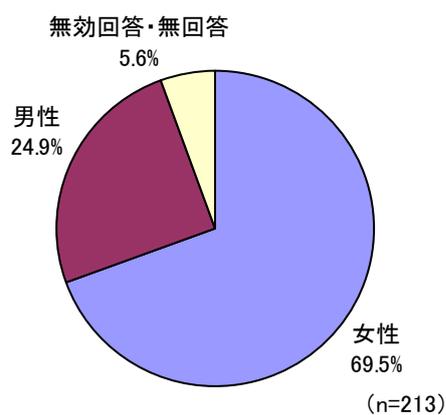
4. 熊本市

(1) 回答者の属性

① 性別

回答者の性別は、「女性」が 69.5% (148 件)、「男性」が 24.9% (53 件) となっている。

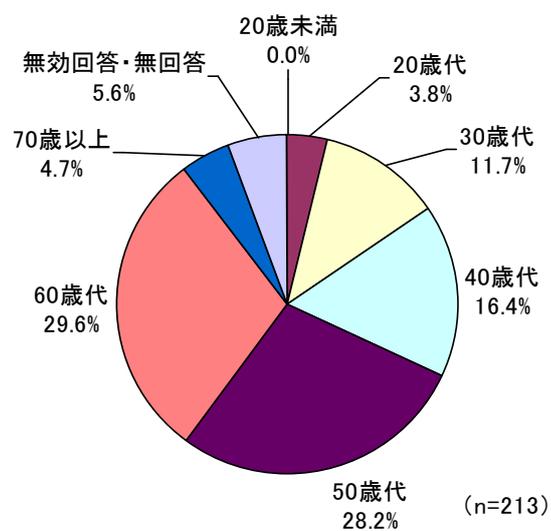
図表 63 回答者の性別 (熊本市)



② 年齢構成

回答者の年齢層は、「60歳代」が 29.6% (63 件) と最も多く、「50歳代」が 28.2% (60 件)、「40歳代」が 16.4% (35 件) と続く。

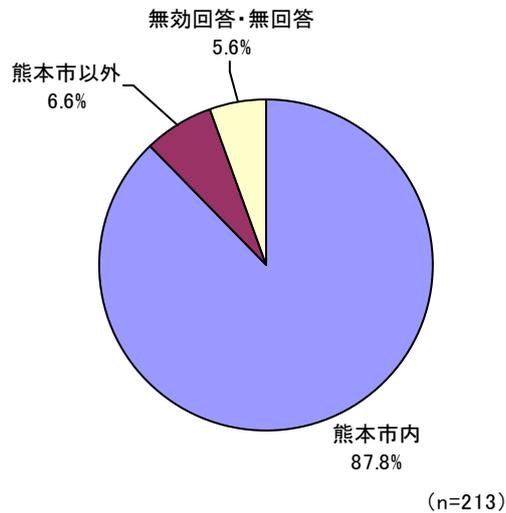
図表 64 回答者の年齢構成 (熊本市)



③ 居住地

回答者の居住地は、「熊本市内」が 87.8%（187 件）、「熊本市以外」が 6.6%（14 件）となっている。

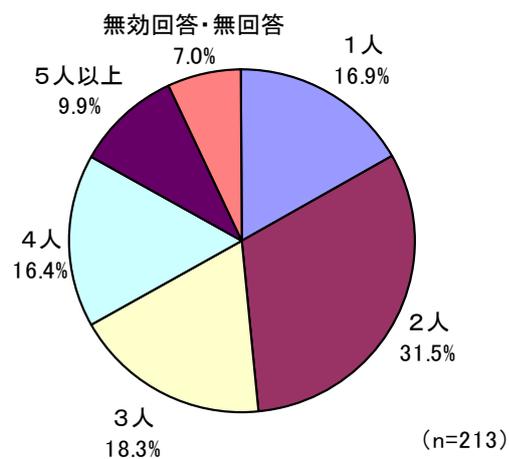
図表 65 回答者の居住地（熊本市）



④ 世帯人数

回答者の世帯人数は、「2人」が 31.5%（67 件）と最も多く、次いで「3人」が 18.3%（39 件）、「1人」が 16.9%（36 件）と続く。

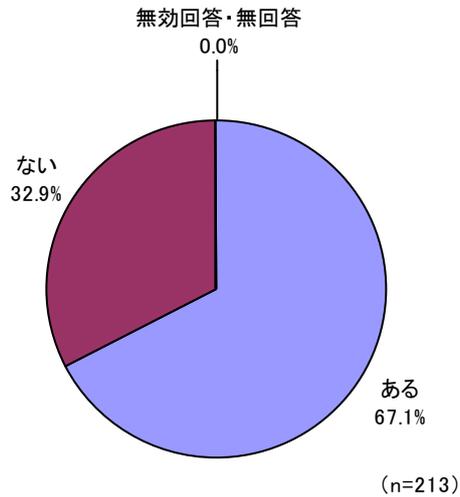
図表 66 回答者の世帯人数（熊本市）



(2) リユースに関する経験の有無

いままでに不用品の売却・購入または譲り受け・譲り渡しを行った経験の有無については、「ある」が 67.1% (143 件)、「ない」が 32.9% (70 件) となっている。

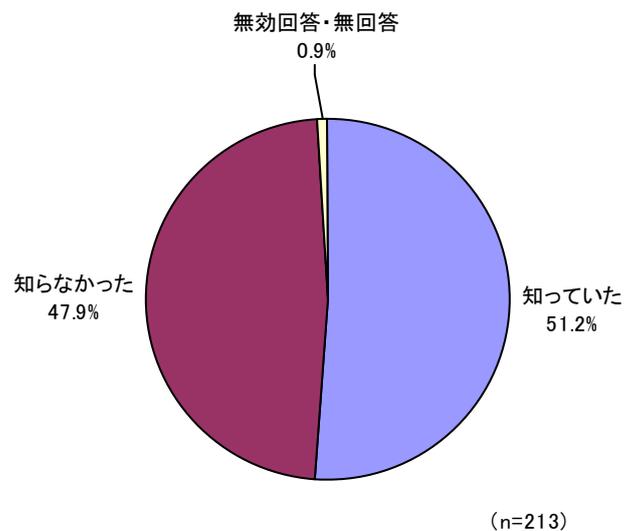
図表 67 リユースに関する経験の有無 (熊本市)



(3) 熊本市のリユースの取り組みに対する認知度

熊本市リサイクル情報プラザにてリユースの取り組みが行われていることに対する認知度については、「知っていた」が 51.2% (109 件)、「知らなかった」が 47.9% (102 件) となっている。

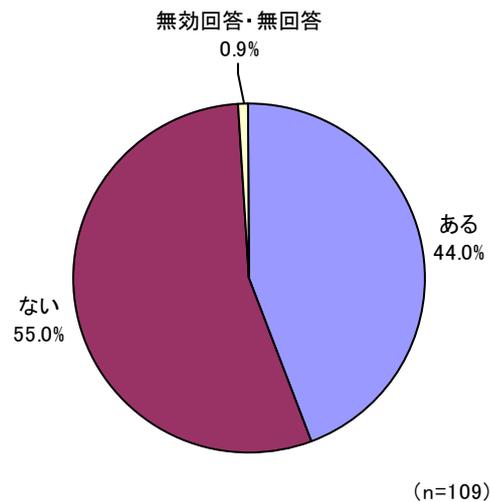
図表 68 熊本市のリユースの取り組みに対する認知度 (熊本市)



(4) 熊本市リサイクル情報プラザの利用経験（熊本市のリユースの取り組みを知っていた方が対象）

熊本市リサイクル情報プラザで実施されている譲り受け・譲り渡し制度の利用経験については、「ある」が44.0%（48件）、「ない」が55.0%（60件）となっている。

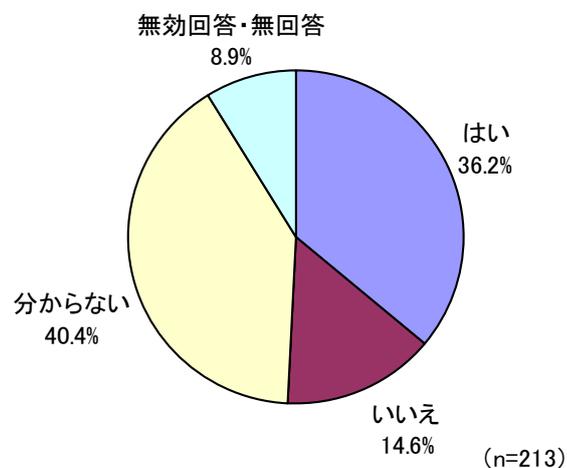
図表 69 熊本市リサイクル情報プラザの利用経験（熊本市）



(5) 有償になった場合の利用予定

熊本市リサイクル情報プラザでは、市民から不用品を引き取り、希望する市民にすべて無償で提供している。不用品の無料提供が有償となった場合の利用については、「分からない」が40.4%（86件）と最も多く、次いで「はい」（利用する）が36.2%（77件）、「いいえ」（利用しない）が14.6%（31件）と続く。

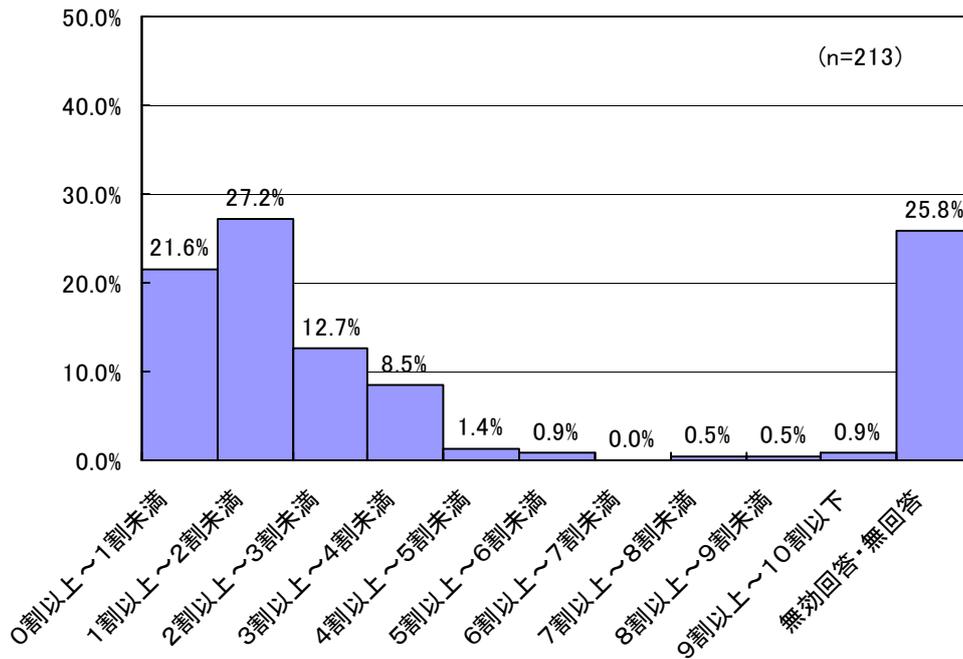
図表 70 有償になった場合の利用予定（熊本市）



(6) リユース品の適正価格

リユース品の適正価格（新品に対する割合を自由回答）については、「1割以上2割未満」の回答が 27.2%（58 件）と最も多く、次いで「0割以上～1割未満」の回答が 21.6%（46 件）、「2割以上～3割未満」の回答が 12.7%（27 件）と続く。

図表 71 リユース品の適正価格



※設問は「有償（有料）で引渡しを行う場合に、新品の何割程度の価格が適切だと思いますか。」としており、0～10の数字による回答が想定される。

※10より大きな回答については、無効回答として集計した。（具体的には20、50などの回答があるが、これは「割」ではなく「%」と勘違いして回答されたものと推測される。無記名のアンケートであり、確認ができないため、ここでは無効回答として集計する。）

(7) リユース品の許容価格

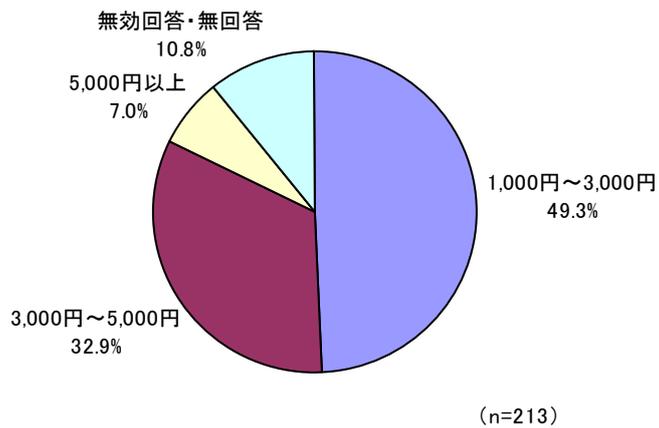
① サンプル1（家具類）の許容価格

サンプル1（家具類、図表 72）の許容価格については、「1,000 円～3,000 円」が 49.3%（105 件）と最も多く、次いで「3,000 円～5,000 円」が 32.9%（70 件）、「5,000 円以上」が 7.0%（15 件）と続く。

図表 72 サンプル1（家具類）の写真



図表 73 サンプル1（家具類）の許容価格（熊本市）



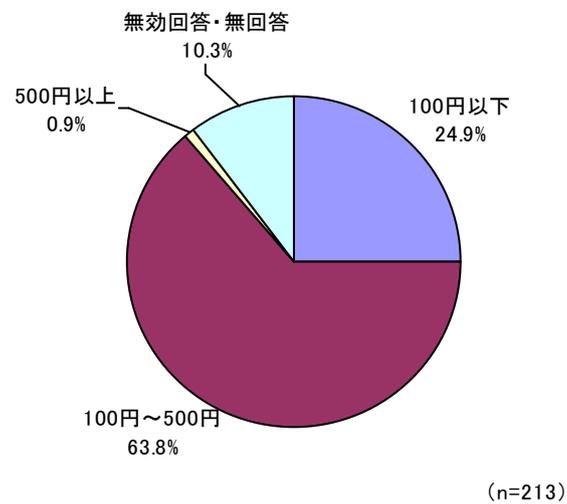
② サンプル2（衣類）の許容価格

サンプル2（衣類、図表 74）の許容価格については、「100円～500円」が63.8%（136件）と最も多く、次いで「100円以下」が24.9%（53件）、「500円以上」が0.9%（2件）と続く。

図表 74 サンプル2（衣類）の写真



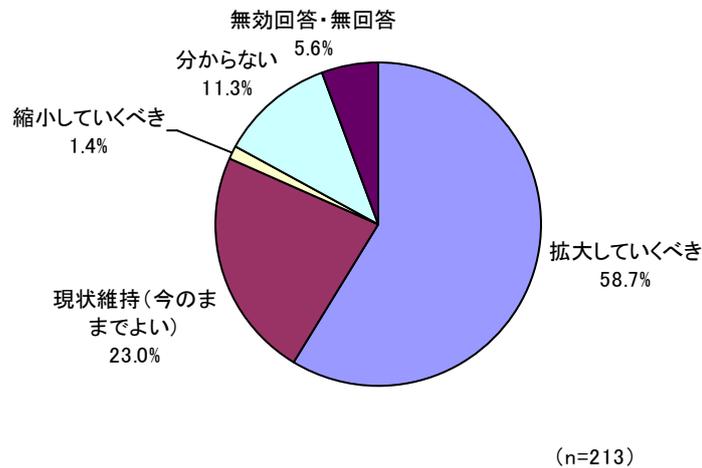
図表 75 サンプル2（衣類）の許容価格（熊本市）



(8) 今後の取り組みへの意見

今後の取り組みについては、「拡大していくべき」が 58.7%（125 件）と最も多く、次いで「現状維持（今のままでよい）」が 23.0%（49 件）、「分からない」が 11.3%（24 件）と続く。

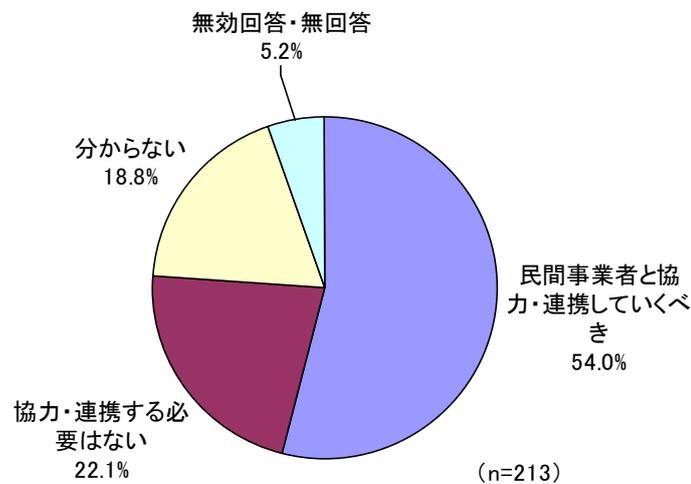
図表 76 今後の取り組みへの意見（熊本市）



(9) 民間事業者との連携への意見

民間のリユース事業者との連携については、「民間事業者と協力・連携していくべき」が 54.0%（115 件）と最も多く、次いで「協力・連携する必要はない」が 22.1%（47 件）、「分からない」が 18.8%（40 件）と続く。

図表 77 民間事業者との連携への意見（熊本市）



第3章 リユース業者の環境意識高度化事業

I. 消費者へのアンケート調査結果

1. 消費者に対するアンケート調査の概要

1.1 調査目的

使用済製品の排出者とも購入者ともなりうる消費者に対して、リユース業界・事業者への要望やイメージなどを整理することを目的として、アンケート調査を実施した。

1.2 調査対象

調査はインターネットモニターを対象として、中古品購入経験の有無と不用品の引渡経験の有無を把握する事前調査を行った。その上で、中古品の購入経験と不用品の引渡経験の両方ある方を対象に、リユース業界・事業者への要望やイメージなどを把握する本調査の2段階に分けて実施した。本調査の対象者抽出にあたって、リユースショップでの購入経験のある方・ない方、リユースショップでの引渡経験のある方・ない方がそれぞれ250サンプル以上は把握できるようスクリーニングを行った。

対象は全国の20歳以上の男女である。

1.3 調査期間・スケジュール

調査は11月下旬～12月上旬にかけて実施した。

サンプル数は事前調査9,420名、本調査が1,000名となった。

1.4 主な調査項目

消費者に対して、以下の点を明らかにするために調査を実施した。

- ・リユースショップに対する印象
- ・リユース業者に求める要件（購入・引渡の双方）

図表 3-1 具体的な設問例

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・リユースショップに対する印象・リユースショップで購入した理由・リユースショップで購入しなかった理由・リユースショップで引渡しを行った理由・リユースショップで引渡しを行なわなかった理由・リユースショップに求める要件 |
|--|

2. 消費者に対するアンケート調査結果

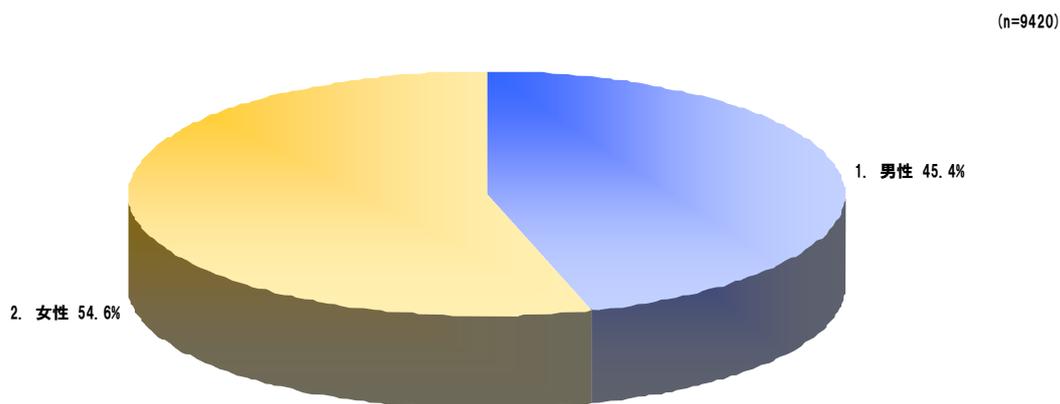
2.1 消費者に対するアンケートの結果の概要（事前調査）

2.1.1 回答者の属性

(1) 性別

男性が 45.4%（4,278 件）、女性が 54.6%（5,142 件）であった。

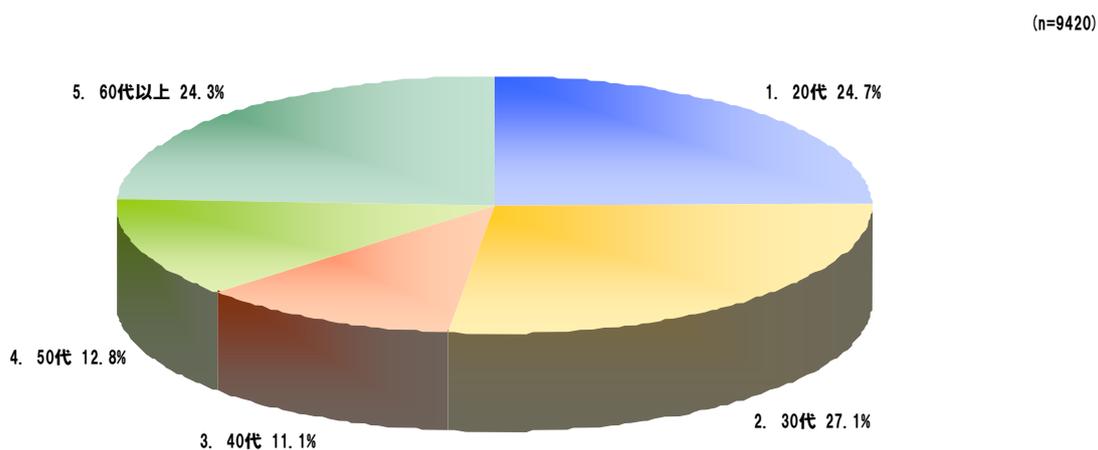
図表 3-2 性別



(2) 年齢

30代が最も多く 27.1%（2,552 件）、次いで 20代 24.7%（2,331 件）、60代 24.3%（2,285 件）と続く。

図表 3-3 年齢

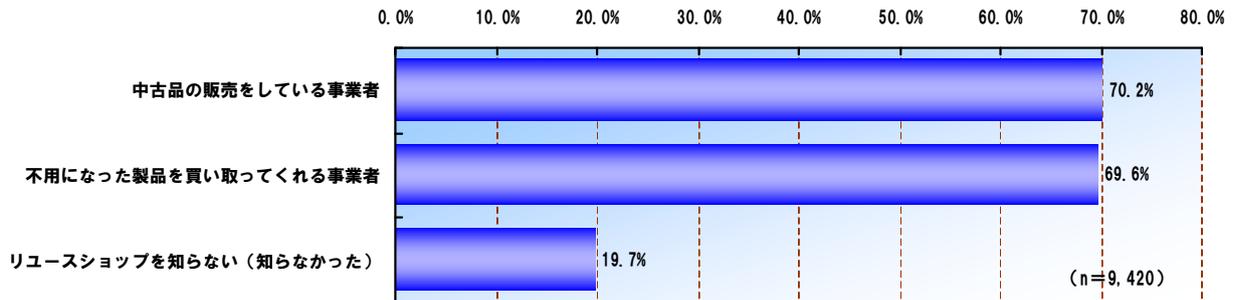


2.1.2 リユースショップの利用経験と印象

(1) リユースショップの業態に対するイメージ

リユースショップの業態に対するイメージ（複数回答可）について、「中古品の販売をしている事業者」との回答が最も多く 70.2%（6,613 件）、次いで「不用になった製品を買い取ってくれる事業者」との回答が 69.6%（6,555 件）であった。

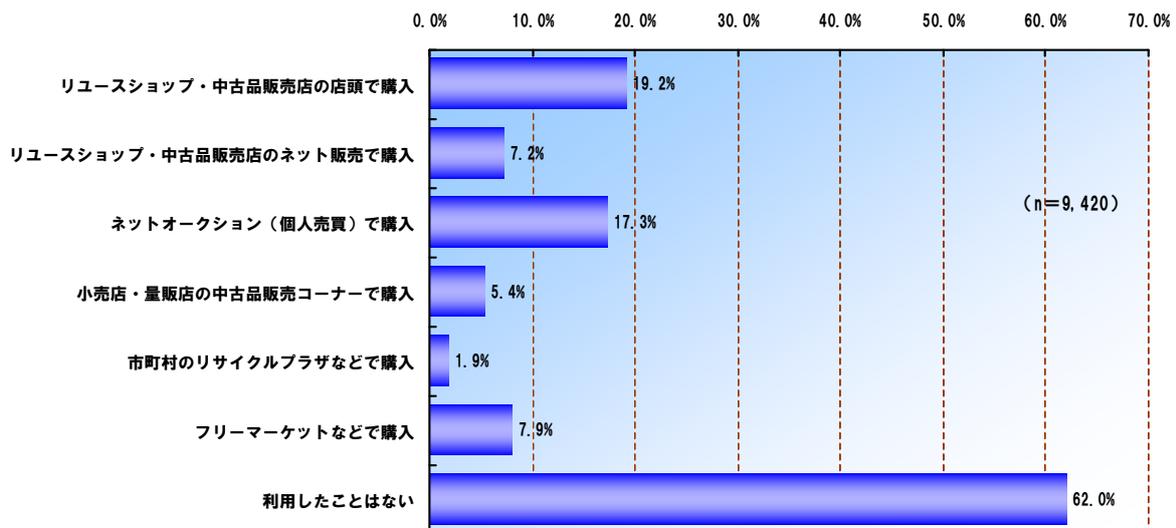
図表 3-4 リユースショップの業態に対するイメージ



(2) 中古品の購入の経験（過去1年間）について

中古品の購入の経験（複数回答可）について、「利用したことがない」との回答が最も多く 62.0%（5,838 件）、次いで「リユースショップの店頭で購入」との回答が 19.2%（1,809 件）、「ネットオークションで購入」との回答が 17.3%（1,631 件）と続く。

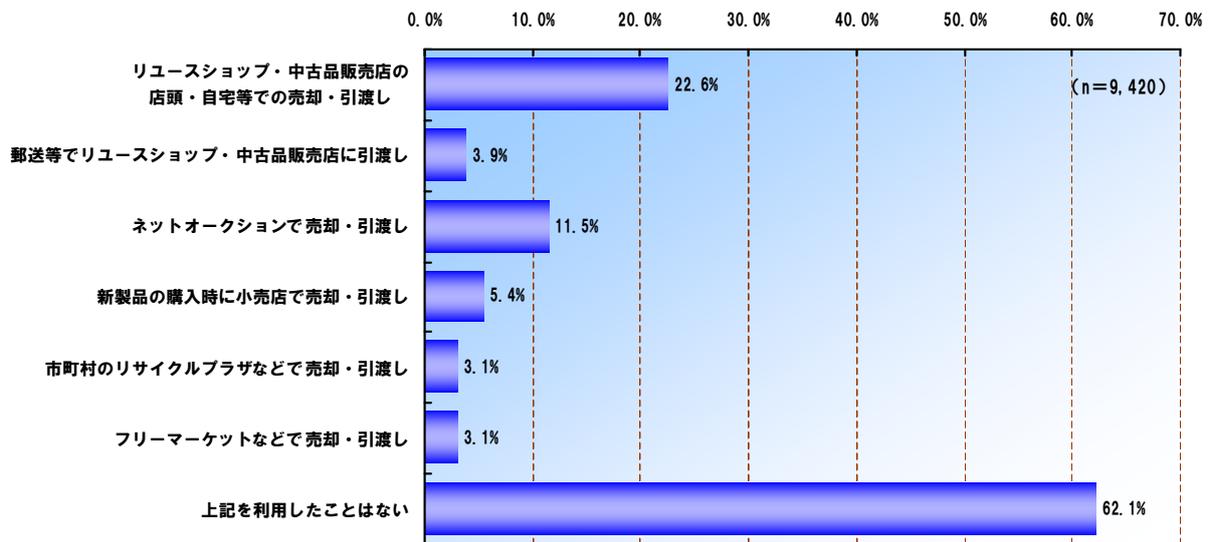
図表 3-5 中古品の購入の経験（過去1年間）



(3) 不用品の売却・引渡し経験（過去1年間）について

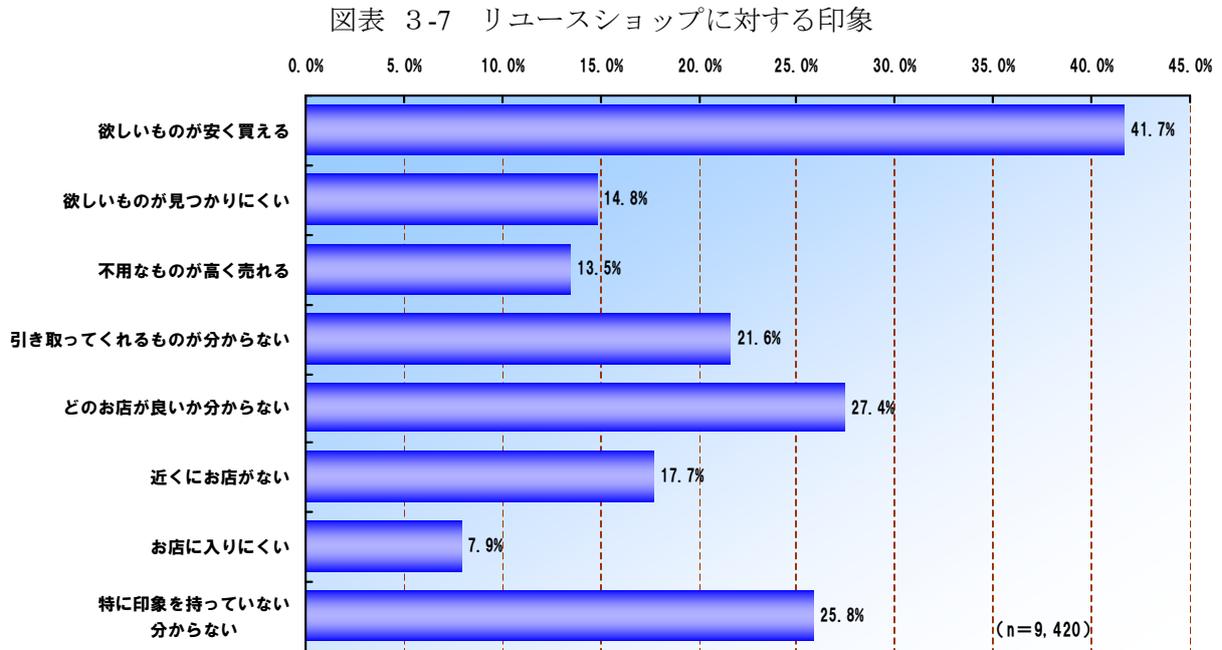
不用品の売却・引渡し経験（複数回答可）について、「利用したことがない」との回答が最も多く 62.1%（5,848 件）、次いで「リユースショップの店頭で売却・引渡し」との回答が 22.6%（2,126 件）、「ネットオークションで売却・引渡し」との回答が 11.5%（1,080 件）と続く。

図表 3-6 不用品の売却・引渡しの経験（過去1年間）



(4) リユースショップに対する印象について

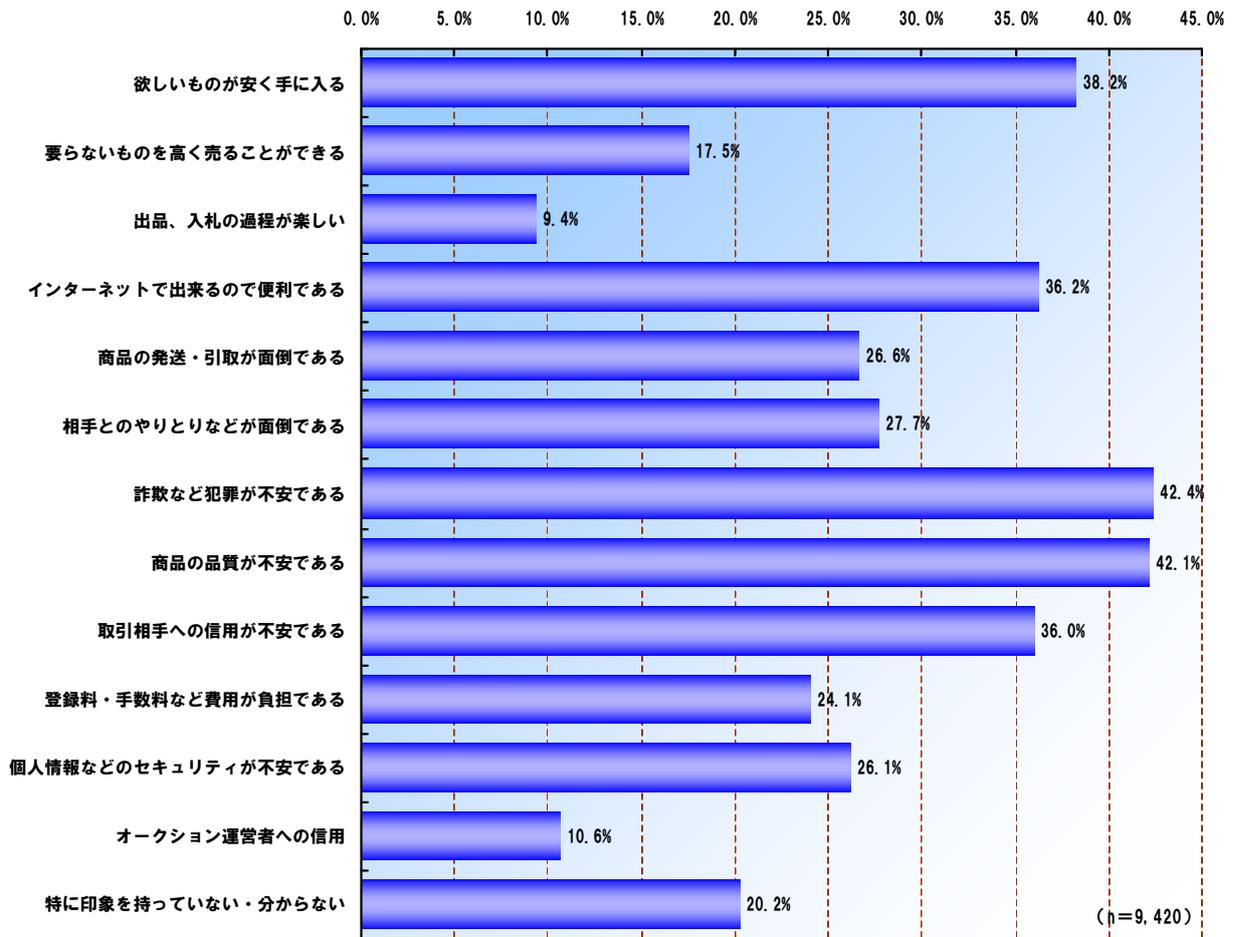
リユースショップに対する印象（複数回答可）について、「欲しいものが安く買える」との回答が最も多く 41.7%（3,926 件）、次いで「どのお店が良いか分からない」との回答が 27.4%（2,579 件）、「特に印象を持っていない」との回答が 25.8%（2,431 件）と続く。



(5) ネットオークションに対する印象について

ネットオークションに対する印象（複数回答可）について、「詐欺など犯罪が不安である」との回答が最も多く 42.4%（3,996 件）、次いで「商品の品質が不安である」との回答が 42.1%（3,969 件）、「欲しいものが安く手に入る」との回答が 38.2%（3,598 件）と続く。

図表 3-8 ネットオークションに対する印象



2.2 消費者に対するアンケートの結果の概要（本調査）

2.2.1 回答者の属性

(1) 回答者のグループ分け

事前調査でスクリーニングした中古品の購入経験及び不用品の引渡経験がある方 1,000 人を対象とする。その中で、リユースショップでの中古品購入経験及び不用品の引渡経験についてグループ分けした結果は図表 3-9 のようになっている。

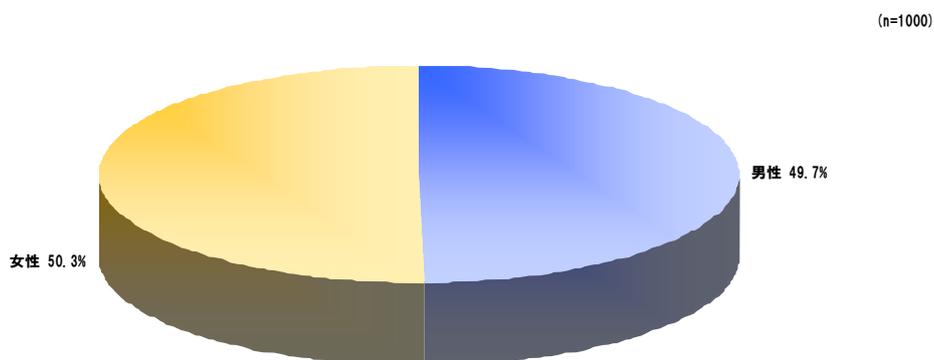
図表 3-9 リユースショップでの購入・引渡経験の有無

	引渡経験あり	引渡経験なし	合計
購入経験あり	351	116	467
購入経験なし	156	377	532
合計	507	493	1,000

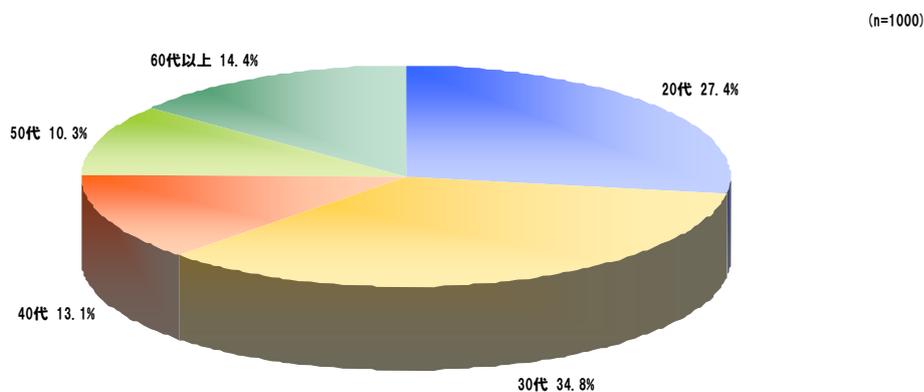
(2) 性別・年齢

性別は、男性 49.7%（497 件）、女性 50.3%（503 件）、年齢について、30 代が 34.8%（348 件）、次いで 20 代が 27.4%（274 件）、60 代が 14.4%（144 件）と続く。

図表 3-10 性別



図表 3-11 年齢

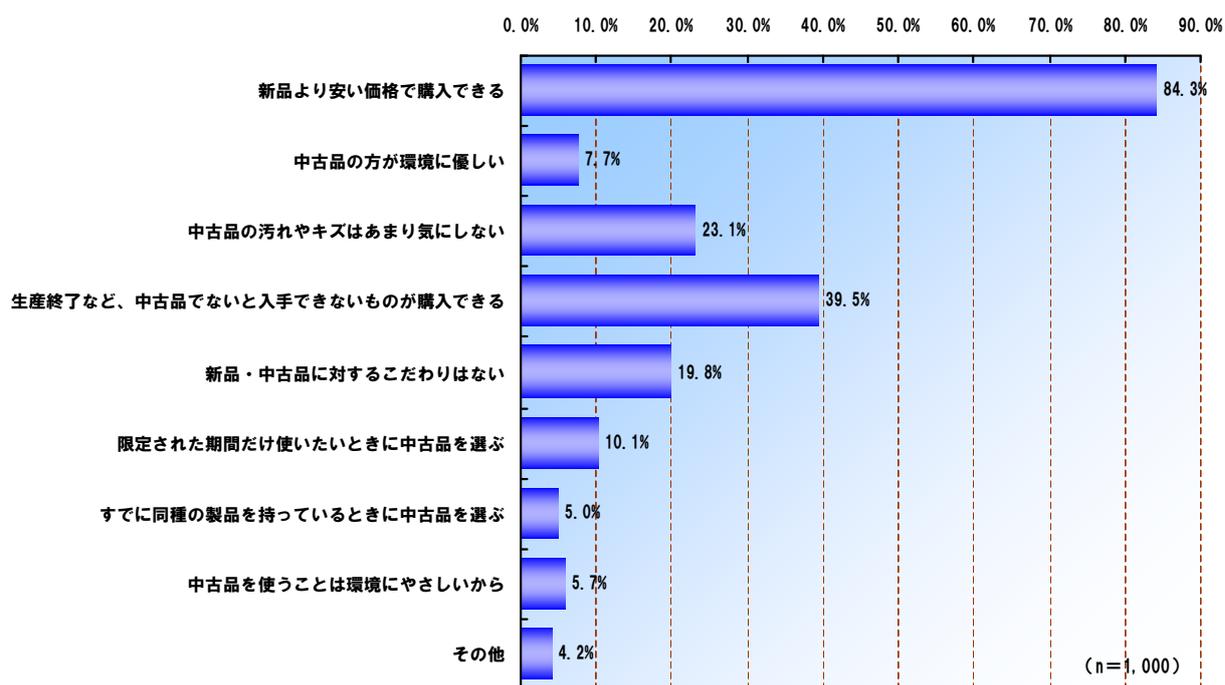


2.2.2 中古品の購入、売却・引渡しに関する意向

(1) 中古品を購入した理由

中古品を購入した理由（複数回答可）について、「新品より安い価格で購入できる」との回答が最も多く 84.3%（843 件）、次いで「生産終了など、中古品でないと入手できないものが購入できる」との回答が 39.5%（395 件）、「中古品の汚れやキズはあまり気にしない」との回答が 23.1%（231 件）と続く。

図表 3-12 中古品を購入した理由



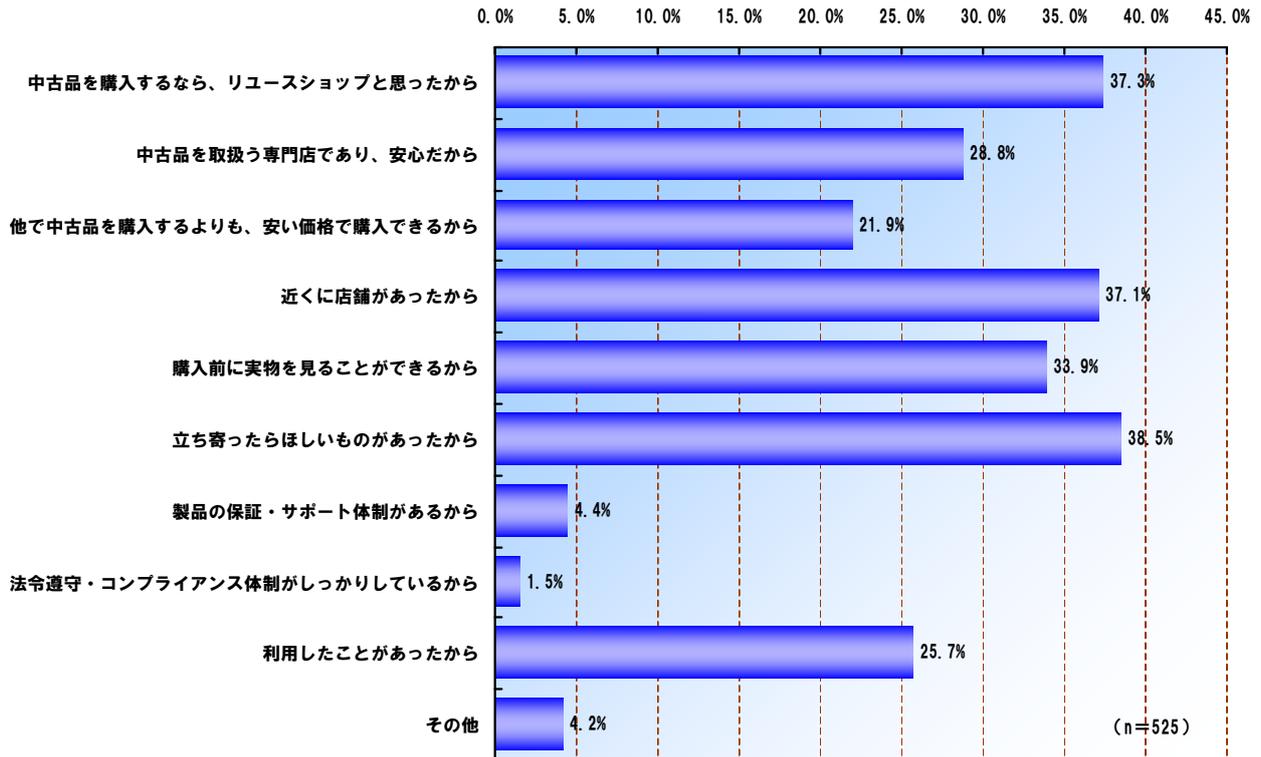
図表 3-13 リユースショップでの購入経験の有無（クロス集計）

	合計	新品より安価	環境に優しい	汚れやキズは気にしない	中古品でないと入手できない	こだわりのない	期間限定で使用する	同種のものを持っている	使うことが環境にやさしい	その他
合計	1000	843	77	231	395	198	101	50	57	42
	100.0%	84.3%	7.7%	23.1%	39.5%	19.8%	10.1%	5.0%	5.7%	4.2%
購入経験あり	467	429	52	142	176	118	53	26	32	17
	100.0%	91.9%	11.1%	30.4%	37.7%	25.3%	11.3%	5.6%	6.9%	3.6%
購入経験なし	533	414	25	89	219	80	48	24	25	25
	100.0%	77.7%	4.7%	16.7%	41.1%	15.0%	9.0%	4.5%	4.7%	4.7%

(2) リユースショップにて購入した理由

リユースショップにて購入した理由（複数回答可）について、「立ち寄ったらほしいものがあったから」との回答が最も多く 38.5%（202 件）、次いで「中古品を購入するなら、リユースショップと思ったから」との回答が 37.3%（196 件）、「近くに店舗があったから」との回答が 37.1%（195 件）と続く。

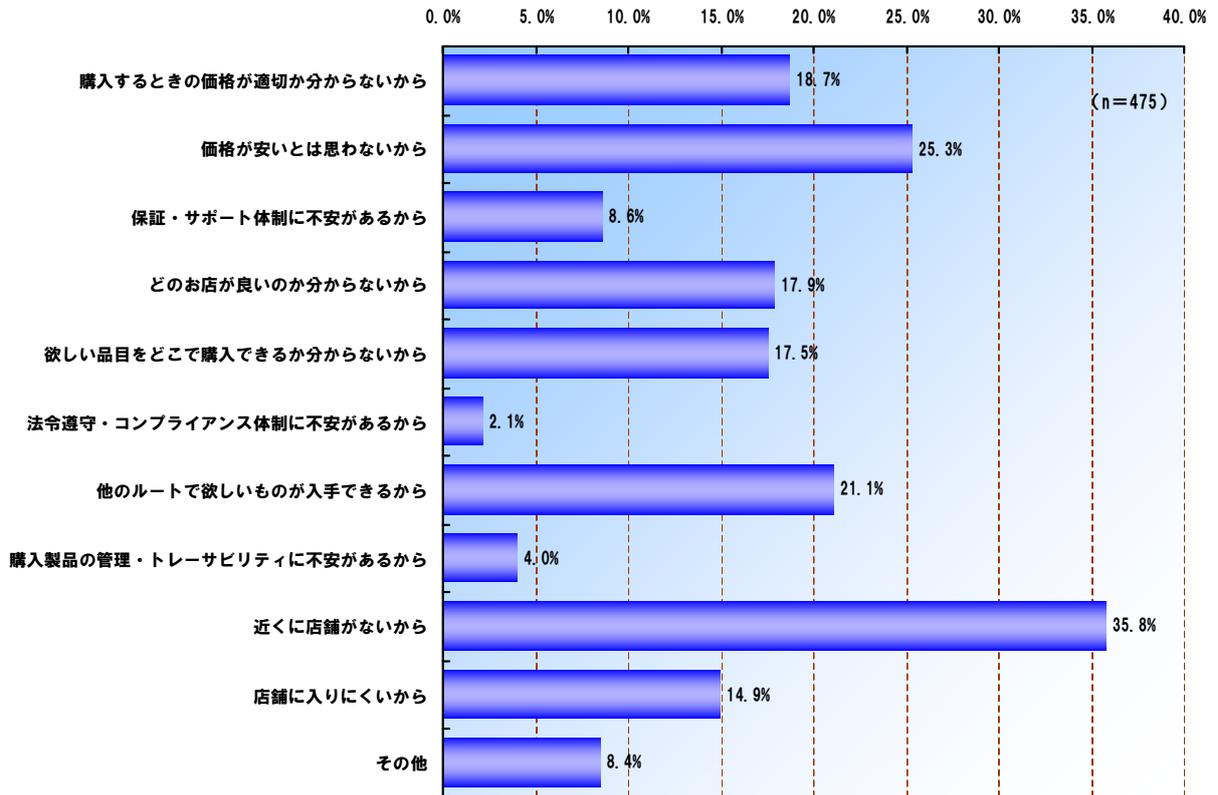
図表 3-14 リユースショップにて購入した理由



(3) リユースショップで購入しなかった理由

リユースショップで購入しなかった理由（複数回答可）について、「近くに店舗がないから」との回答が最も多く 35.8% (170 件)、次いで「価格が安いとは思わないから」との回答が 25.3% (120 件)、「他のルートで欲しいものが入手できるから」との回答が 21.1% (100 件) と続く。

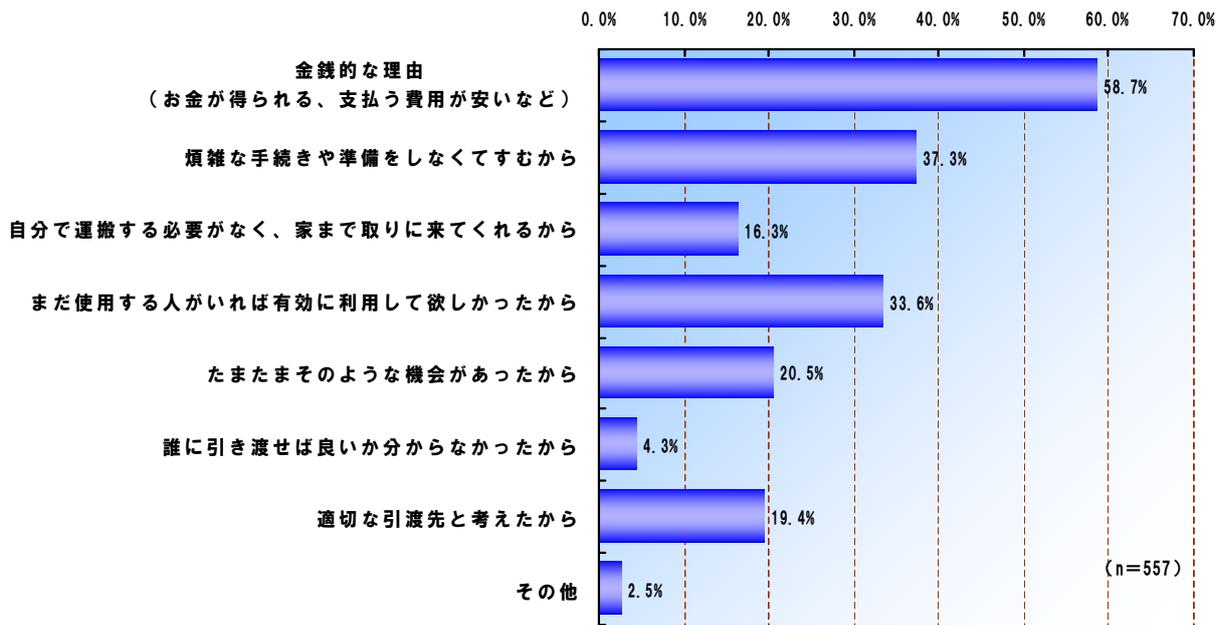
図表 3-15 リユースショップで購入しなかった理由



(4) リユースショップで売却・引渡をした理由

リユースショップで売却・引渡をした理由（複数回答可）について、「金銭的な理由(お金が得られる、支払う費用が安いなど)」との回答が最も多く 58.7% (327 件)、次いで「煩雑な手続きや準備をしなくて済むから」との回答が 37.3% (208 件)、「まだ使用する人がいれば有効に利用して欲しかったから」との回答が 33.6% (187 件) と続く。

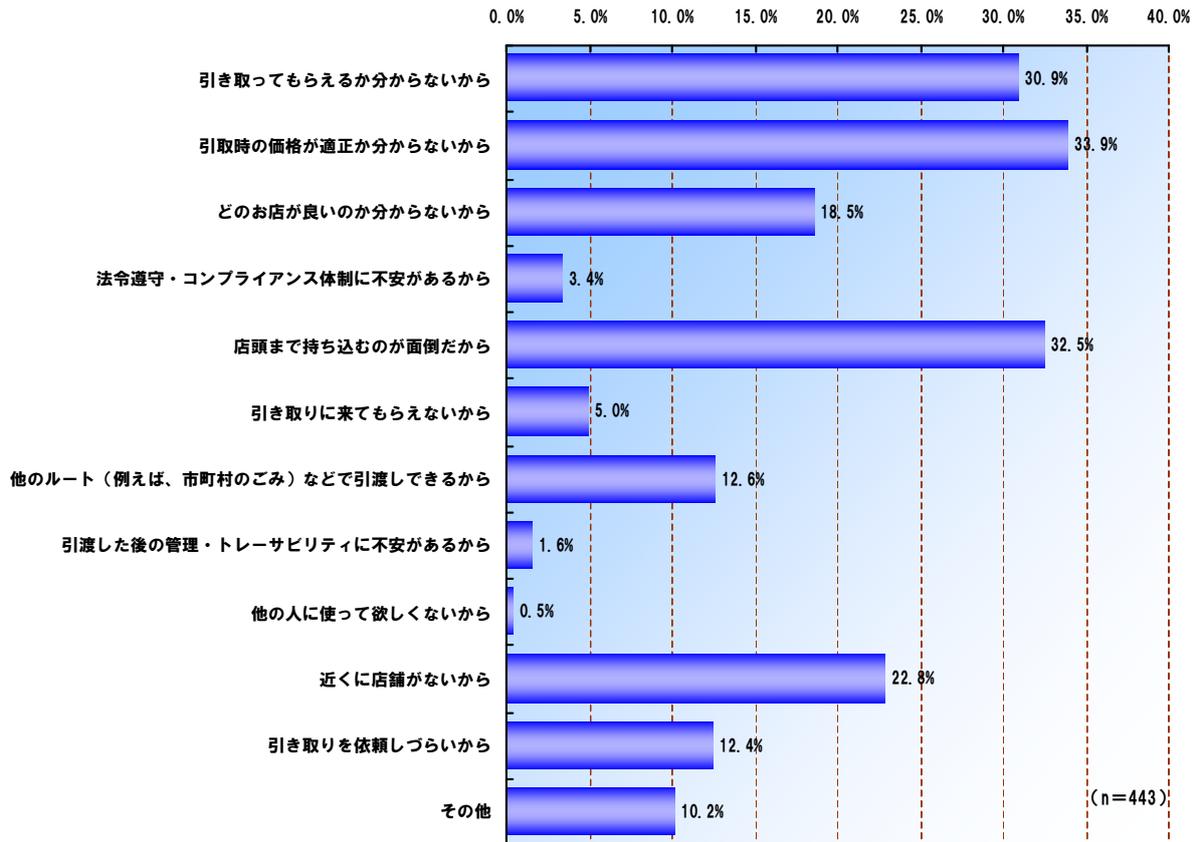
図表 3-16 リユースショップで売却・引渡をした理由



(5) リユースショップで売却・引渡をしなかった理由

リユースショップで売却・引渡をしなかった理由（複数回答可）について、「引取時の価格が適正か分からないから」との回答が最も多く 33.9%（150 件）、次いで「店頭まで持ち込むのが面倒だから」との回答が 32.5%（144 件）、「引き取ってもらえるか分からないから」との回答が 30.9%（137 件）と続く。

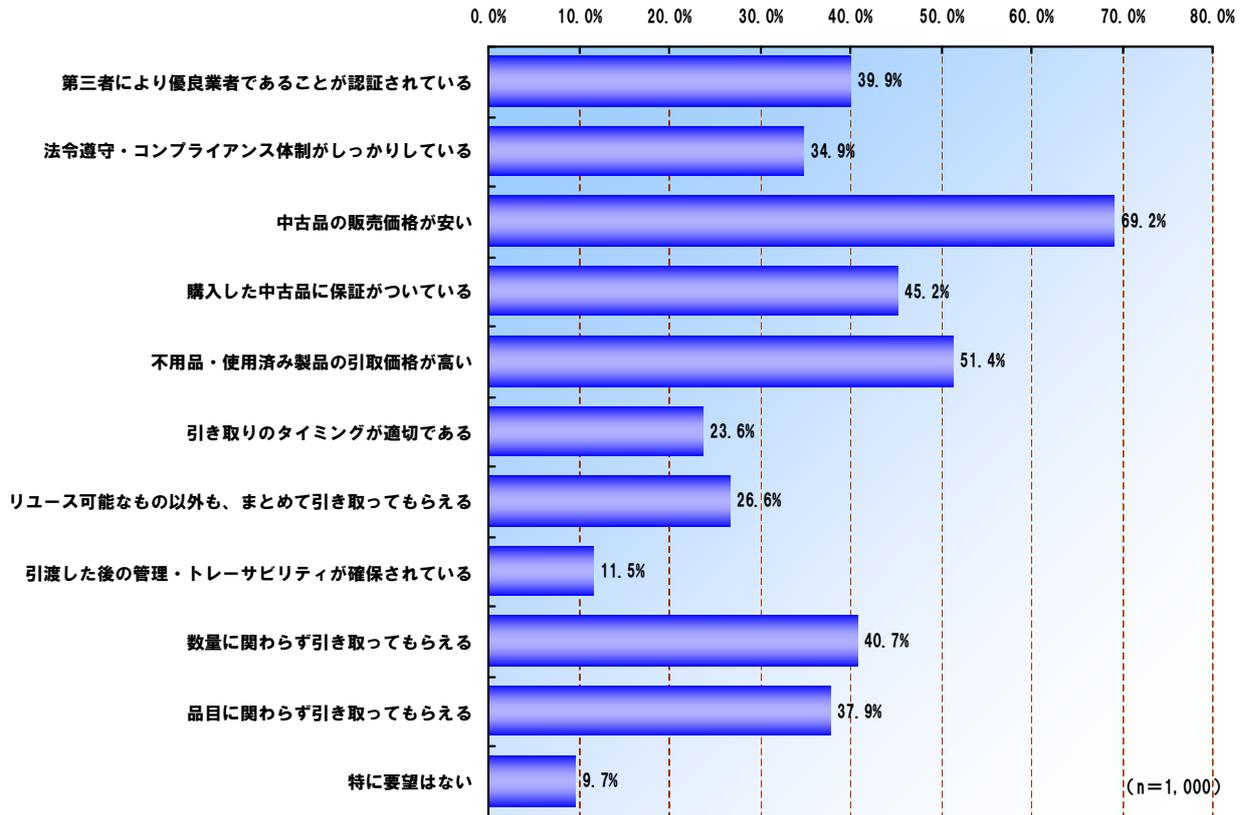
図表 3-17 リユースショップで売却・引渡をしなかった理由



(6) リユースショップに求める点について

リユースショップに求める点（複数回答可）について、「中古品の販売価格が安い」との回答が最も多く 69.2%（692 件）、次いで「不用品・使用済み製品の引取価格が高い」との回答が 51.4%（514 件）、「購入した中古品に保証がついている」との回答が 45.2%（452 件）と続く。

図表 3-18 リユースショップに求める点



図表 3-19 リユースショップに求める点（リユースショップでの購入経験の有無でクロス集計）

	合計	優良業者の認証	法令順守等の徹底	価格が安い	保証がついてくる	引取価格が高い	引取のタイミングが適切	まとめての引取	引渡後の管理の徹底	数量に関わらず引取可能	品目に関わらず引取可能	特に要望はない
合計	1000	399	349	692	452	514	236	266	115	407	379	97
	100%	39.9%	34.9%	69.2%	45.2%	51.4%	23.6%	26.6%	11.5%	40.7%	37.9%	9.7%
購入経験あり	467	170	160	360	213	251	80	131	41	200	174	31
	100%	36.4%	34.3%	77.1%	45.6%	53.7%	17.1%	28.1%	8.8%	42.8%	37.3%	6.6%
購入経験なし	533	229	189	332	239	263	156	135	74	207	205	66
	100%	43.0%	35.5%	62.3%	44.8%	49.3%	29.3%	25.3%	13.9%	38.8%	38.5%	12.4%

図表 3-20 リユースショップに求める点（リユースショップでの引渡経験の有無でクロス集計）

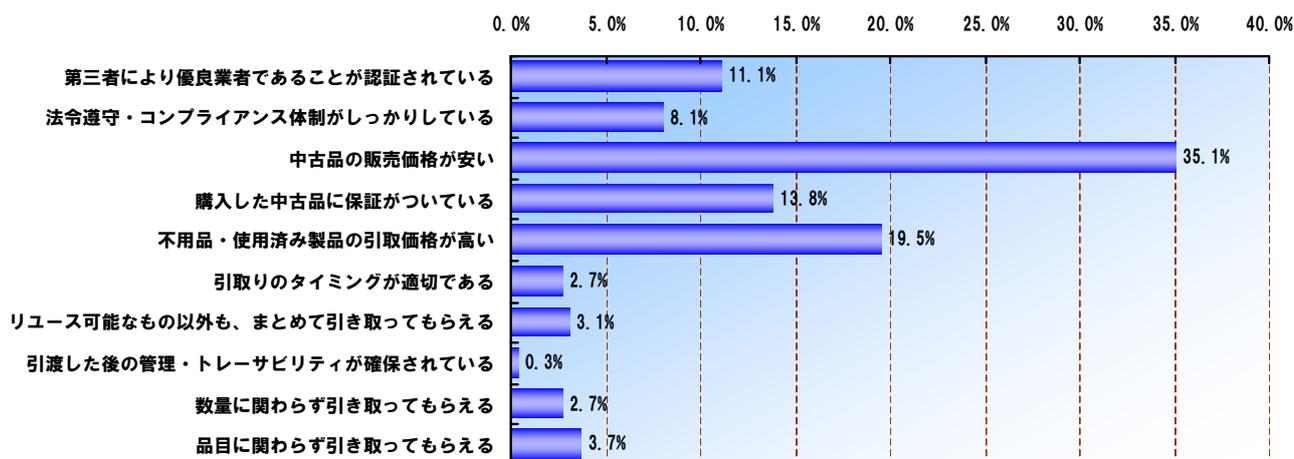
	合計	優良業者の認証	法令順守等の徹底	価格が安い	保証がついてくる	引取価格が高い	引取のタイミングが適切	まとめた引取	引渡後の管理の徹底	数量に関係なく引取可能	品目に関係なく引取可能	特に要望はない
合計	1000	399	349	692	452	514	236	266	115	407	379	97
	100%	39.9%	34.9%	69.2%	45.2%	51.4%	23.6%	26.6%	11.5%	40.7%	37.9%	9.7%
引渡経験あり	507	211	196	362	233	281	107	137	50	230	198	34
	100%	41.6%	38.7%	71.4%	46.0%	55.4%	21.1%	27.0%	9.9%	45.4%	39.1%	6.7%
引渡経験なし	493	188	153	330	219	233	129	129	65	177	181	63
	100%	38.1%	31.0%	66.9%	44.4%	47.3%	26.2%	26.2%	13.2%	35.9%	36.7%	12.8%

(7) 最も重視する点

最も重視する点（複数回答可）について、「中古の販売価格が安い」との回答が最も多く35.1%（317件）、次いで「不用品・使用済み製品の引取価格が高い」との回答が19.5%（176件）、「購入した中古品に保証がついている」との回答が13.8%（125件）と続く。

図表 3-21 最も重視する点

(n=903)



図表 3-22 最も重視する点（リユースショップでの購入経験の有無でクロス集計）

	合計	優良業者の認証	法令順守等の徹底	価格が安い	保証がついてくる	引取価格が高い	引取のタイミングが適切	まとめた引取	引渡後の管理の徹底	数量に関係なく引取可能	品目に関係なく引取可能
合計	903	100	73	317	125	176	24	28	3	24	33
	100.0%	11.1%	8.1%	35.1%	13.8%	19.5%	2.7%	3.1%	0.3%	2.7%	3.7%
購入経験あり	436	43	33	187	53	72	6	13	1	15	13
	100.0%	9.9%	7.6%	42.9%	12.2%	16.5%	1.4%	3.0%	0.2%	3.4%	3.0%
購入経験なし	467	57	40	130	72	104	18	15	2	9	20
	100.0%	12.2%	8.6%	27.8%	15.4%	22.3%	3.9%	3.2%	0.4%	1.9%	4.3%

図表 3-23 最も重視する点（リユースショップでの引渡経験の有無でクロス集計）

	合計	優良業者の認証	法令順守等の徹底	価格が安い	保証がついてくる	引取価格が高い	引取のタイミングが適切	まとめの引取	引渡後の管理の徹底	数量になく引取可能	品目になく引取可能
合計	903	100	73	317	125	176	24	28	3	24	33
	100.0%	11.1%	8.1%	35.1%	13.8%	19.5%	2.7%	3.1%	0.3%	2.7%	3.7%
引渡経験あり	473	54	41	166	61	97	12	13	0	14	15
	100.0%	11.4%	8.7%	35.1%	12.9%	20.5%	2.5%	2.7%	0.0%	3.0%	3.2%
引渡経験なし	430	46	32	151	64	79	12	15	3	10	18
	100.0%	10.7%	7.4%	35.1%	14.9%	18.4%	2.8%	3.5%	0.7%	2.3%	4.2%

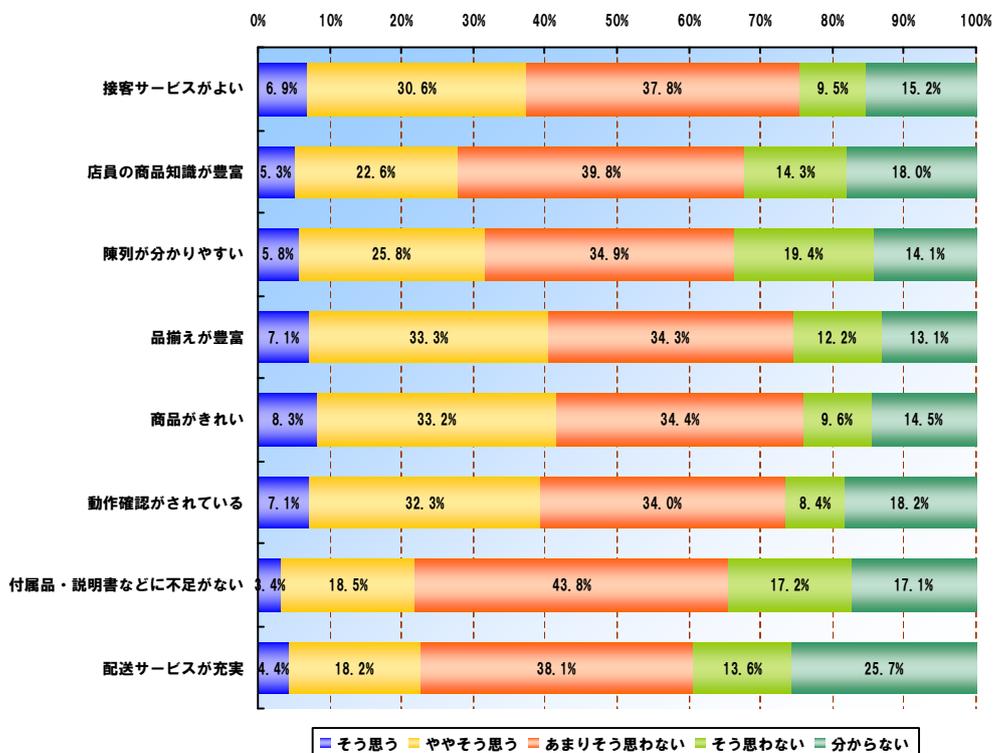
2.2.3 リユースショップに対する印象

(1) 各項目の比較

いずれの項目も、「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計割合の方が、「そう思う」「ややそう思う」の合計割合よりも高くなっている。

合計の差が大きい項目として「付属品・説明書などに不足がない」（39.1 ポイントの差）、小さい項目として「商品がきれい」（2.5 ポイントの差）、「動作確認がされている」（3.0 ポイントの差）である。

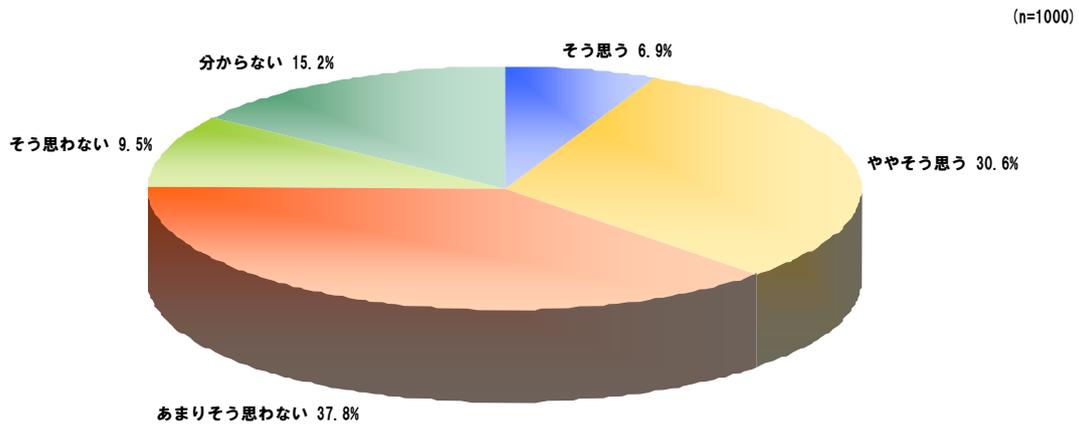
図表 3-24 リユースショップに対する印象の各項目比較



(2) 接客サービスがよい

接客サービスがよいかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く 37.8% (378 件)、次いで「ややそう思う」との回答が 30.6% (306 件)、「分からない」との回答が 15.2% (152 件) と続く。

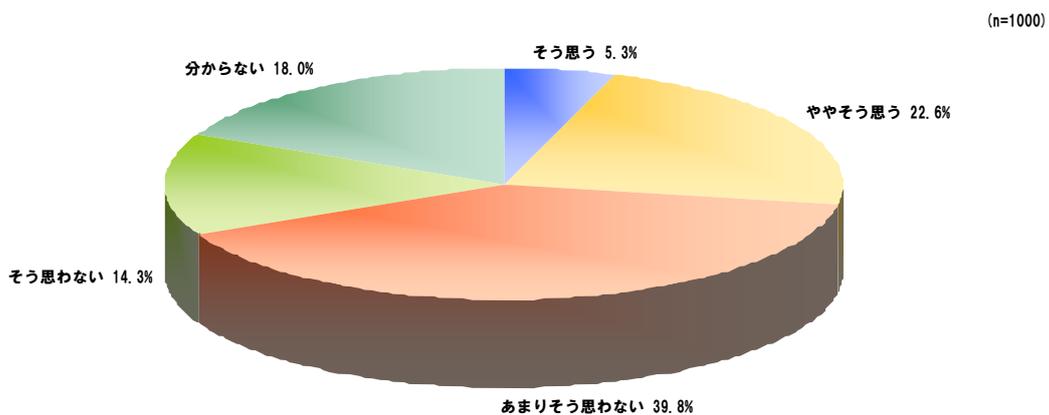
図表 3-25 接客サービスがよい



(3) 店員の商品知識が豊富である

店員の商品知識が豊富であるかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く 39.8% (398 件)、次いで「ややそう思う」との回答が 22.6% (226 件)、「分からない」との回答が 18.0% (180 件) と続く。

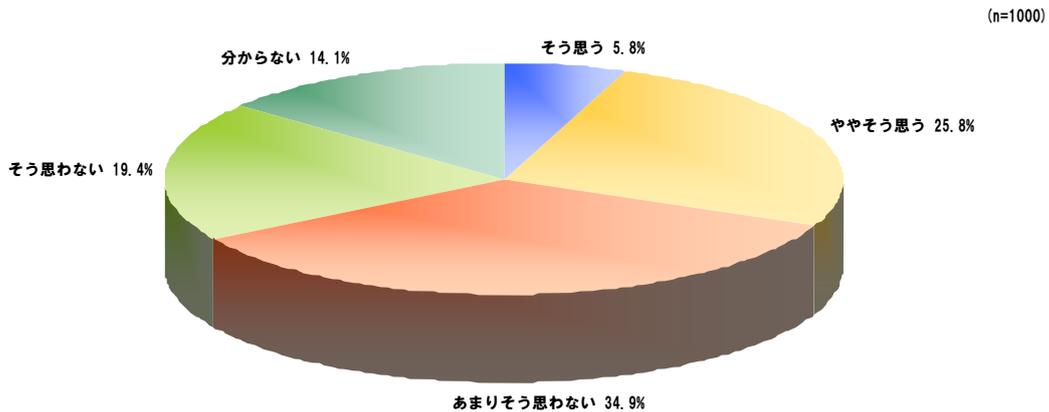
図表 3-26 店員の商品知識が豊富である



(4) 商品の陳列が分かりやすい

商品の陳列が分かりやすいかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く34.9% (349件)、次いで「ややそう思う」との回答が25.8% (258件)、「そう思わない」との回答が19.4% (194件)と続く。

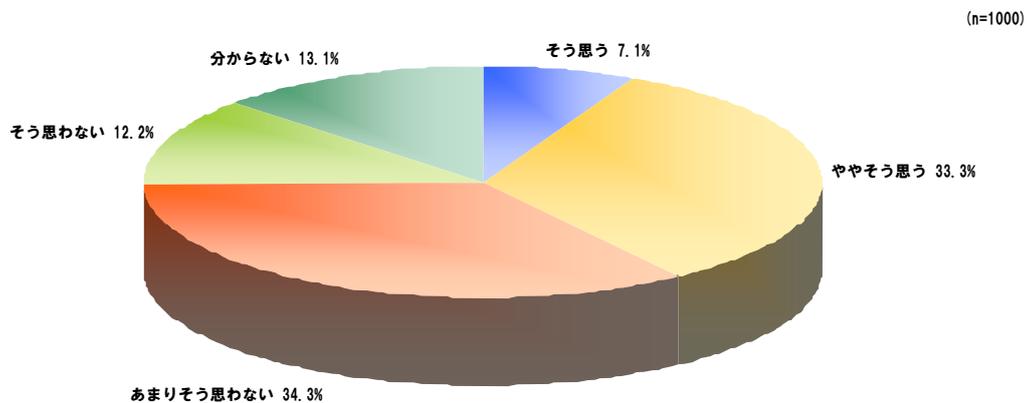
図表 3-27 商品の陳列が分かりやすい



(5) 商品の品揃えが豊富である

商品の品揃えが豊富であるかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く34.3% (343件)、次いで「ややそう思う」との回答が33.3% (333件)、「分からない」との回答が13.1% (131件)と続く。

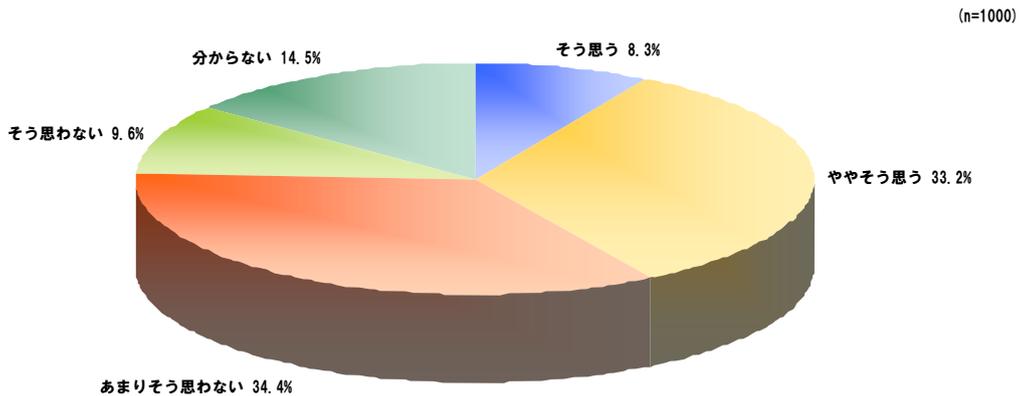
図表 3-28 商品の品揃えが豊富である



(6) 商品がきれいにクリーニングされている

商品がきれいにクリーニングされているかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く 34.4% (344 件)、次いで「ややそう思う」との回答が 33.2% (332 件)、「分からない」との回答が 14.5% (145 件) と続く。

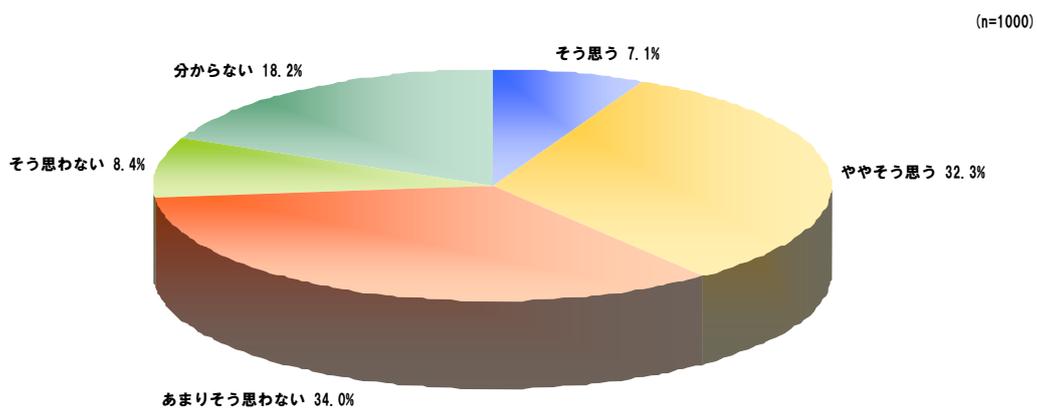
図表 3-29 商品がきれいにクリーニングされている



(7) 商品の動作確認が行われており、安心である

商品の動作確認が行われており、安心であるかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く 34.0% (340 件)、次いで「ややそう思う」との回答が 32.3% (323 件)、「分からない」との回答が 18.2% (182 件) と続く。

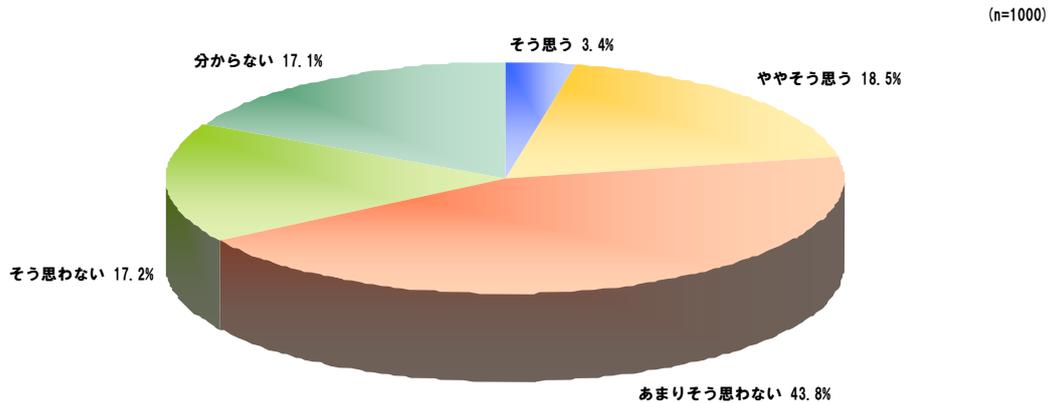
図表 3-30 商品の動作確認が行われており、安心であるかどうかについて



(8) 付属品・説明書などに不足がない

付属品・説明書などに不足がないかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く 43.8% (438 件)、次いで「ややそう思う」との回答が 18.5% (185 件)、「そう思わない」との回答が 17.2% (172 件) と続く。

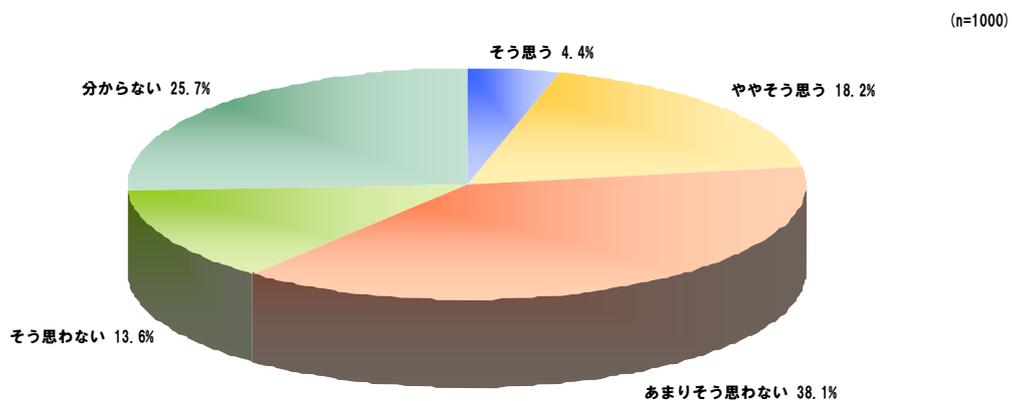
図表 3-31 付属品・説明書などに不足がない



(9) 配送サービスが充実

配送サービスが充実しているかどうかについて、「あまりそう思わない」との回答が最も多く 38.1% (381 件)、次いで「分からない」との回答が 25.7% (257 件)、「ややそう思う」との回答が 18.2% (182 件) と続く。

図表 3-32 配送サービスが充実しているか

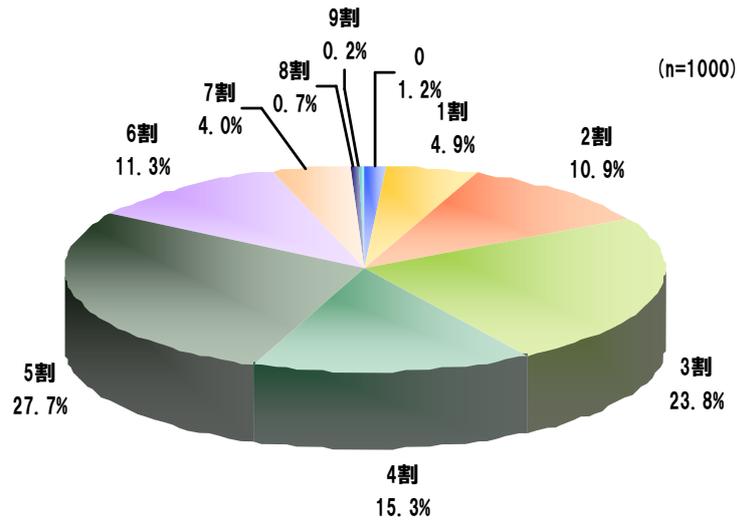


2.2.4 リユースショップで希望する価格帯

新品価格の何割程度であれば購入したいと思うかについては、「5割」との回答が最も多く27.7%(277件)であり、次いで「3割」との回答が23.8%(238件)、「4割」との回答が15.3%(153件)と続く。

平均値は、4.0割であり、中央値も「4割」である。

図表 3-33 中古品の希望価格帯

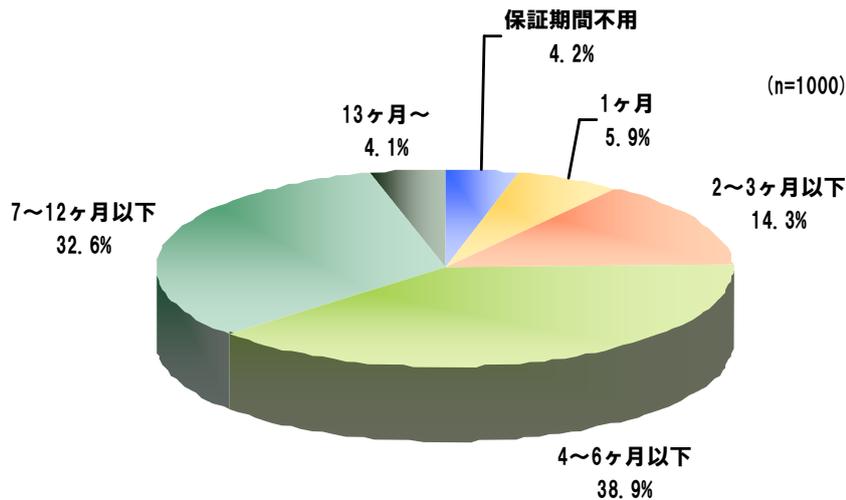


2.2.5 中古品の希望する保証期間

(1) 電化製品等の希望する保証期間

電化製品等の希望する保証期間は「4~6ヶ月以下」という回答が最も多く38.9%(389件)であり、次いで「7~12ヶ月以下」との回答が32.6%(326件)、「2~3ヶ月以下」との回答が14.3%(143件)と続く。希望する保証期間の平均は8.0ヶ月であり、中央値は「6ヶ月」であった。

図表 3-34 希望する保証期間（電化製品）

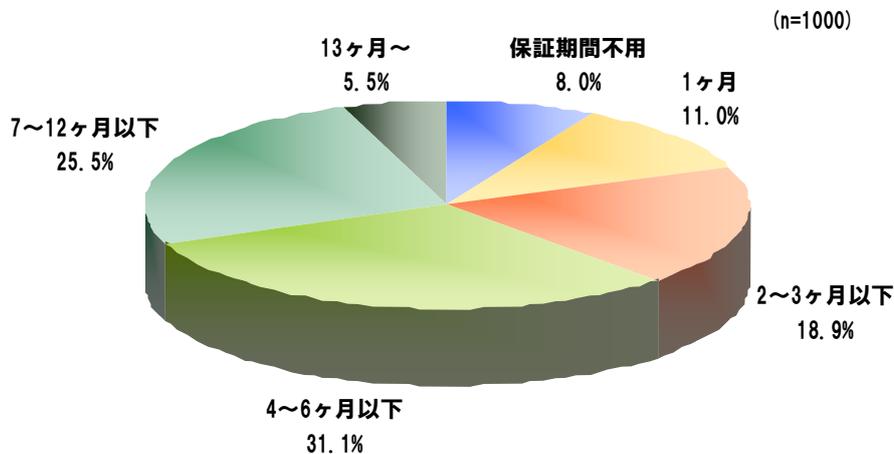


(2) 家具類

家具類等の希望する保証期間は「4~6ヶ月以下」との回答が最も多く31.1%(311件)であり、「7~12ヶ月以下」との回答が25.5%(255件)であり、次いで「2~3ヶ月以下」との回答が18.9%(189件)と続く。

家具類の希望する保証期間の平均は7.5ヶ月であり、中央値は「6ヶ月」であった。電化製品より、家具類のほうが保証期間は短くてもよいという傾向にある。

図表 3-35 希望する保証期間（家具類）



II. 大口排出事業者へのアンケート調査結果

1. 大口排出事業者に対するアンケート調査の概要

1.1 調査目的

使用済製品の大口排出者となりうる事業者に対して、リユース業界・事業者への要望や連携時に求める要件などを整理することを目的として、アンケート調査を実施した。

大口排出者として①リース・レンタル業、②引越業、③ビル管理業の3業種を対象とした。

1.2 調査対象

アンケート発送先は、インターネット検索を基に、3業種の事業者を抽出した。

発送数は、①リース・レンタル業（468件）、②引越業（472件）、③ビル管理業（450件）の合計1,390件、うち廃業や住所変更で不達となり無効となったものが12件であった。

回収数は①リース・レンタル業（138件）、②引越業（73件）、③ビル管理業（145件）、回収率は、①リース・レンタル業（29.8%）、②引越業（15.7%）、③ビル管理業（32.2%）であった。

図表 3-36 大口排出者向けのアンケートの回答状況

	発送数 (A)	無効 (B)	有効発送数 (C) (=A-B)	回収数 (D)	回収率 (E) (=D/C)
①リース・レンタル業	468	5	463	138	29.8%
②引越業	472	7	465	73	15.7%
③ビル管理業	450	0	450	145	32.2%

1.3 調査期間・スケジュール

調査は10月～11月にかけて実施した。郵送にて調査票を配布し、調査票に回答を記入後、返信用封筒に同封の上、返送を依頼した。なお、締切後に返信のあった回答も集計に加えている。

図表 3-37 大口排出者向けのアンケートの調査期間

	発送日	締切
①リース・レンタル業	10/18	11/2
②引越業	10/18	11/2
③ビル管理業	11/4	11/18

1.4 主な調査項目

(1) リース・レンタル業

リース・レンタル業向けアンケートでは、主に、以下の点を明らかにするために調査を実施した。

- ・リースアップ、レンタルバックでの不用品の発生状況
- ・廃棄処理しているもののリユース可能性
- ・リユース業との連携の可能性、重視する条件、連携しない理由
- ・リユース業界での取組に関する意見・評価

図表 3-38 具体的な設問例（リース・レンタル業）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・取扱品目・サービスの概要・不用品の取扱状況、引渡先（リユース業への引渡状況等の確認）・廃棄処理している理由（廃棄処理しているもののリユース可能性）・中古品として流通しない理由・リユース業との連携の関心、連携時に重視する条件・リユース業界の取組への意見・リユース業界への意見（自由回答） |
|---|

(2) 引越業

引越業向けアンケートにおいては、主に以下の点を明らかにするために調査を実施した。

- ・引越事業での不用品の発生状況
- ・廃棄処理しているもののリユース可能性
- ・リユース業との連携の可能性、重視する条件、連携しない理由
- ・リユース業界での取組に関する意見・評価

図表 3-39 具体的な設問例（引越業）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・引越業務での不用品の発生状況・不用品の取扱状況、引渡先（引取の可否、リユース業への引渡状況等の確認）・品目別の取扱状況（品目別の取扱状況）・廃棄処理している理由（廃棄処理しているもののリユース可能性）・中古品として流通しない理由・リユース業との連携の関心、連携時に重視する条件・リユース業界の取組への意見・リユース業界への意見（自由回答） |
|---|

(3) ビル管理業

ビル管理業向けアンケートにおいては、主に以下の点を明らかにするために調査を実施した。

- ・管理業務において不用品の処理・処分状況（借主・賃借人からの依頼の有無）

- ・廃棄処理しているもののリユース可能性
- ・リユース業との連携の可能性、重視する条件、連携しない理由
- ・リユース業界での取組に関する意見・評価

図表 3-40 具体的な設問例（ビル管理業）

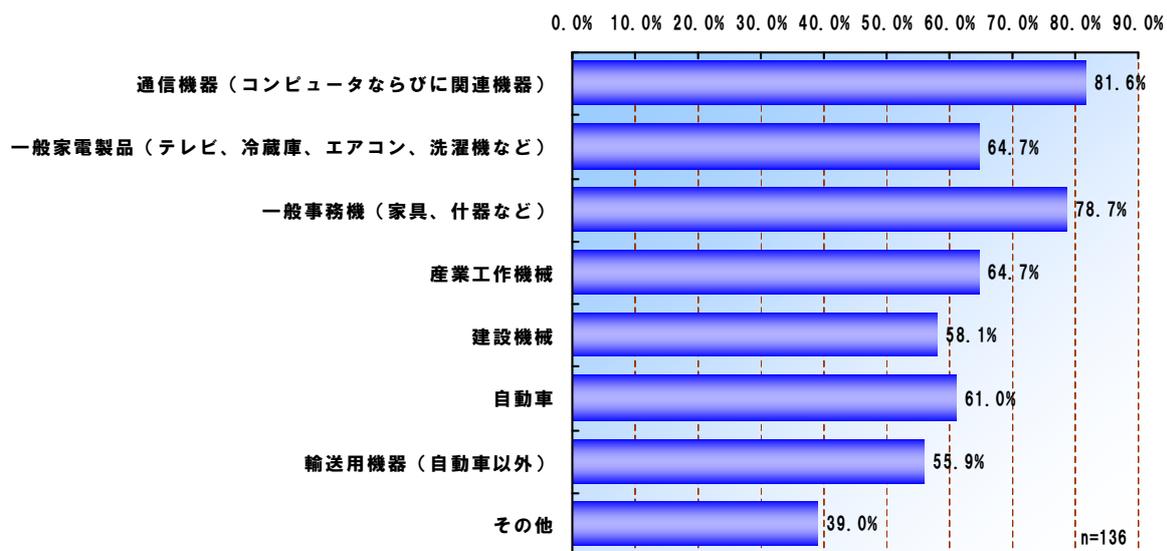
- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・不用品の処理・処分の有無（借主・賃借人からの依頼状況）・不用品の引渡先（リユース業への引渡状況等の確認）・廃棄処理している理由（廃棄処理しているもののリユース可能性）・リユース業との連携の関心、連携時に重視する条件・リユース業界の取組への意見・リユース業界への意見（自由回答） |
|--|

2. リース・レンタル業

(1) 取扱品目について

取扱品目（複数回答可）は、「通信機器（コンピュータならびに関連機器）」との回答が最も多く 81.6%（111 件）、次いで「一般事務機（家具、什器など）」との回答が 78.7%（107 件）、「一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）」と「産業工作機械」との回答が同数で 64.7%（88 件）と続く。

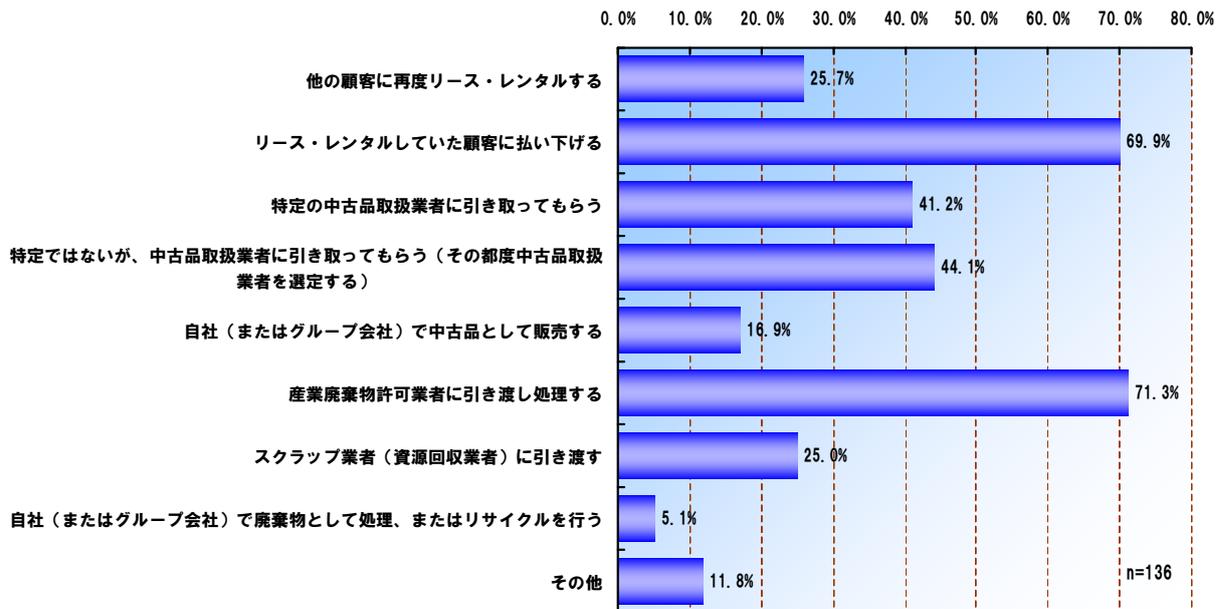
図表 3-41 取扱品目について



(2) 契約期間終了後のリースアップ品・レンタルバック品の取扱について

契約終了後のリースアップ品・レンタルバック品の取扱（複数回答可）について、「産業廃棄物許可業者に引き渡し処理する」との回答が最も多く71.3%（97件）、次いで「リース・レンタルしていた顧客に払い下げる」との回答が69.9%（95件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引き取ってもらう（その都度中古品取扱業者を選定する）」との回答が44.1%（60件）と続く。

図表 3-42 契約期間終了後のリースアップ品・レンタルバック品の取扱について

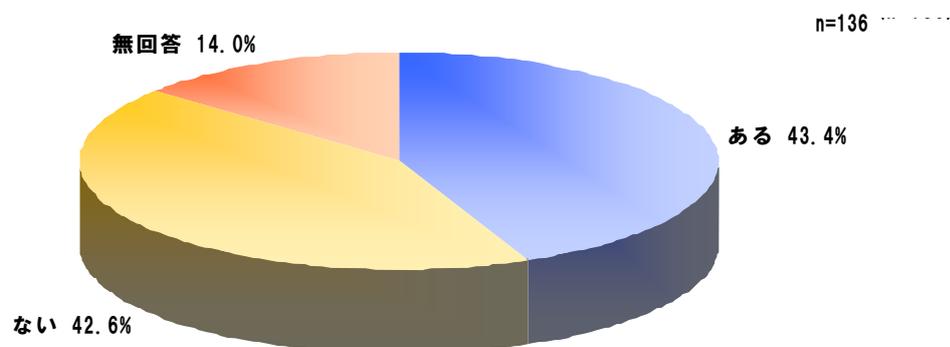


(3) 現在、リサイクル・廃棄されている製品のうち中古品利用が可能と思われるもの

1) 中古品として利用できるものの有無（製品全体）

取り扱っている製品（全体）については、「ある」との回答が43.4%（59件）、「ない」との回答が42.6%（58件）である。

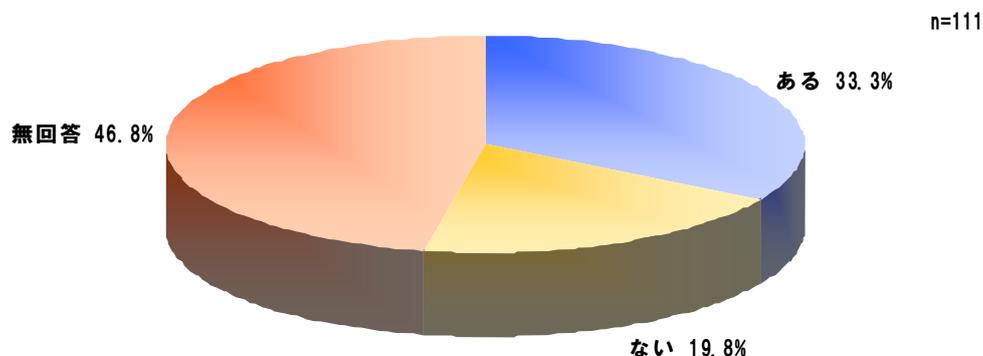
図表 3-43 取り扱っている製品（全体）（中古品として利用できるものの有無）



2) 中古品として利用できるものの有無（通信機器（コンピュータならびに関連機器））

通信機器（コンピュータならびに関連機器）については、「ある」との回答が 33.3%（37 件）、「ない」との回答が 19.8%（22 件）である。

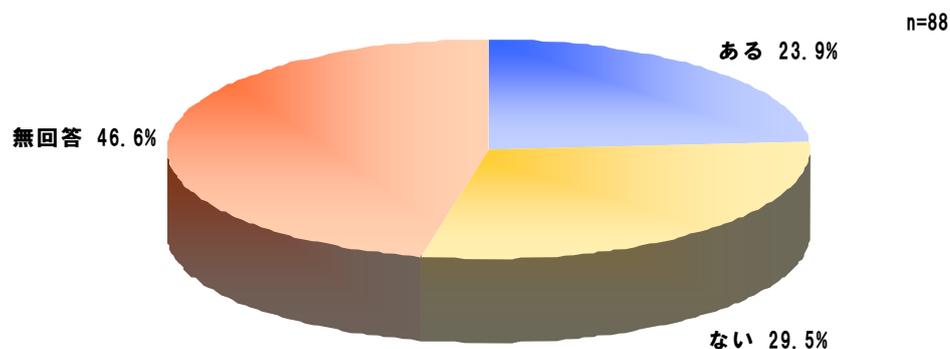
図表 3-44 通信機器（コンピュータならびに関連機器）（中古として利用できるものの有無）



3) 中古品として利用できるものの有無（一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など））

一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）については、「ない」との回答が 29.5%（26 件）、「ある」との回答が 23.9%（21 件）である。

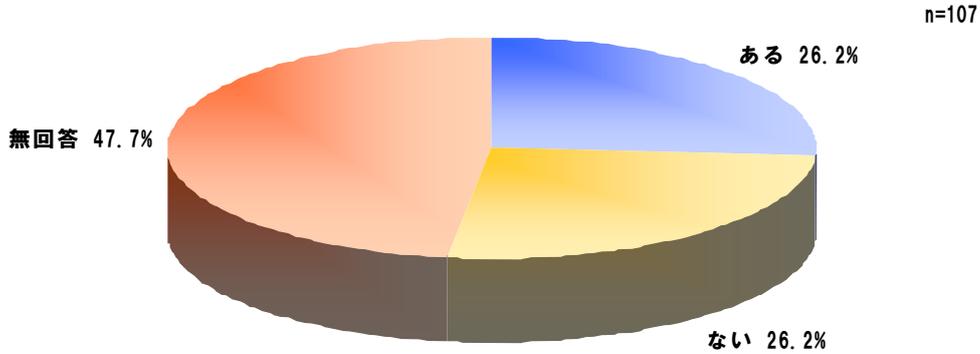
図表 3-45 一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）
（中古品として利用できるものの有無）



4) 中古品として利用できるものの有無（一般事務機（家具、什器など））

一般事務機（家具、什器など）については、「ある」と「ない」との回答が同数で 26.2%（28 件）である。

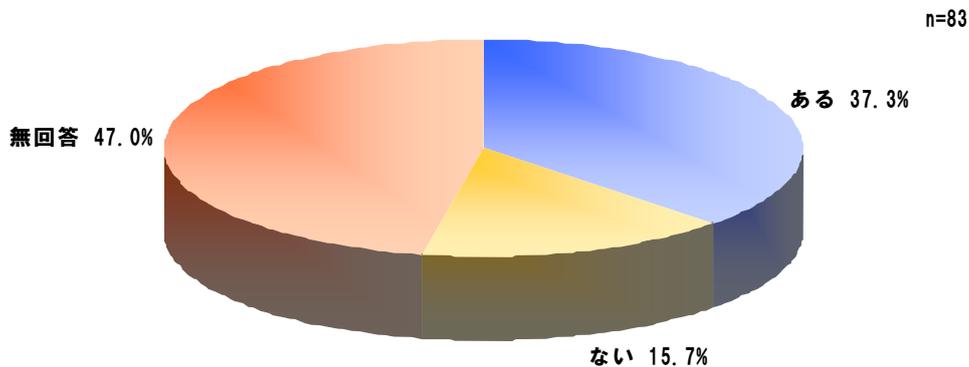
図表 3-46 一般事務機（家具、什器など）（中古品として利用できるものの有無）



5) 中古品として利用できるものの有無（自動車）

自動車（中古品として利用できるものの有無）については、「ある」との回答が 37.3%（31 件）、「ない」との回答が 15.7%（13 件）である。

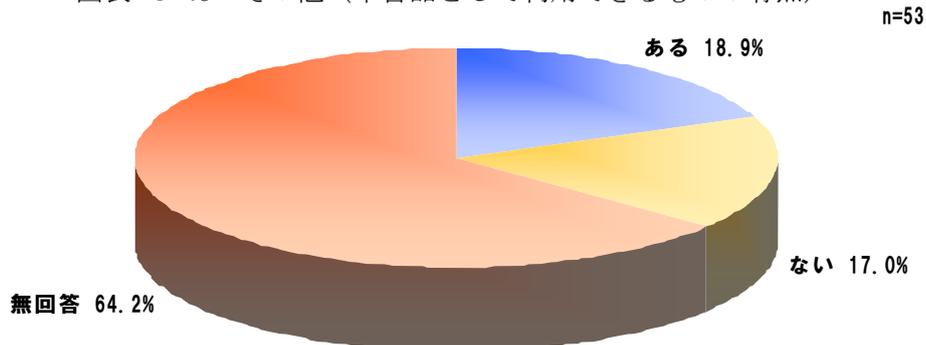
図表 3-47 自動車（中古品として利用できるものの有無）



6) 中古品として利用できるものの有無（その他）

その他（中古品として利用できるものの有無）については、「ある」との回答が 18.9%（10 件）、「ない」との回答が 17.0%（9 件）である。

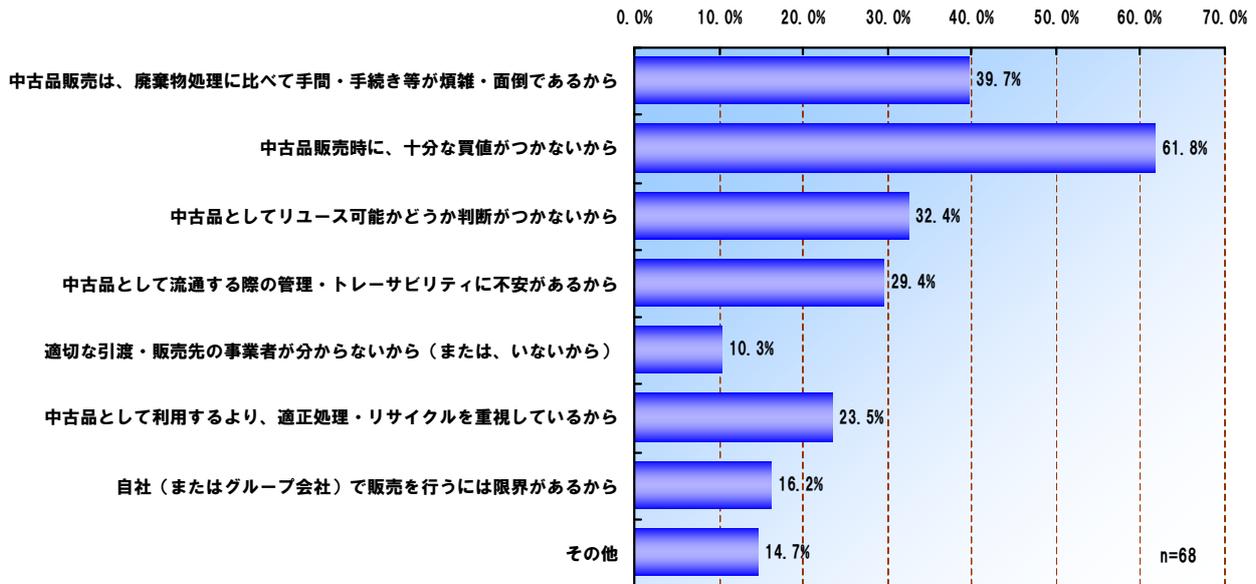
図表 3-48 その他（中古品として利用できるものの有無）



(4) 中古品として流通していない理由について

中古品として流通していない理由（複数回答可）について、「中古品販売時に、十分な買値が見つからないから」との回答が最も多く 61.8%（42 件）、次いで「中古品販売は、廃棄物処理に比べて手間・手続き等が煩雑・面倒であるから」との回答が 39.7%（27 件）、「中古品としてリユース可能かどうか判断が見つからないから」との回答が 32.4%（22 件）と続く。

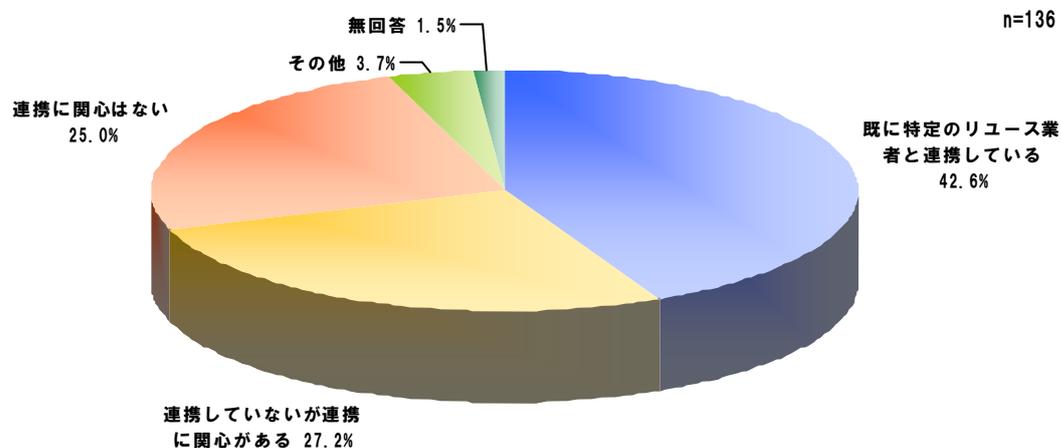
図表 3-49 中古として流通していない理由について



(5) 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について

特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について、「既に特定のリユース業者と連携している」との回答が最も多く 42.6%（58 件）、次いで「連携していないが連携に関心がある」との回答が 27.2%（37 件）、「連携に関心はない」との回答が 25.0%（34 件）であった。

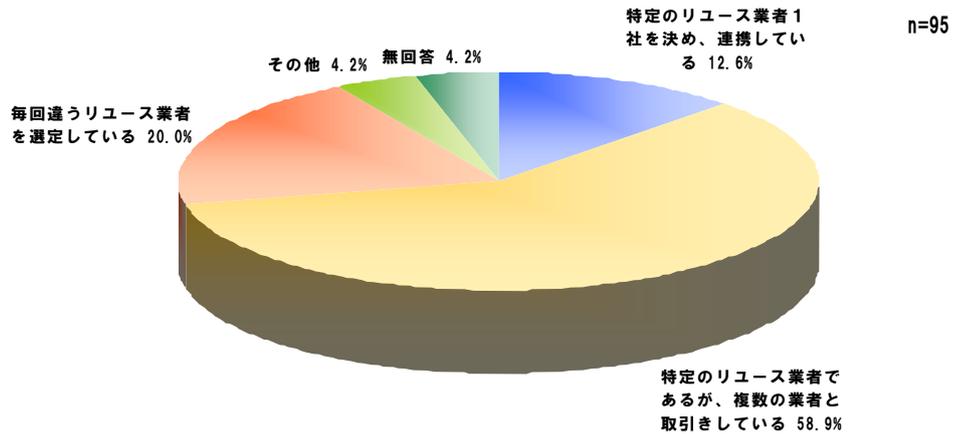
図表 3-50 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について



(6) リユース業者との連携の方法について

リユース業者との連携の方法について、「特定のリユース業者であるが、複数の業者と取引している」との回答が最も多く 58.9% (56 件)、次いで「毎回違うリユース業者を選定している」との回答が 20.0% (19 件)、「特定のリユース業者 1 社を決め、連携している」との回答が 12.6% (12 件) であった。

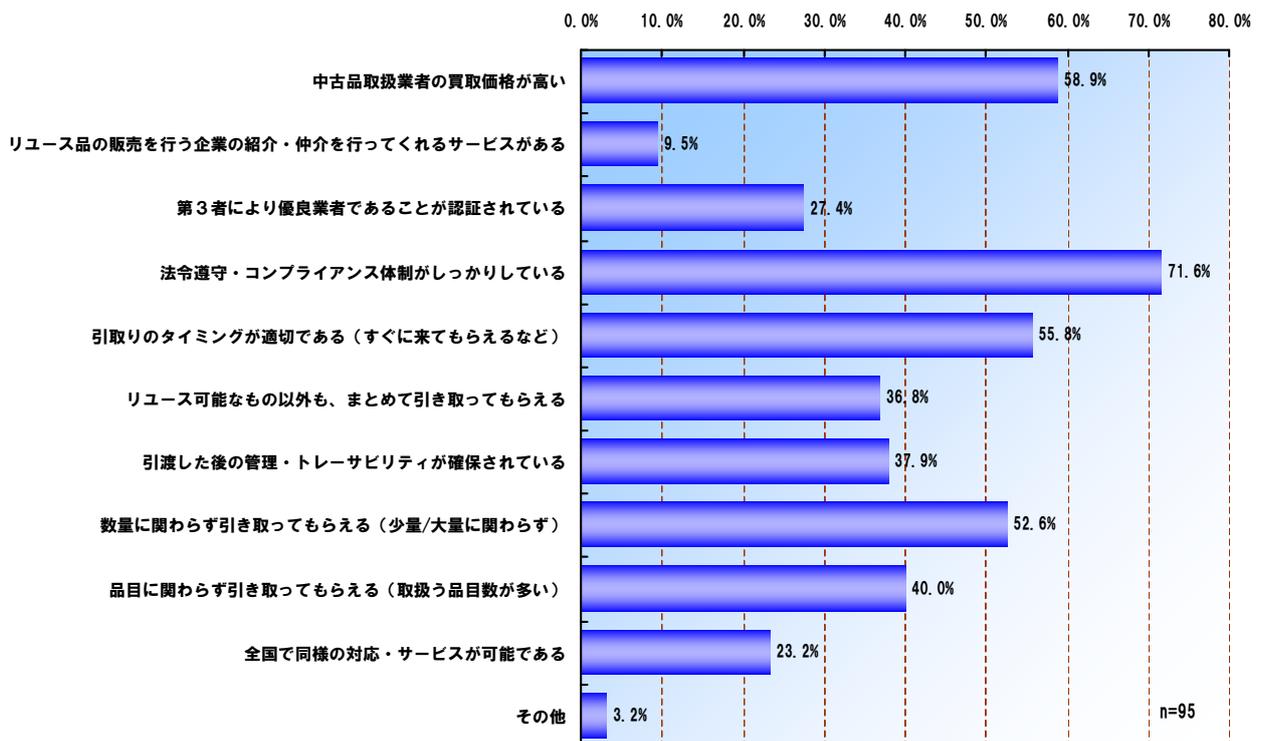
図表 3-51 リユース業者との連携の方法について



(7) リユース業者の選定の対応・条件について

リユース業者の選定の対応・条件（複数回答可）について、「法令遵守・コンプライアンス体制がしっかりしている」との回答が最も多く 71.6% (68 件)、次いで「中古品取扱業者の買取価格が高い」との回答が 58.9% (56 件)、「引取りのタイミングが適切である（すぐに来てもらえるなど）」との回答が 55.8% (53 件) と続く。

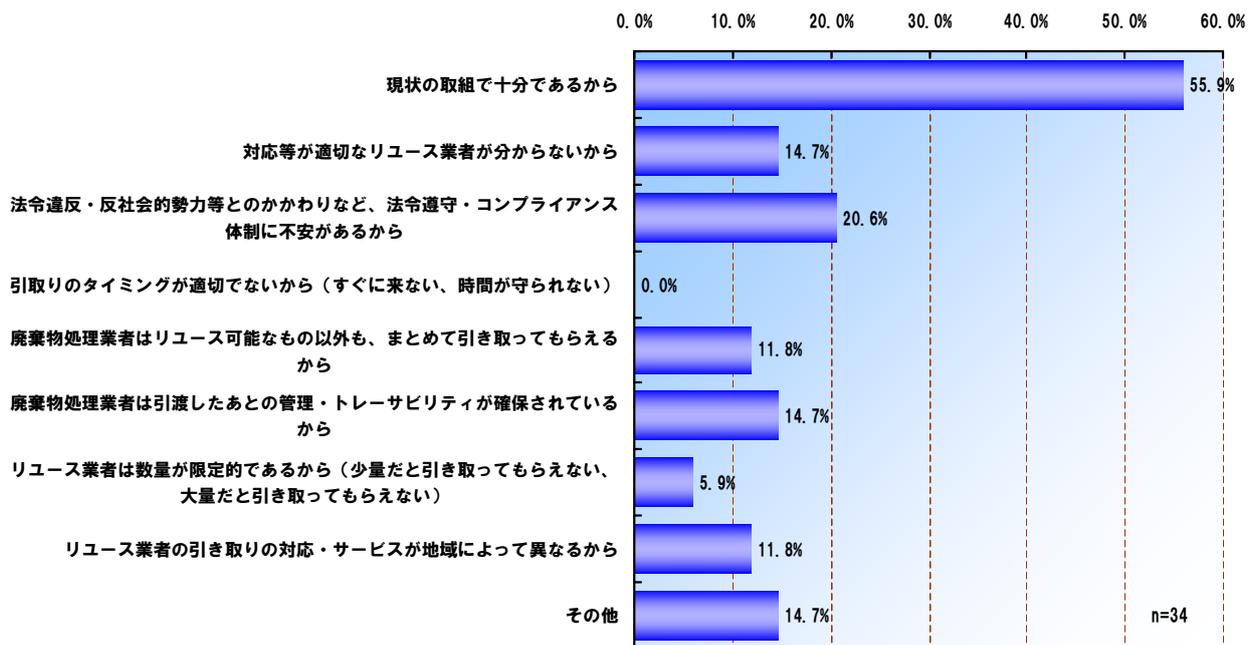
図表 3-52 リユース業者の選定の対応・条件について



(8) 連携に関心がない理由について

連携に関心がない理由（複数回答可）について、「現状の取組で十分である」との回答が最も多く 55.9%（19 件）、次いで「法令違反・反社会的勢力等とのかかわりなど、法令遵守・コンプライアンス体制に不安があるから」との回答が 20.6%（7 件）、「対応等が適切なリユース業者が分からないから」と「廃棄物処理業者は引渡したあとの管理・トレーサビリティが確保されているから」との回答が同数で 14.7%（5 件）と続く。

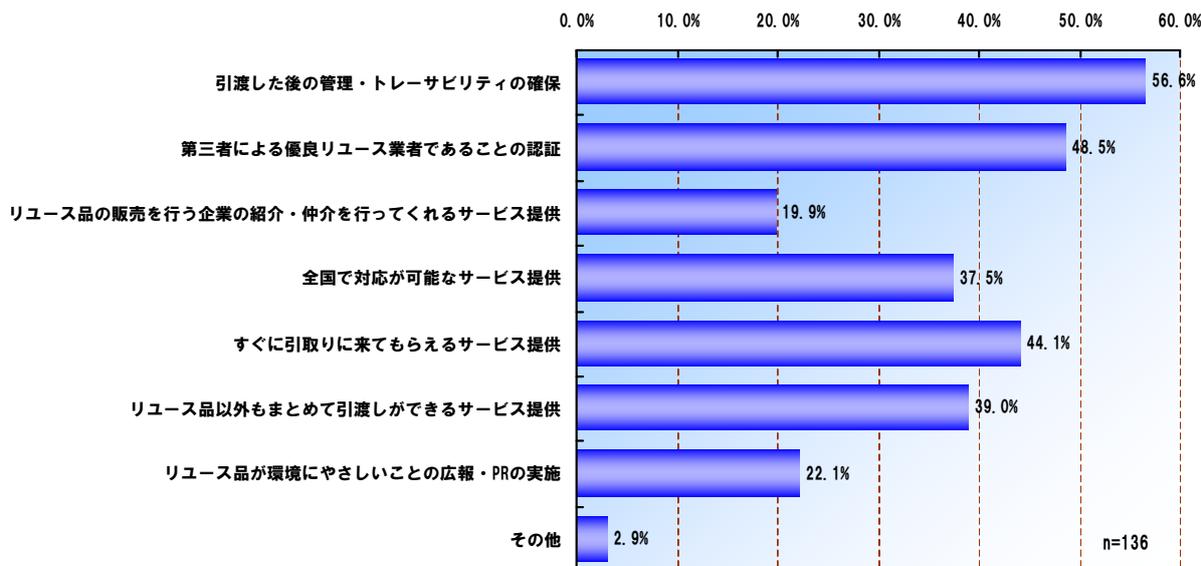
図表 3-53 連携に関心がない理由について



(9) リユース業界に推進して欲しいと思う取組について

推進して欲しいと思う取組（複数回答可）について、「引渡した後の管理・トレーサビリティの確保」との回答が最も多く 56.6%（77 件）、次いで「第三者による優良リユース業者であることの認証」との回答が 48.5%（66 件）、「すぐに引取りに来てもらえるサービス提供」との回答が 44.1%（60 件）と続く。

図表 3-54 推進して欲しいと思う取組について



(10) リユース業界に対する意見・要望など（自由回答）

<仕組み・工夫について>
 ・例えば、官・民が協力して中古パソコンを小中学校へ導入するしくみを作るなどリユース率を高める工夫・施策が必要と思われまます。

<買取基準について>
 ・リユース業界に対して、中古買取価格一覧表等のデータ還元を要望する。

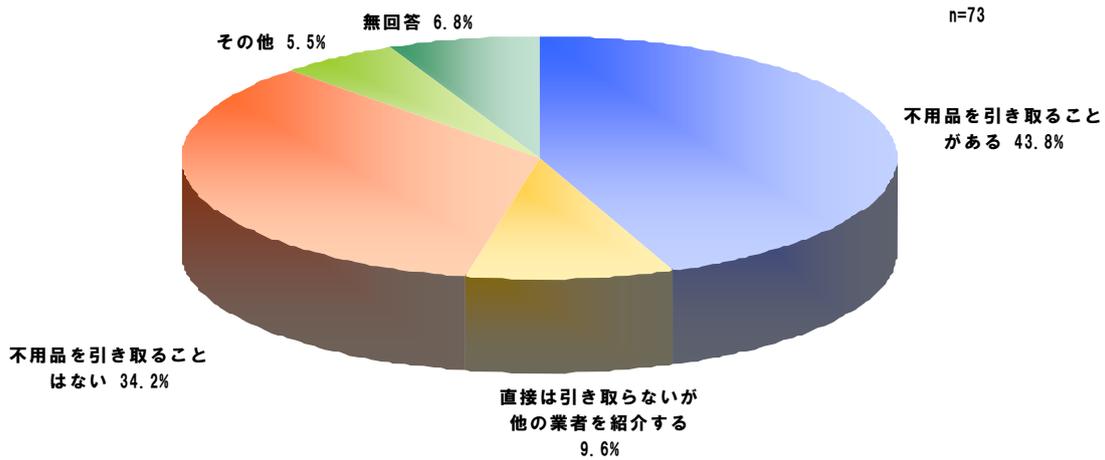
<その他>
 ・どんどん推進して下さい。

3. 引越業

(1) 引越時に発生する不用品の引取の有無について

引越時に発生する不用品の引取の有無について、「不用品を引き取ることがある」が最も多く 43.8% (32 件)、次いで「不用品を引き取ることはない」が 34.2% (25 件)、「直接は引き取らないが他の業者を紹介する」9.6% (7 件) と続く。

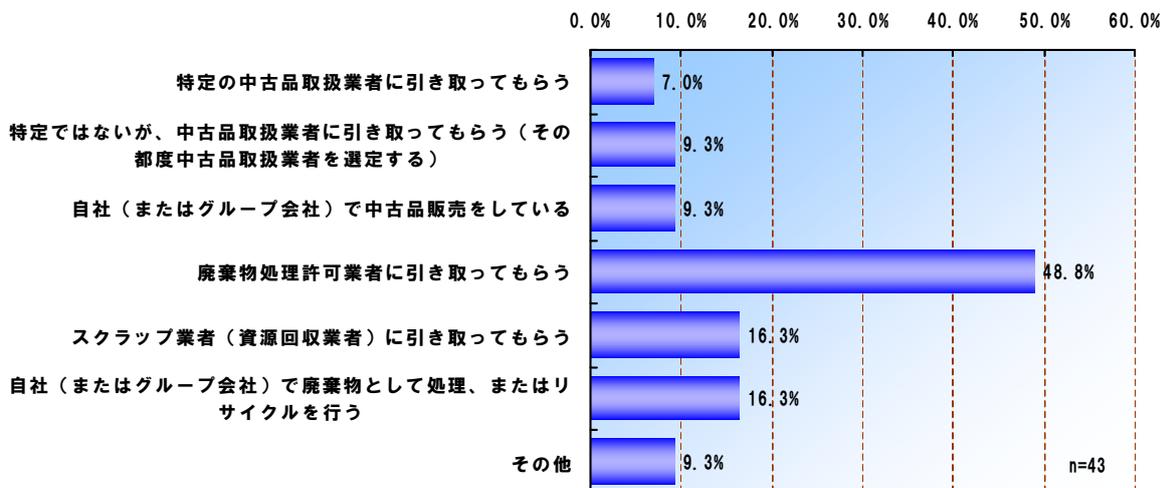
図表 3-55 引越時に発生する不用品の引取の有無について



(2) 引越時に発生する不用品の引取・処理について

引越時に発生する不用品の引取・処理（複数回答可）について、「廃棄物処理許可業者に引き取ってもらう」が最も多く 48.8% (21 件)、次いで、「スクラップ業者（資源回収業者）に引き取ってもらう」と「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が同数で 16.3% (7 件) と続く。

図表 3-56 引越時に発生する不用品の引取・処理について



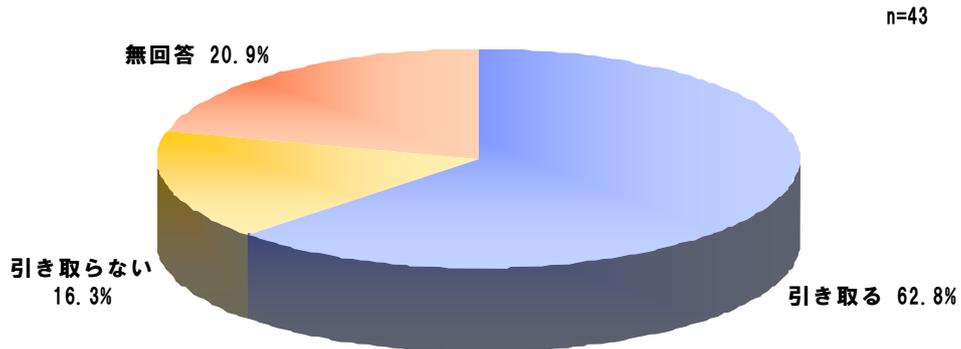
(3) 品目別の引取の可否・費用負担・処理方法

1) 家電製品

① 家電製品の引取の可否

家電の引取りの可否について、「引き取る」が62.8%（27件）と過半数を占めている。

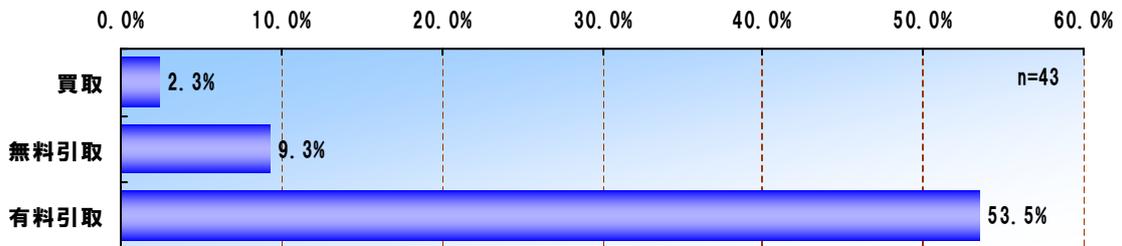
図表 3-57 家電の引取りの可否



② 家電製品の引取り時の費用

家電の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く53.5%（23件）、次いで「無料引取」が9.3%（4件）、「買取」2.3%（1件）と続く。

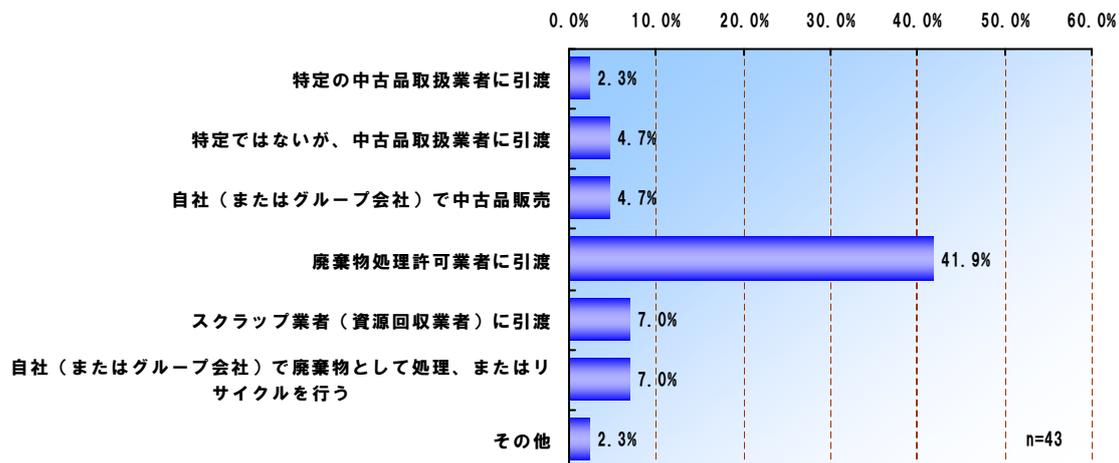
図表 3-58 家電の引取り時の費用



③ 家電製品の引取り後の処理

家電の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 41.9% (18 件)、次いで「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」と「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が同数で 7.0% (3 件) と続く。

図表 3-59 家電の引取り後の処理

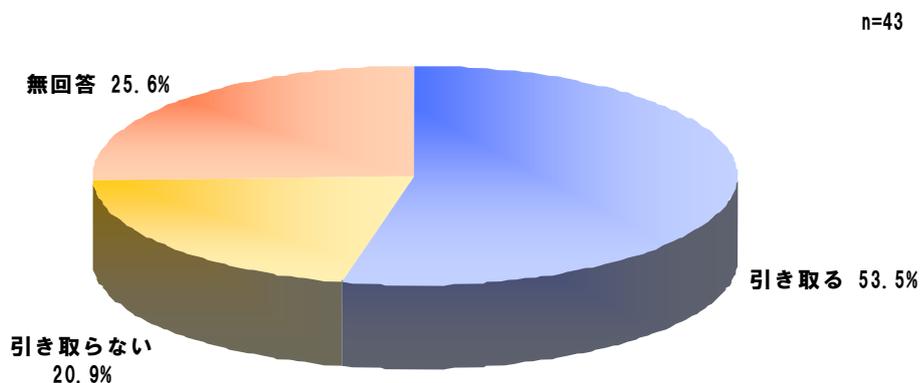


2) パソコン・周辺機器

① パソコン・周辺機器の引取りの可否

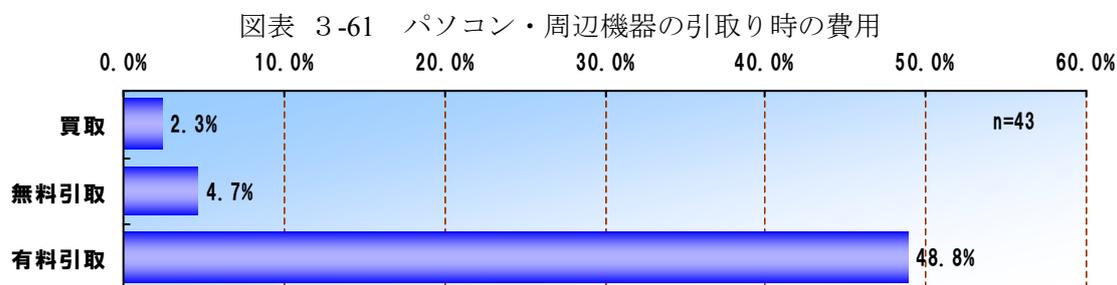
パソコン・周辺機器の引取りの可否について、「引き取る」が 53.5% (23 件) と過半数を占めている。

図表 3-60 パソコン・周辺機器の引取りの可否



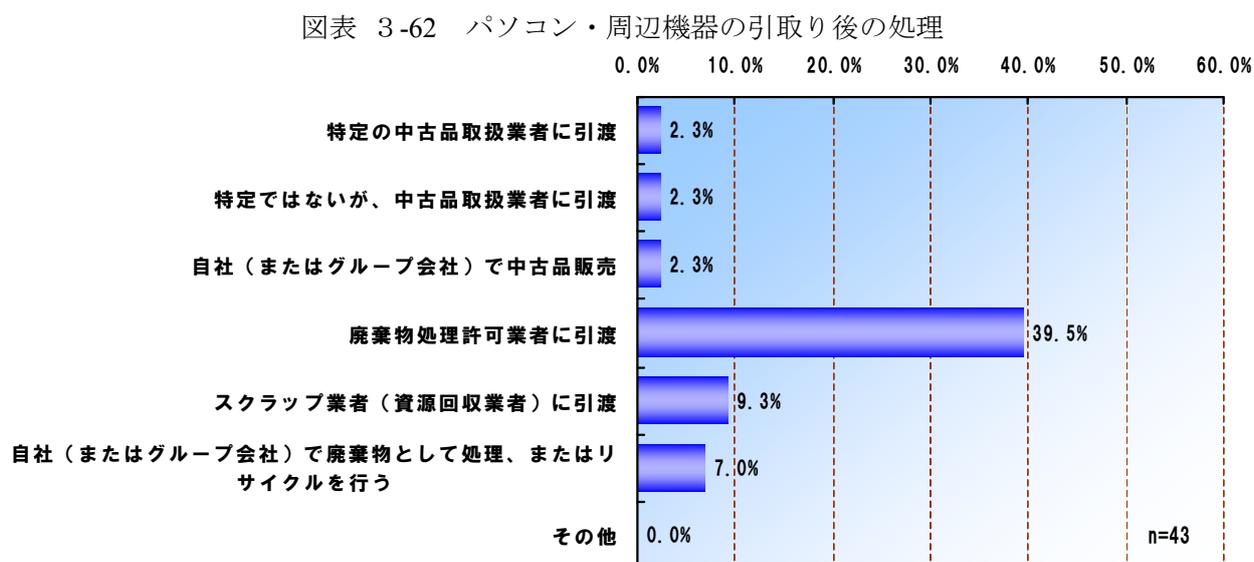
② パソコン・周辺機器の引取り時の費用

パソコン・周辺機器の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 48.8% (21 件)、次いで「無料引取」が 4.7% (2 件)、「買取」 2.3% (1 件) と続く。



③ パソコン・周辺機器の引取り後の処理

パソコン・周辺機器の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 39.5% (17 件)、次いで「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」が 9.3% (4 件)、「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」 7.0% (3 件) と続く。

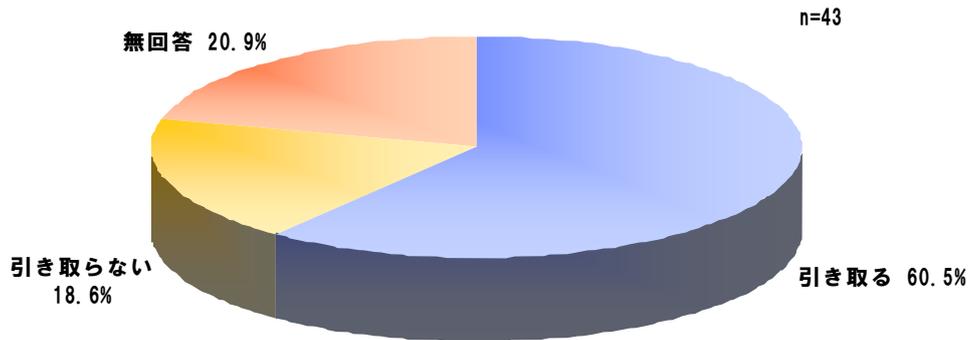


3) その他電化製品

① その他電化製品の引取りの可否

その他電化製品の引取りの可否について、「引き取る」が60.5%（26件）と過半数を占めている。

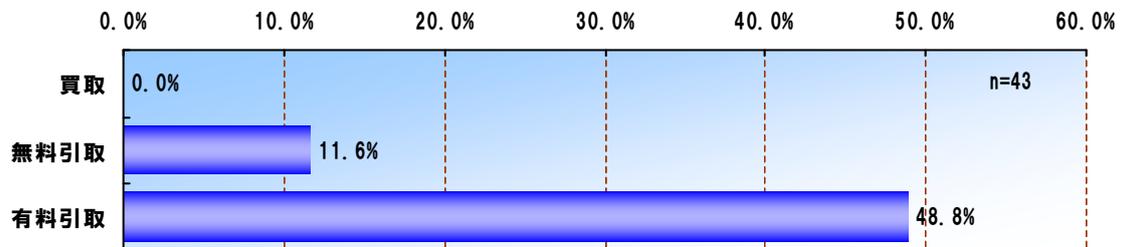
図表 3-63 その他電化製品の引取りの可否



② その他電化製品の引取り時の費用

その他電化製品の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く48.8%（21件）、次いで「無料引取」が11.6%（5件）と続く。「買取」は0.0%である。

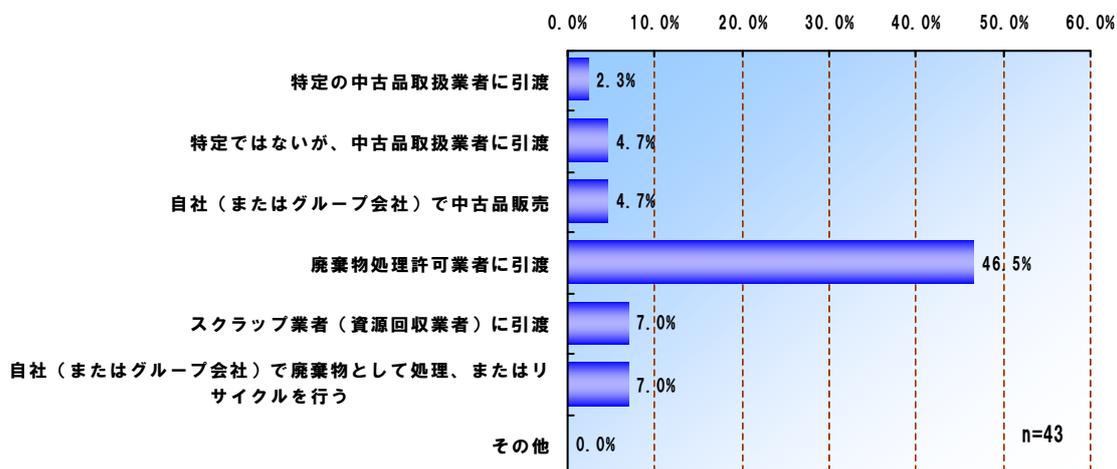
図表 3-64 その他電化製品の引取り時の費用



③ その他電化製品の引取り後の処理

その他電化製品の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く46.5%（20件）、次いで「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」と「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が同数で7.0%（3件）と続く。

図表 3-65 その他電化製品の引取り後の処理

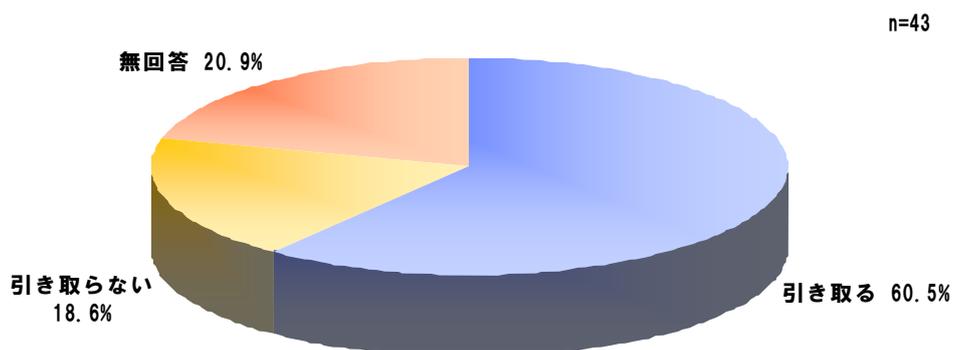


4) 衣類

① 衣類の引取りの可否

衣類の引取りの可否について、「引き取る」が60.5%（26件）と過半数を占めている。

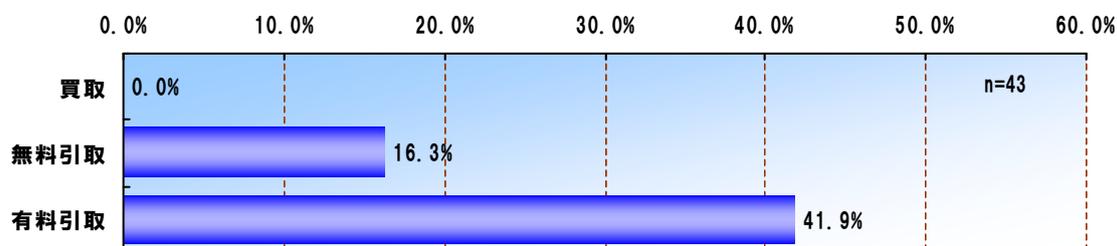
図表 3-66 衣類の引取りの可否



② 衣類の引取り時の費用

衣類の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 41.9%（18 件）、次いで「無料引取」が 16.3%（7 件）と続く。「買取」は 0.0%である。

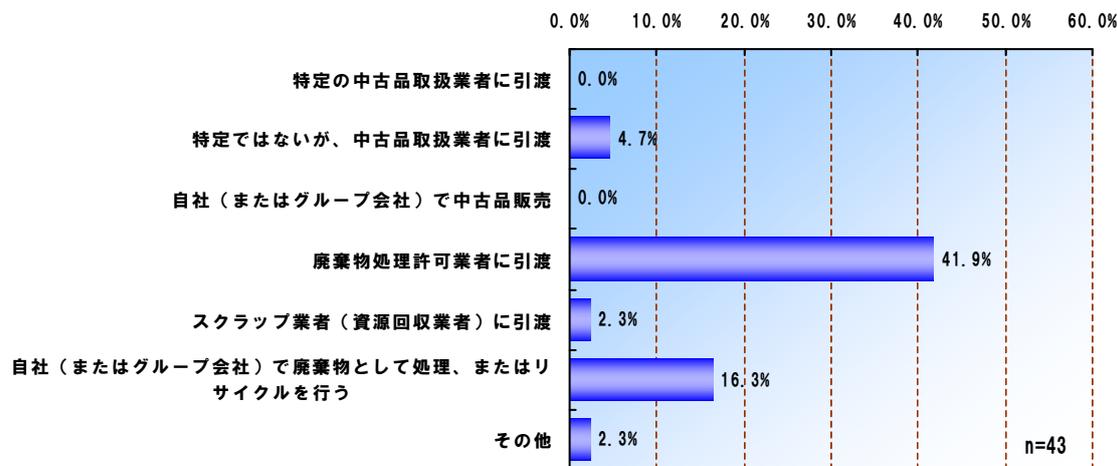
図表 3-67 衣類の引取り時の費用



③ 衣類の引取り後の処理

衣類の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 41.9%（18 件）、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 16.3%（7 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」4.7%（2 件）と続く。

図表 3-68 衣類の引取り後の処理

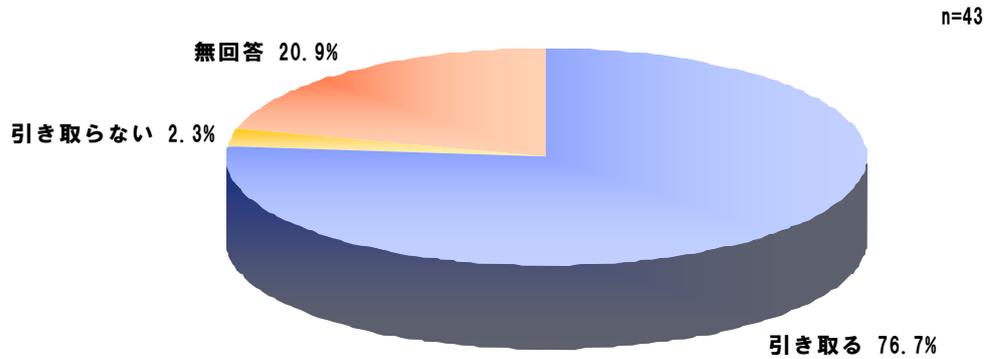


5) 家具類

① 家具類の引取りの可否

家具類の引取りの可否について、「引き取る」が76.7%（33件）と過半数を占めている。

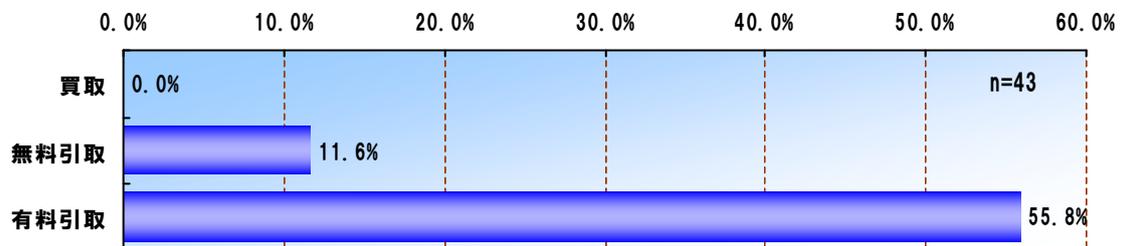
図表 3-69 家具類の引取りの可否



② 家具類の引取り時の費用

家具類の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く55.8%（24件）、次いで「無料引取」が11.6%（5件）と続く。「買取」は0.0%である。

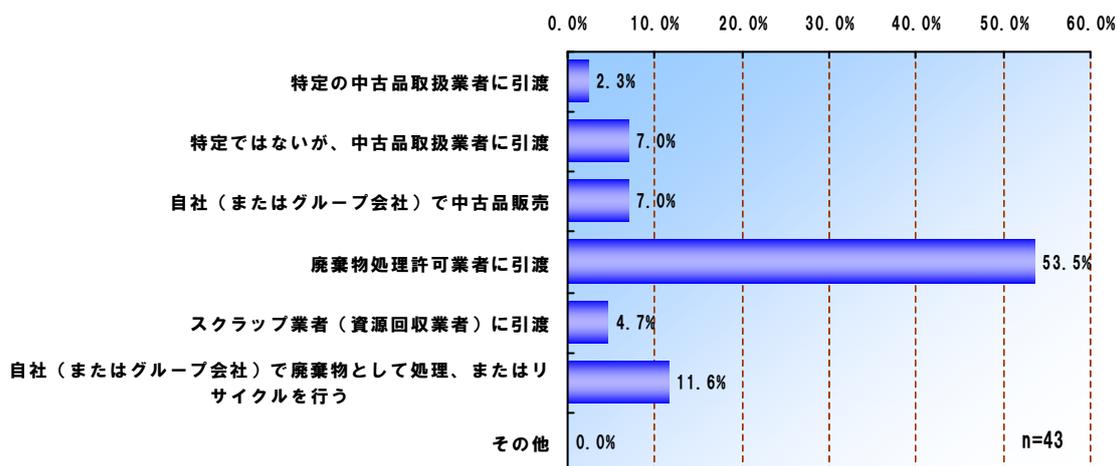
図表 3-70 家具類の引取り時の費用



③ 家具類の引取り後の処理

家具類の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 53.5% (23 件)、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 11.6% (5 件)、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」と「自社（またはグループ会社）で中古品販売」が同数で 7.0% (3 件) と続く。

図表 3-71 家具類の引取り後の処理

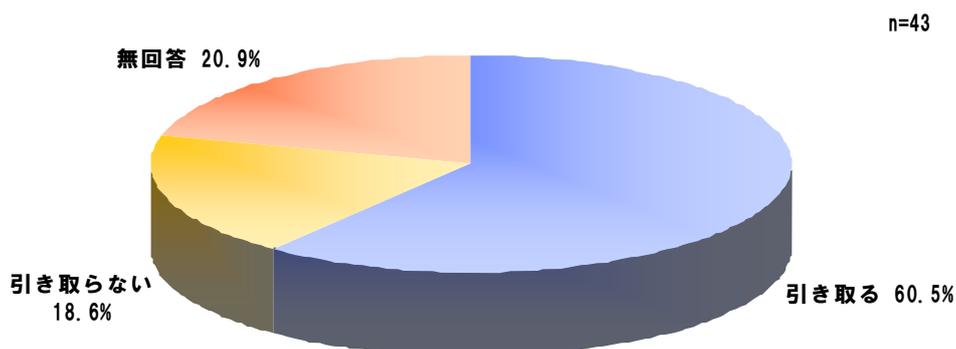


6) 生活雑貨

① 生活雑貨の引取りの可否

生活雑貨の引取りの可否について、「引き取る」が 60.5% (26 件) と過半数を占めている。

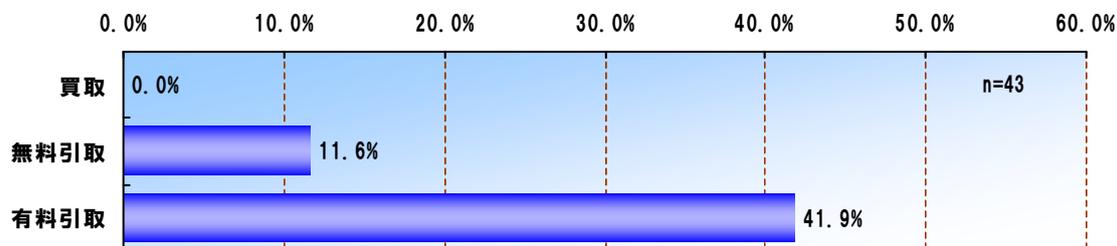
図表 3-72 生活雑貨の引取りの可否



② 生活雑貨の引取り時の費用

生活雑貨の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 41.9% (18 件)、次いで「無料引取」が 11.6% (5 件) と続く。「買取」は 0.0% である。

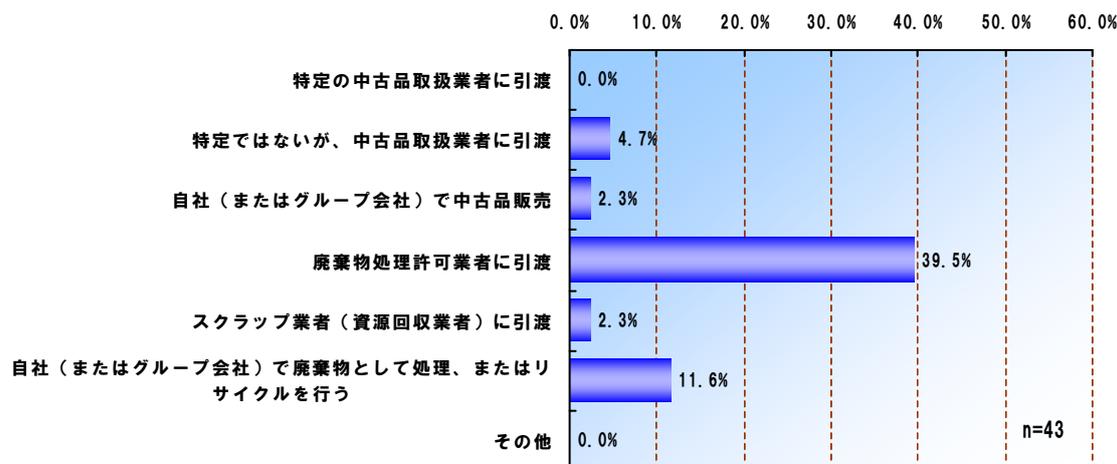
図表 3-73 生活雑貨の引取り時の費用



③ 生活雑貨の引取り後の処理

生活雑貨の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 39.5% (17 件)、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 11.6% (5 件)、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」4.7% (2 件) と続く。

図表 3-74 生活雑貨の引取り後の処理

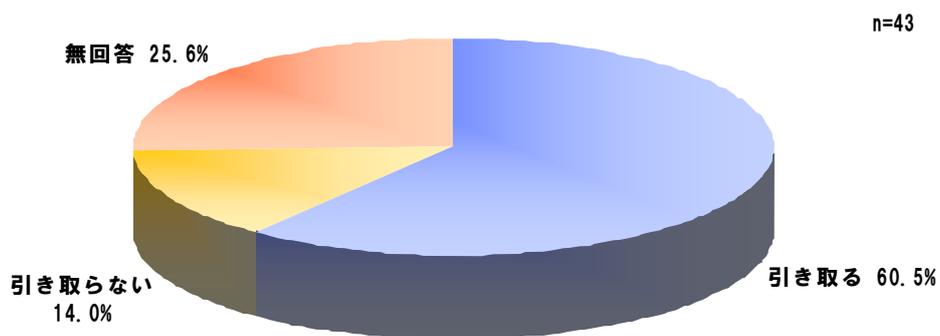


7) スポーツ用品

① スポーツ用品の引取りの可否

スポーツ用品の引取りの可否について、「引き取る」が 60.5%（26 件）と過半数を占めている。

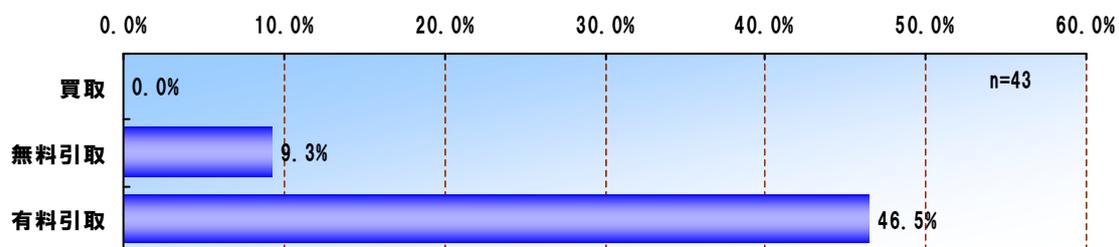
図表 3-75 スポーツ用品の引取りの可否



② スポーツ用品の引取り時の費用

スポーツ用品の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 46.5%（20 件）、次いで「無料引取」が 9.3%（4 件）と続く。「買取」は 0.0%である。

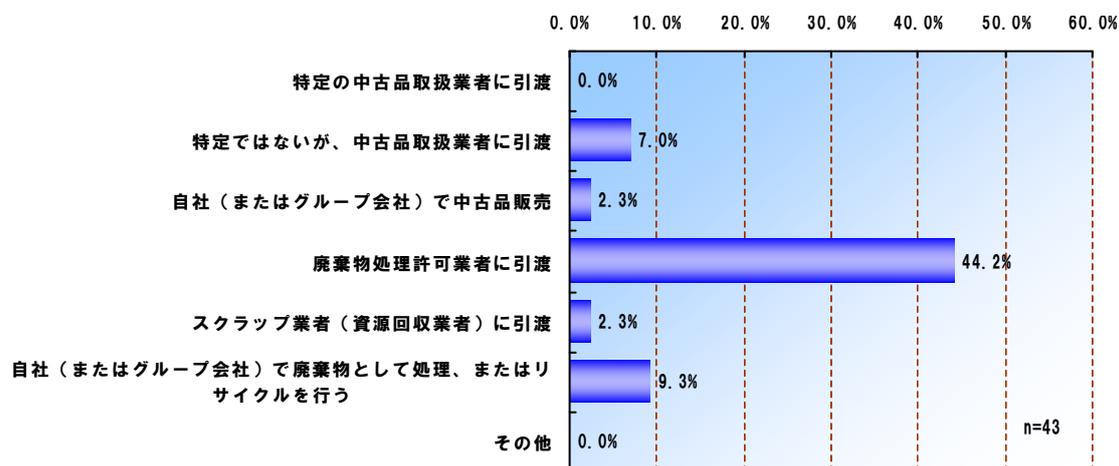
図表 3-76 スポーツ用品の引取り時の費用



③ スポーツ用品の引取り後の処理

スポーツ用品の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 44.2% (19 件)、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 9.3% (4 件)、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」7.0% (3 件) と続く。

図表 3-77 スポーツ用品の引取り後の処理

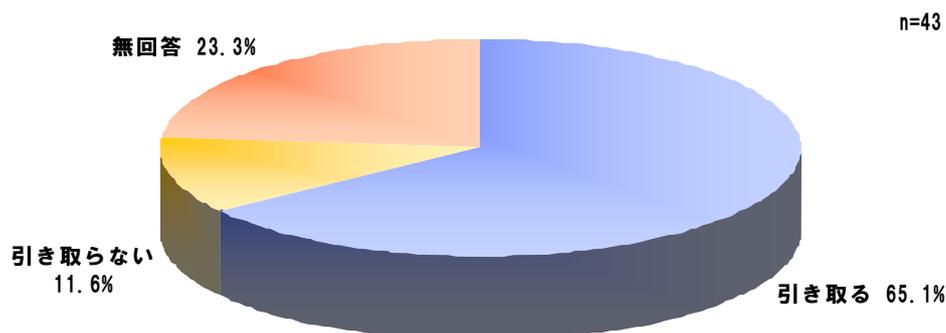


8) 古本

① 古本の引取りの可否

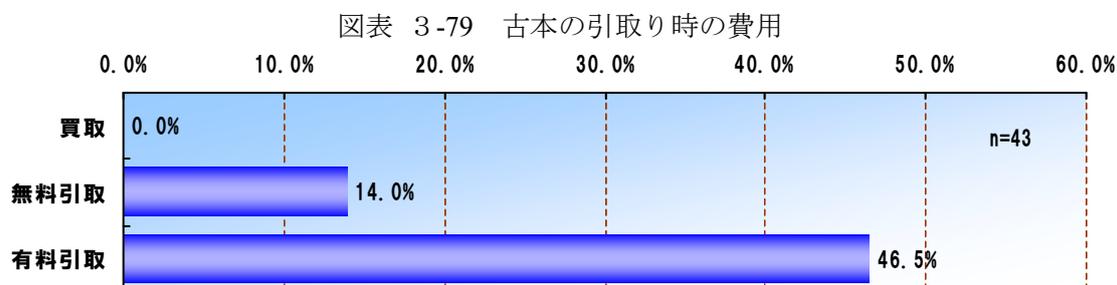
古本の引取りの可否について、「引き取る」が 65.1% (28 件) と過半数を占めている。

図表 3-78 古本の引取りの可否



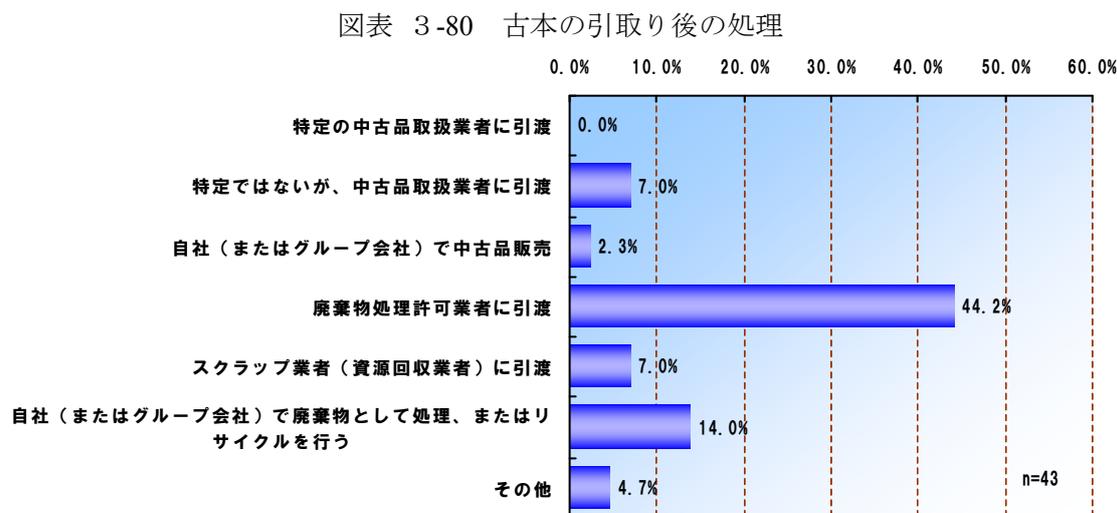
② 古本の引取り時の費用

古本の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 46.5%（20 件）、次いで「無料引取」が 14.0%（6 件）と続く。「買取」は 0.0%である。



③ 古本の引取り後の処理

古本の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 44.2%（19 件）、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 14.0%（6 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」と「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」が同数で 7.0%（3 件）と続く。

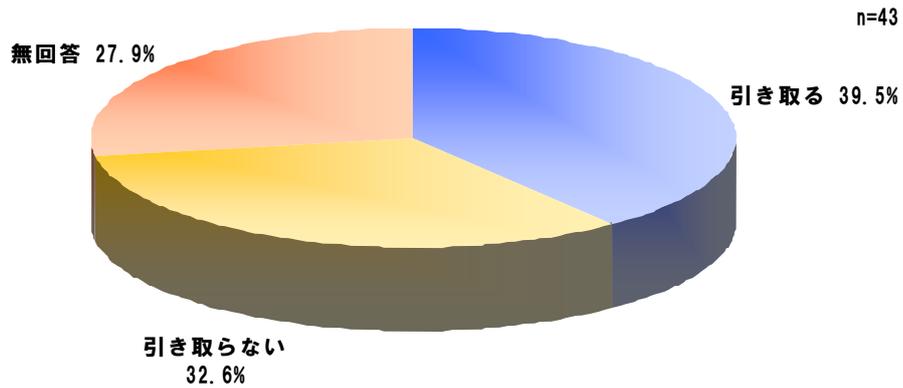


9) カー用品

① カー用品の引取りの可否

カー用品の引取りの可否について、「引き取る」が39.5% (17件)、「引き取らない」が32.6% (14件) であり、差は3件だけである。

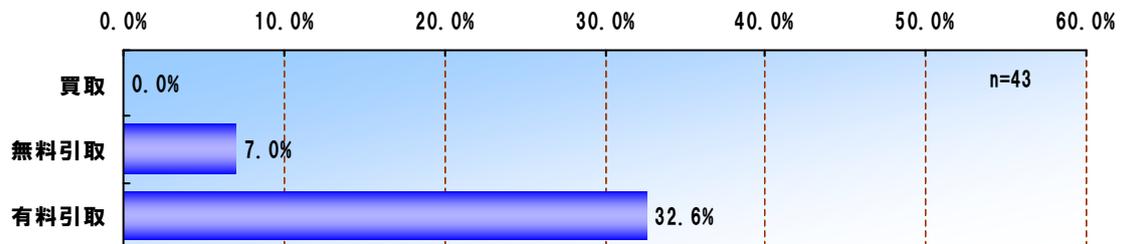
図表 3-81 カー用品の引取りの可否



② カー用品の引取り時の費用

カー用品の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く32.6% (14件)、次いで「無料引取」が7.0% (3件) と続く。「買取」は0.0%である。

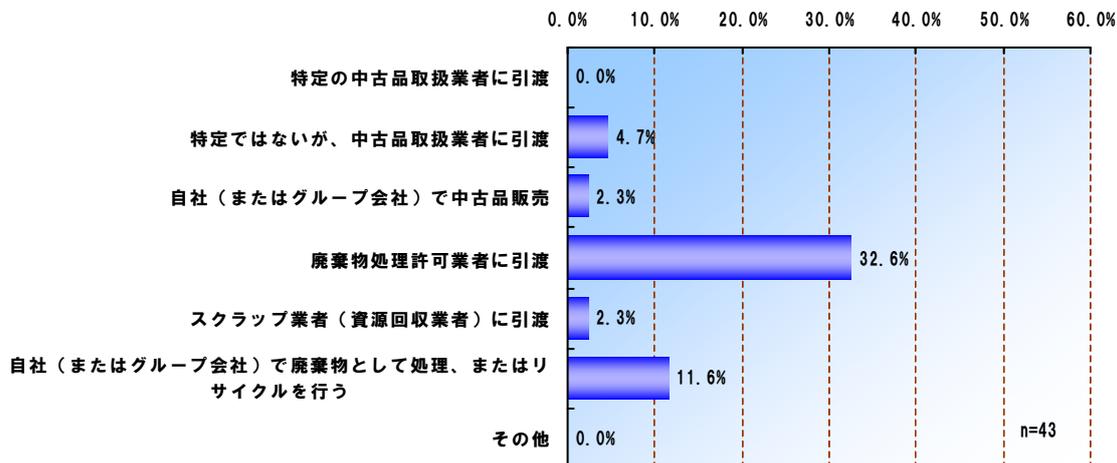
図表 3-82 カー用品の引取り時の費用



③ カー用品の引取り後の処理

カー用品の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 32.6% (14 件)、次いで「自社 (またはグループ会社) で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 11.6% (5 件)、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」4.7% (2 件) と続く。

図表 3-83 カー用品の引取り後の処理

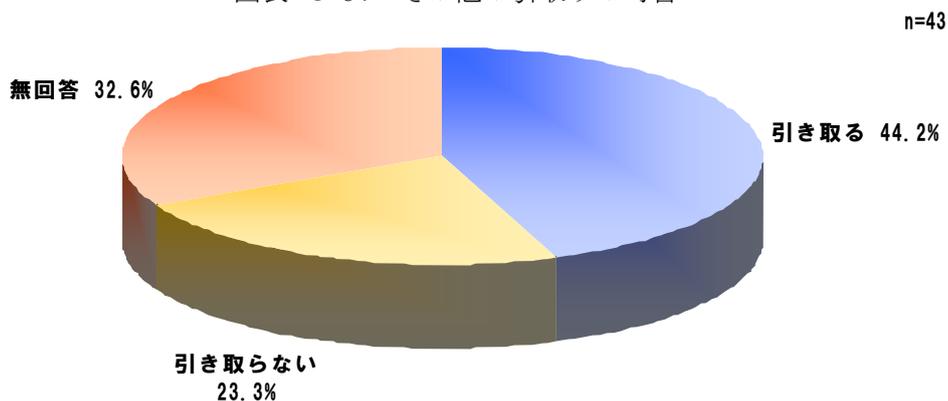


10) その他

① その他の引取りの可否

その他の引取りの可否について、「引き取る」が 44.2% (19 件) であり、「引き取らない」が 23.3% (10 件) である。

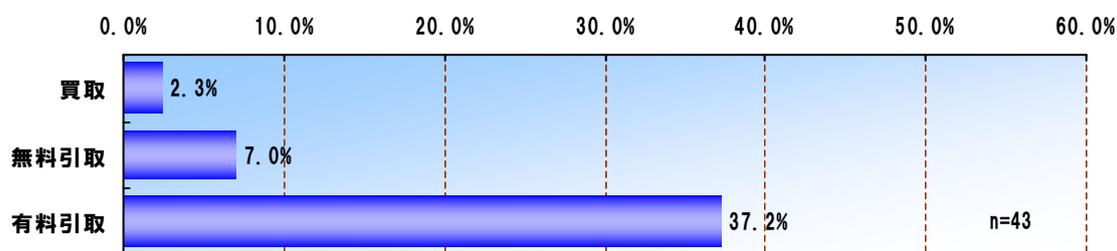
図表 3-84 その他の引取りの可否



② その他の引取り時の費用

その他の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 37.2%（16 件）、次いで「無料引取」が 7.0%（3 件）、「買取」2.3%（1 件）と続く。

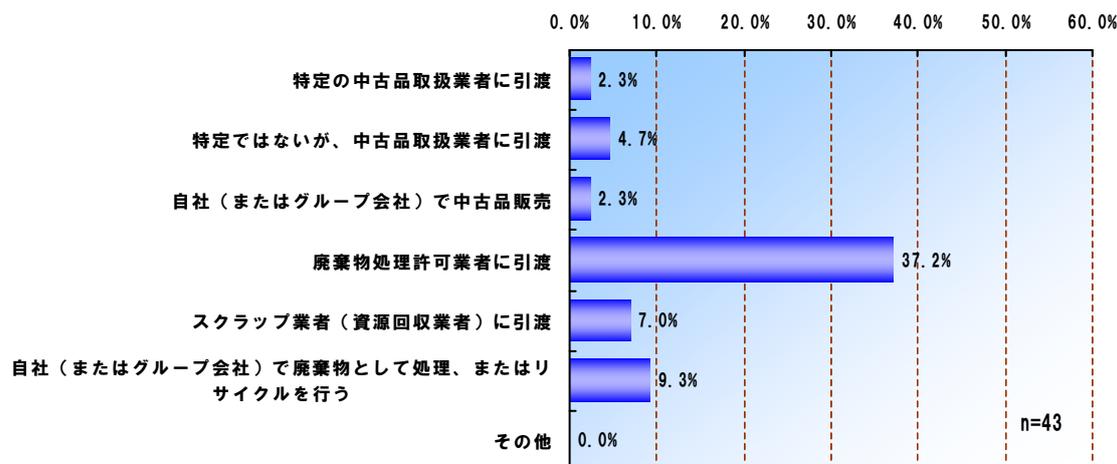
図表 3-85 その他の引取り時の費用



③ その他の引取り後の処理

その他の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 37.2%（16 件）、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 9.3%（4 件）、「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」7.0%（3 件）と続く。

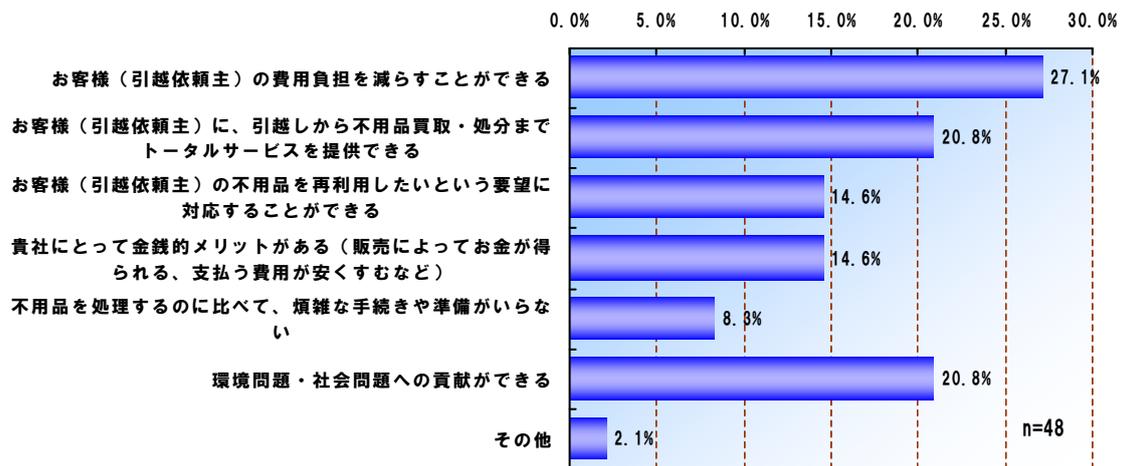
図表 3-86 その他の引取り後の処理



(4) 引き取った不用品を、中古品として再利用する理由・メリットについて

引き取った不用品を、中古品として再利用する理由・メリットについて、「お客様（引越依頼主）の費用負担を減らすことができる」が最も多く 27.1%（13 件）、次いで「お客様（引越依頼主）に、引越してから不用品買取・処分までトータルサービスを提供できる」と「環境問題・社会問題への貢献ができる」が 20.8%（10 件）と続く。

図表 3-87 引き取った不用品を、中古品として再利用する理由・メリットについて

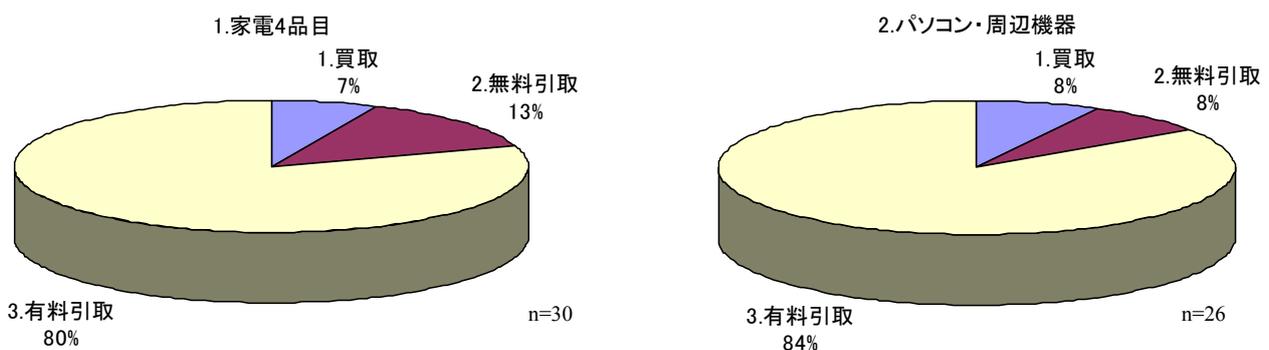


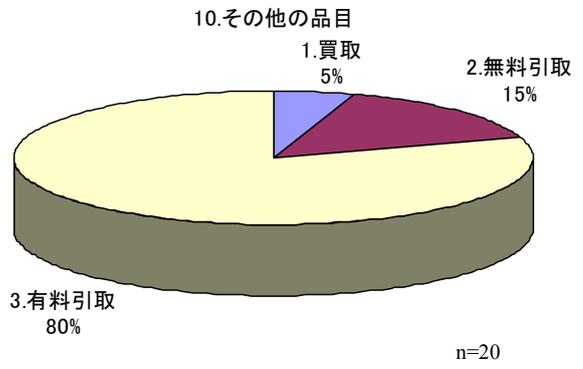
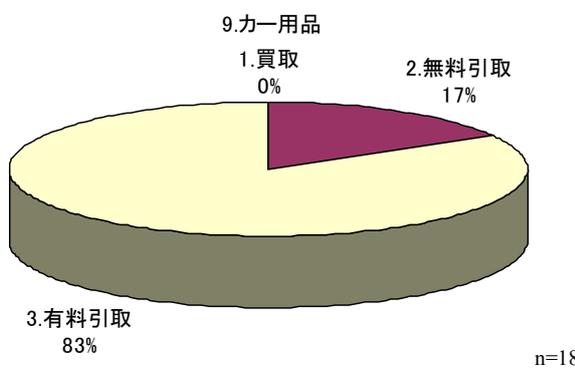
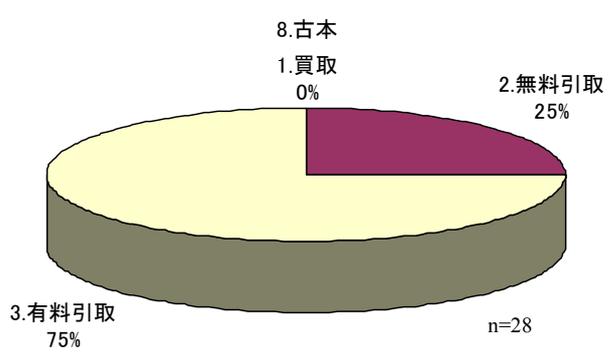
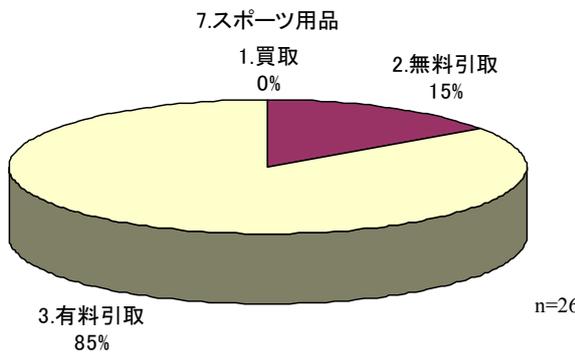
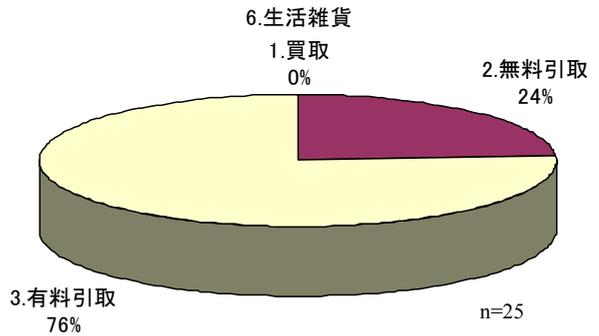
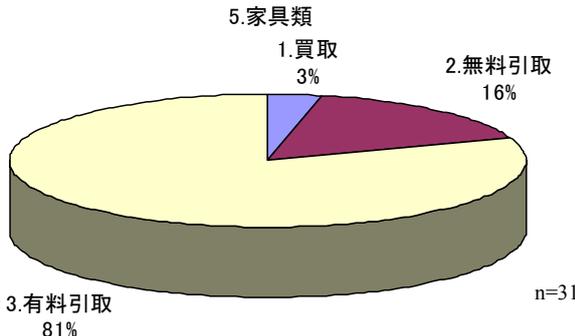
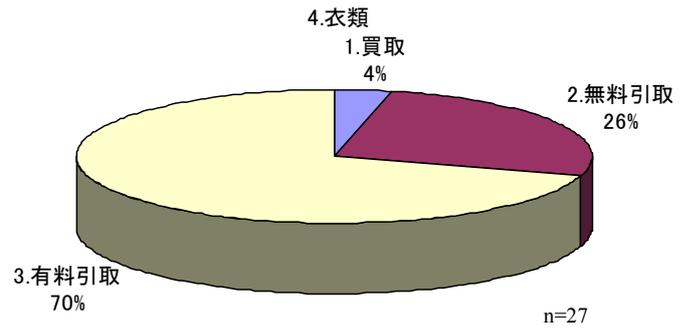
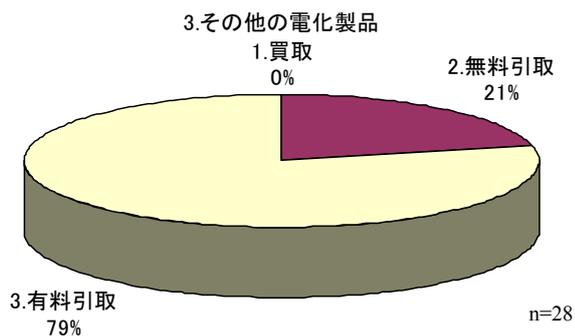
(5) 引越業者における不用品引取時の費用・料金の状況

品目ごとに、引越業者の引取時の費用分担の状況を整理する。設問は、引取の可否を回答した上で、その際の費用負担の状況として「買取」、「無料引取」、「有料引取」の3つの選択肢を提示し、「主要なもの」を1つ選んで回答してもらっている。なお、同じ品目でも、製品の状態・数量などによって、費用負担の状況は異なると考えられるが、ここでは「主要なもの」として回答された内容を整理する。

結果を図表 3-88に示す。いずれの品目も「有料引取」の割合が70~85%となっている。「家電」、「パソコン・周辺機器」、「衣類」、「家具類」、「その他品目」では「買取」されるケースが確認できるが、いずれも1割以下（3~8%）である。

図表 3-88 引越業者の引取時の費用分担の状況



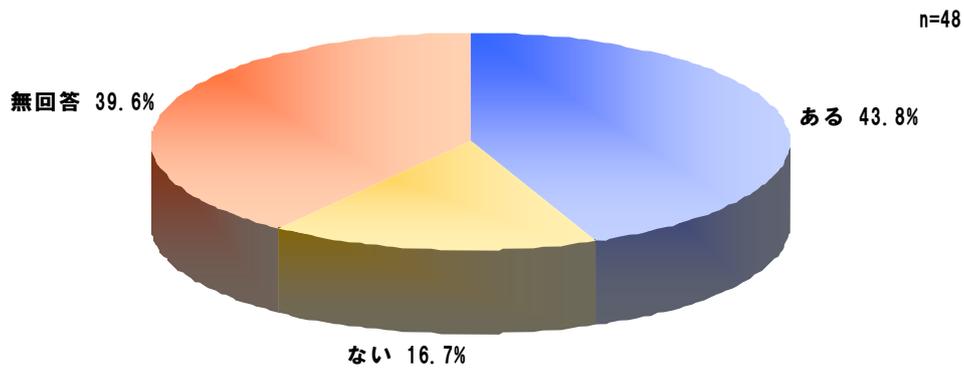


(6) 引き取った不用品で中古品として利用できるものの有無

1) 全体

引き取った不用品全体で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が 43.8% (21 件)、「ない」が 16.7% (8 件) である。

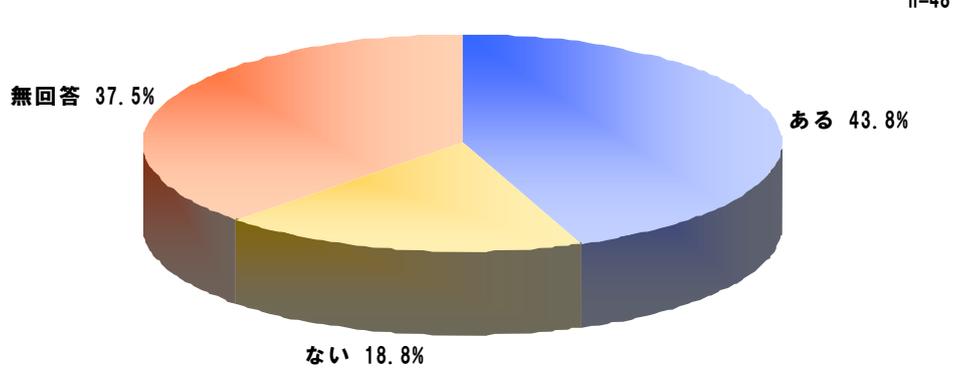
図表 3-89 全体 (中古品として利用できるものの有無)



2) 引き取った家電で中古品として利用できるものの有無

引き取った家電で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が 43.8% (21 件)、「ない」が 18.8% (9 件) である。

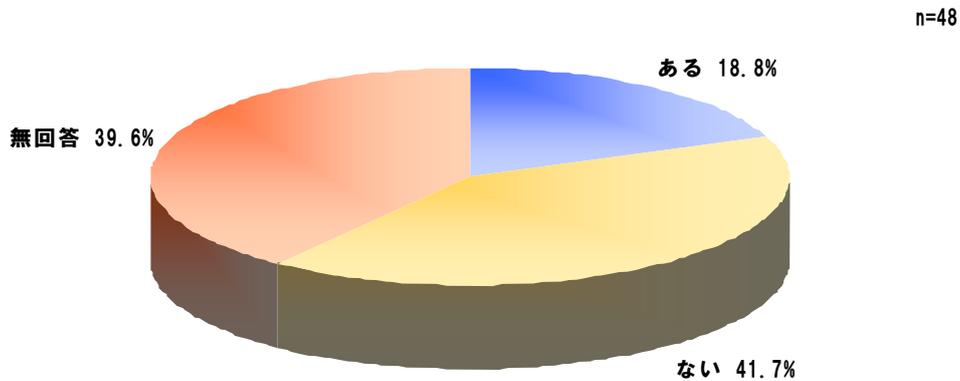
図表 3-90 家電 (中古品として利用できるものの有無)



3) 引き取ったパソコン・周辺機器で中古品として利用できるものの有無

引き取ったパソコン・周辺機器で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が41.7%（20件）、「ある」が18.8%（9件）である。

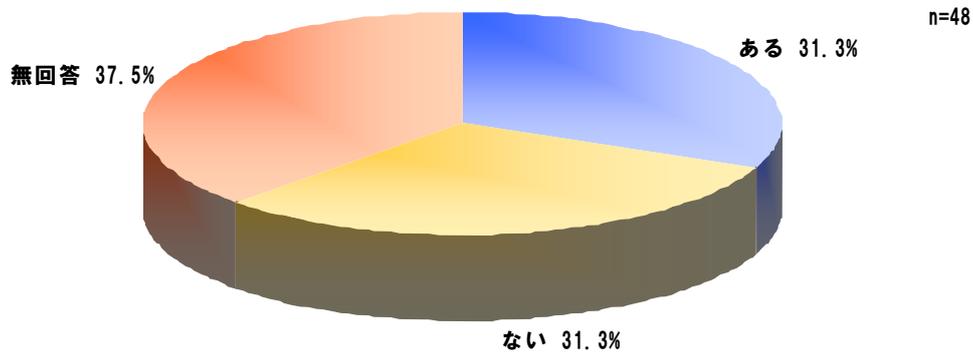
図表 3-91 パソコン・周辺機器（中古品として利用できるものの有無）



4) 引き取ったその他の電化製品で中古品として利用できるものの有無

引き取ったその他の電化製品で中古品として利用できるものの有無について、「ある」と「ない」が31.3%（15件）で同数である。

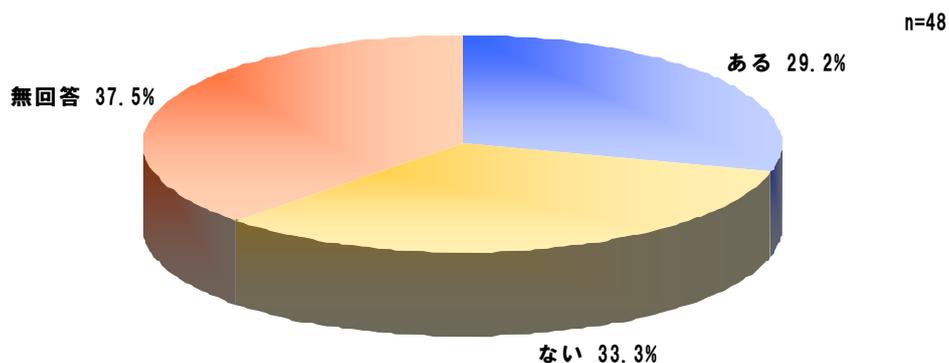
図表 3-92 その他の電化製品（中古品として利用できるものの有無）



5) 引き取った衣類で中古品として利用できるものの有無

引き取った衣類で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が33.3%（16件）、「ある」が29.2%（14件）である。

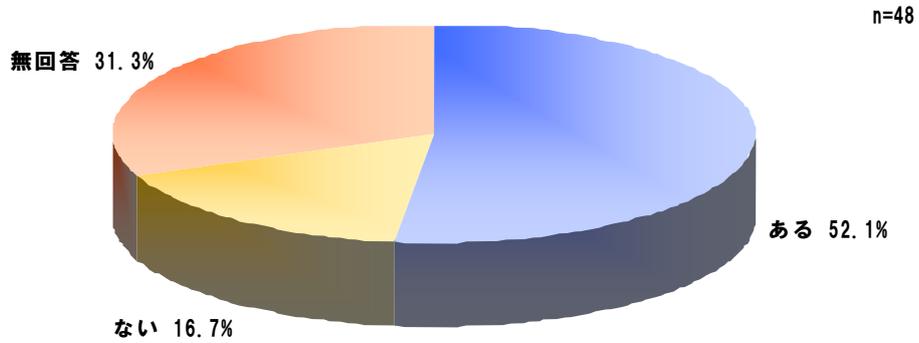
図表 3-93 衣類（中古品として利用できるものの有無）



6) 引き取った家具類で中古品として利用できるものの有無

引き取った家具類で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が 52.1% (25 件) で過半数を占める。

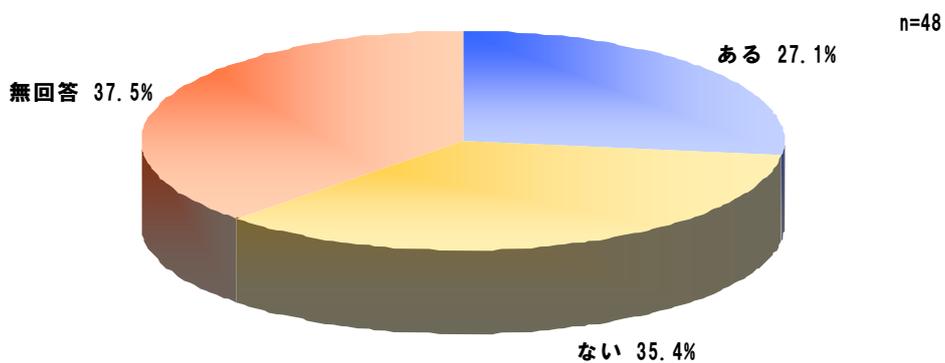
図表 3-94 家具類 (中古品として利用できるものの有無)



7) 引き取った生活雑貨で中古品として利用できるものの有無

引き取った生活雑貨で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が 35.4% (17 件)、「ある」が 27.1% (13 件) である。

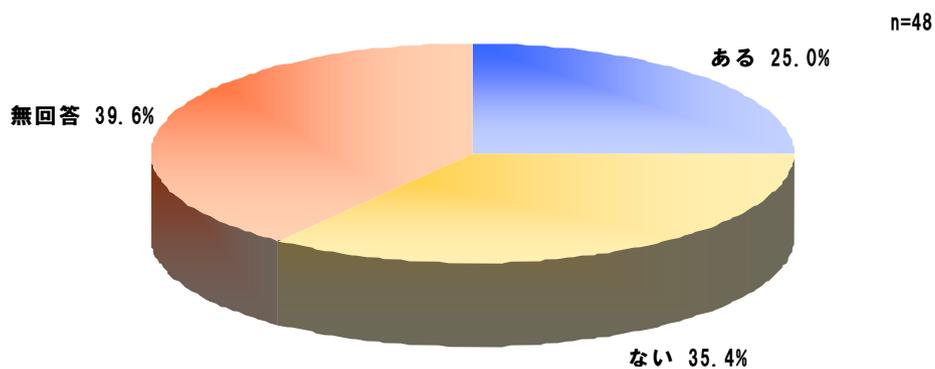
図表 3-95 生活雑貨 (中古品として利用できるものの有無)



8) 引き取ったスポーツ用品で中古品として利用できるものの有無

引き取ったスポーツ用品で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が 35.4% (17 件)、「ある」が 25.0% (12 件) である。

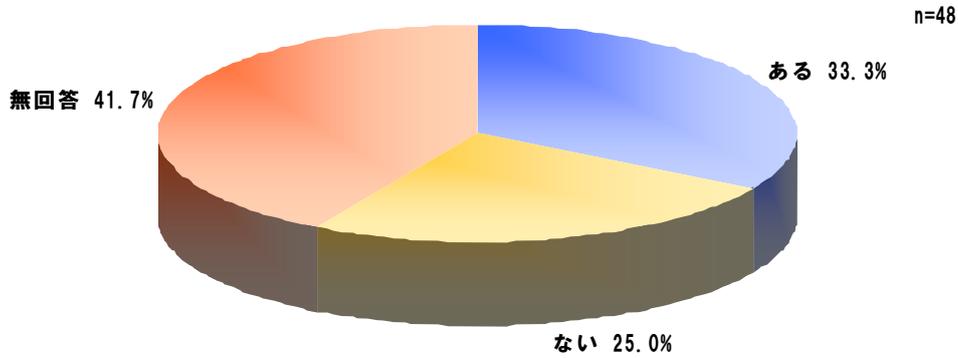
図表 3-96 スポーツ用品 (中古品として利用できるものの有無)



9) 引き取った古本で中古品として利用できるものの有無

引き取った古本で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が 33.3% (16 件)、「ない」が 25.0% (12 件) である。

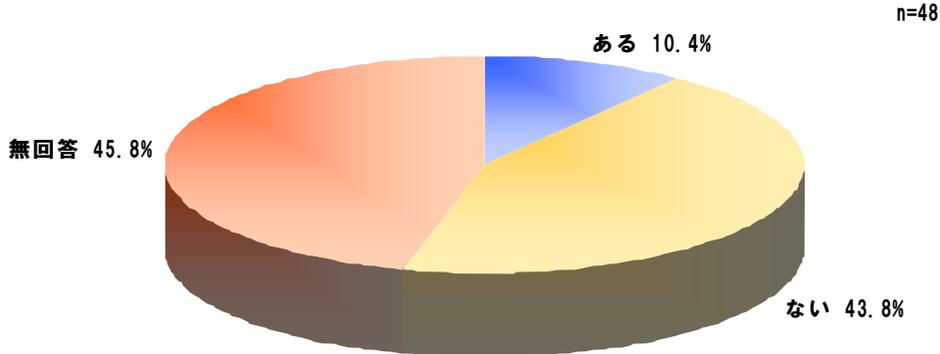
図表 3-97 古本 (中古品として利用できるものの有無)



10) 引き取ったカー用品で中古品として利用できるものの有無

引き取ったカー用品で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が 43.8% (21 件)、「ある」が 10.4% (5 件) である。

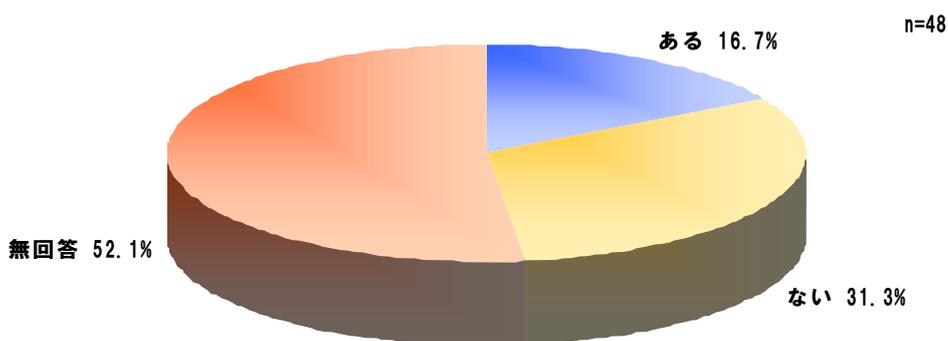
図表 3-98 カー用品 (中古品として利用できるものの有無)



11) 引き取ったその他品目で中古品として利用できるものの有無

引き取ったその他品目で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が 31.3% (15 件)、「ある」が 16.7% (8 件) である。

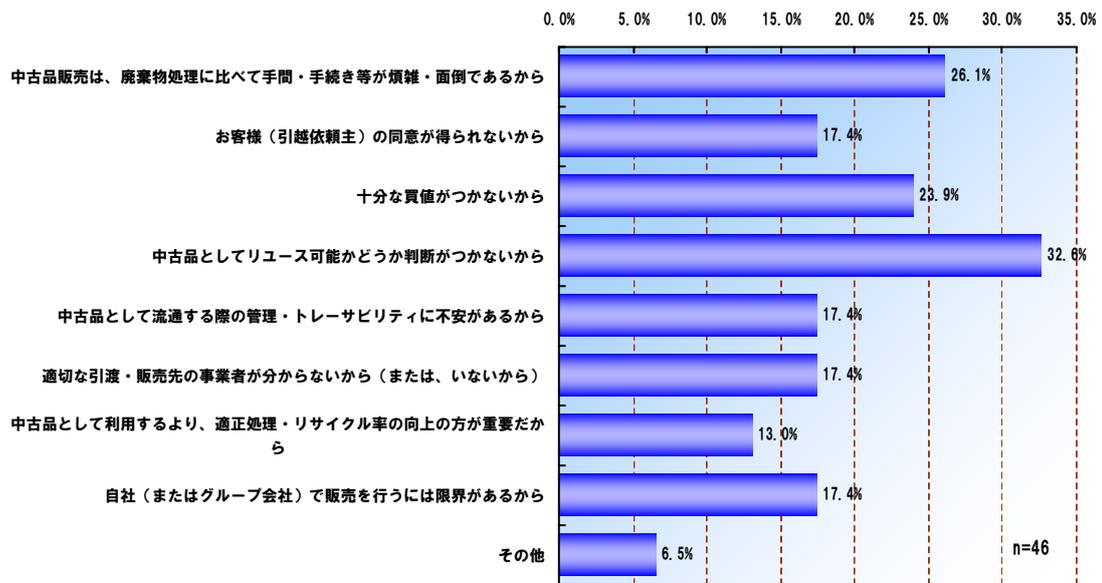
図表 3-99 その他品目 (中古品として利用できるものの有無)



(7) 中古品として流通していない理由について

中古品として流通していない理由（複数回答可）について、「中古品としてリユース可能かどうか判断がつかないから」が最も多く 32.6%（15 件）、次いで「中古品販売は、廃棄物処理に比べて手間・手続き等が煩雑・面倒であるから」が 26.1%（12 件）、「十分な買値がつかないから」が 23.9%（11 件）と続く。

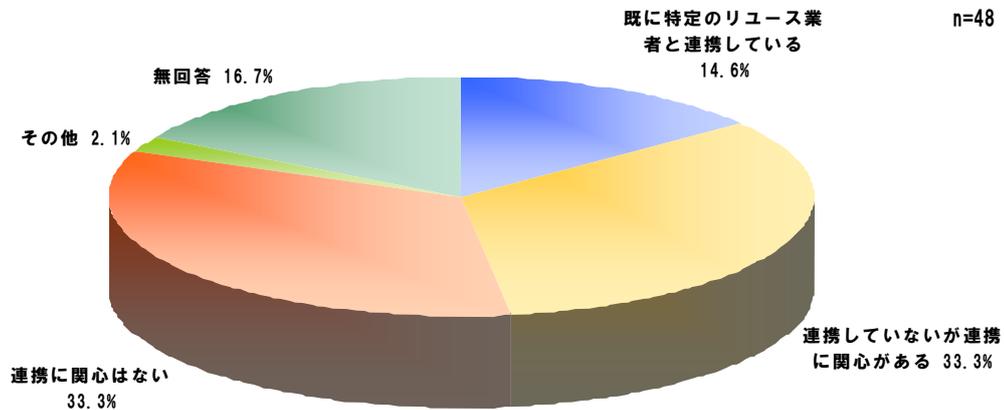
図表 3-100 中古品として流通していない理由について



(8) 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について

特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について、「連携していないが連携に関心がある」と「連携に関心はない」が同数で33.3%（16件）、次いで「既に特定のリユース業者と連携している」が14.6%（7件）となっている。

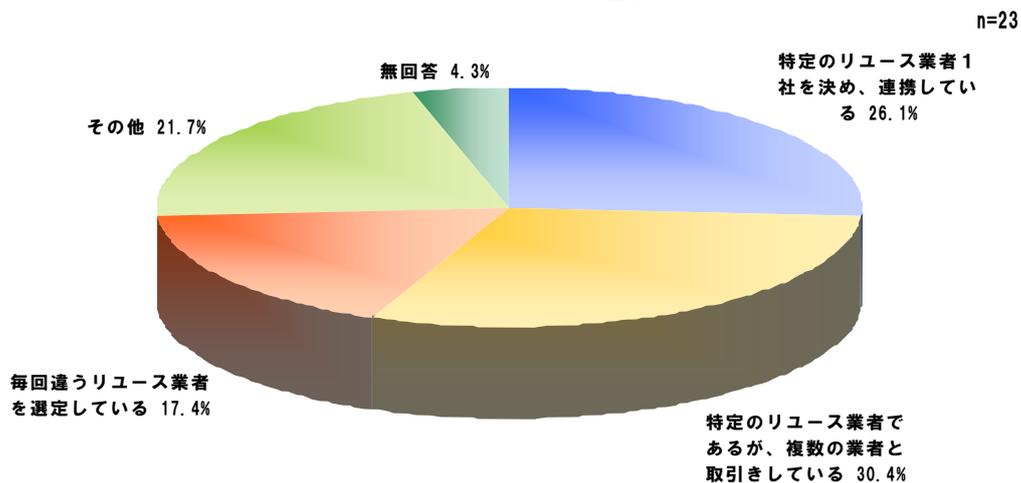
図表 3-101 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について



(9) リユース業者との連携の方法について

リユース業者との連携の方法について、「特定のリユース業者であるが、複数の業者と取引きしている」が30.4%（7件）、次いで「特定のリユース業者1社を決め、連携している」が26.1%（6件）、「その他」が21.7%（5件）となっている。

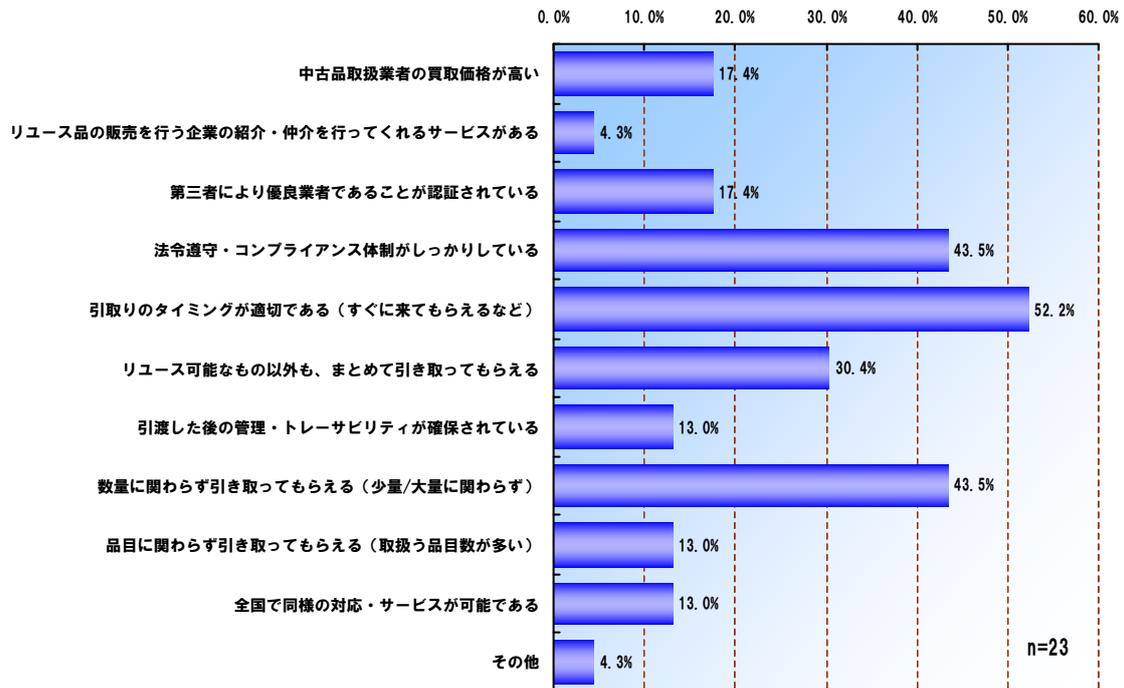
図表 3-102 リユース業者との連携の方法について



(10) リユース業者の選定の対応・条件について

リユース業者の選定の対応・条件（複数回答可）について、「引取りのタイミングが適切である（すぐに来てもらえるなど）」が最も多く 52.2%（12 件）、次いで「法令遵守・コンプライアンス体制がしっかりしている」と「数量に関わらず引き取ってもらえる（少量/大量に関わらず）」とが同数で 43.5%（10 件）、「リユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえる」が 30.4%（7 件）と続く。

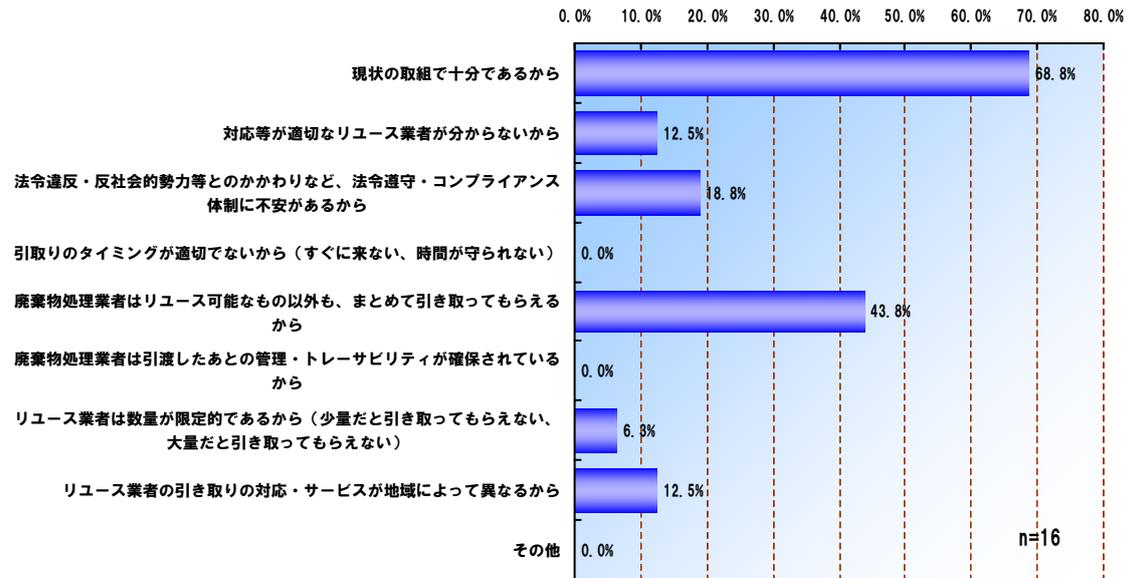
図表 3-103 リユース業者の選定の対応・条件について



(11) 連携に関心がない理由について

連携に関心がない理由（複数回答可）について、「現状の取組で十分であるから」が最も多く68.8%（11件）、次いで「廃棄物処理業者はリユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえるから」が43.8%（7件）、「法令違反・反社会的勢力等のかかわりなど、法令遵守・コンプライアンス体制に不安があるから」が18.8%（3件）と続く。

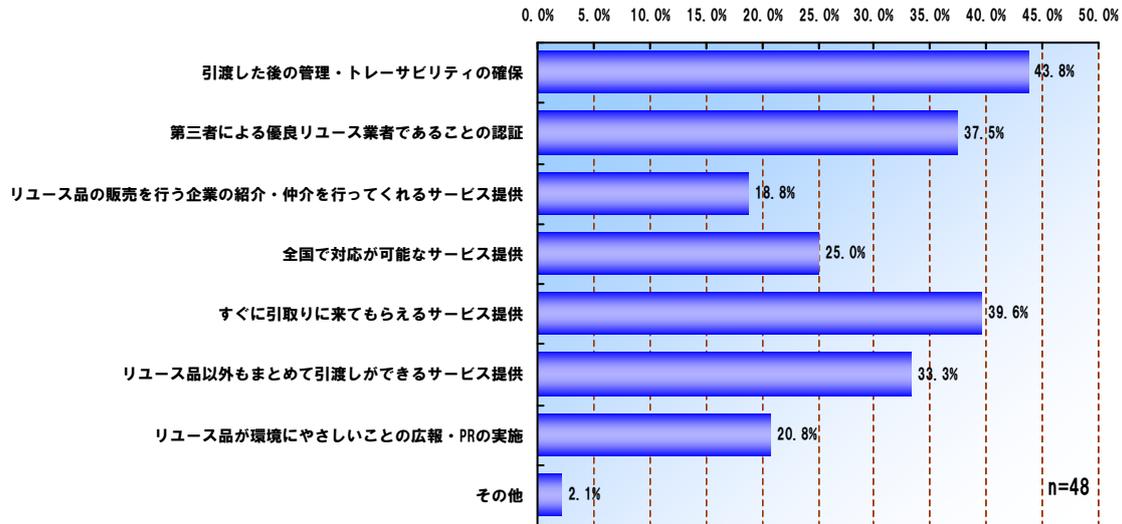
図表 3-104 連携に関心がない理由について



(12) 推進して欲しいと思う取組について

推進して欲しいと思う取組（複数回答可）について、「引渡した後の管理・トレーサビリティの確保」が最も多く 43.8%（21 件）、次いで「すぐに引取りに来てもらえるサービス提供」が 39.6%（19 件）、「第三者による優良リユース業者であることの認証」が 37.5%（18 件）と続く。

図表 3-105 推進して欲しいと思う取組について



(13) リユース業界に対する意見・要望など（自由回答）

<買取について>

- ・お金にならない（値のつかない）物は、引き取らないリユース業者が多く、手間だけ掛かってしまい、お客様のニーズにあっていないことが多い。
- ・リユース業者は多いが、製品価値をすごく破格にて引取りされ、お客様より苦情が出る事が多い。また、本当に価値が有り、すぐ売れる物は引取るが、何か有れば「この品物は処分料を頂きます」との申し出が多い。
- ・買い取り基準の明瞭性が必要。

<スペースについて>

- ・持ち込んだ時に十分な駐車スペースがあれば良い。

<指針・制度について>

- ・どんな物がリユース出来るのか、家電年式等の具体的な指針があれば判断しやすい。
- ・広く一般の人達にリユースという知識を覚えてもらい、活用してもらうためのルール作りを行ってほしい。

<その他（不用品回収業者について）>

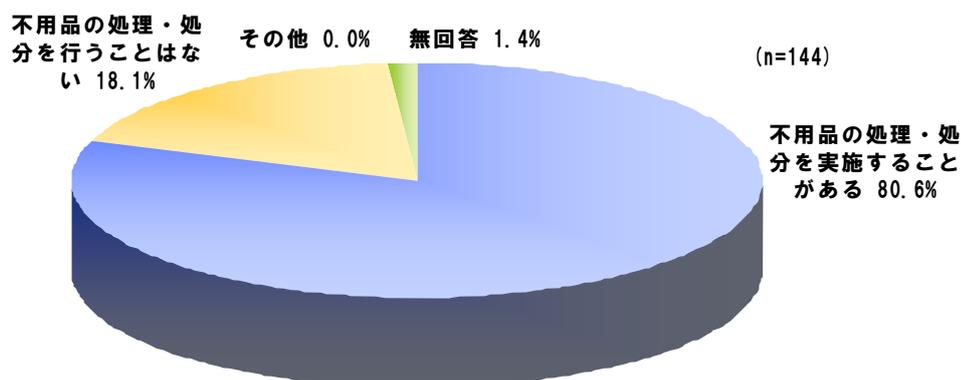
- ・私共は、廃棄物収集書運搬の許可を受け 2 年に 1 回の更新手続き、又月 1 回の報告書等を行っている。なぜか、無許可での業者がたくさん町中で回収（一部有料で）している状況です。行政としての取り組みはないのでしょうか。

4. ビル・賃貸マンション等の管理業

(1) 不用品の処理・処分の有無について

不用品の処理・処分の有無について、「不用品の処理・処分を実施することがある」との回答が80.6%（116件）と8割以上を占めている。

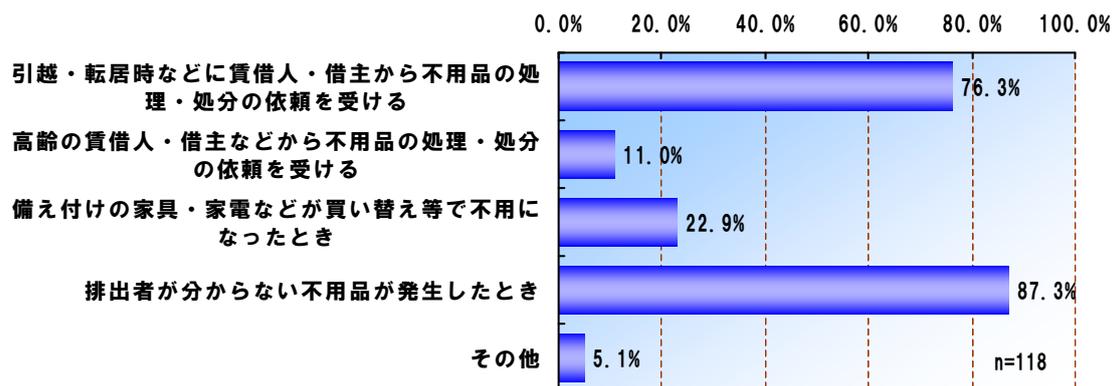
図表 3-106 不用品の処理・処分の有無について



(2) 不用品の処理・処分を行う場合について

不用品の処理・処分を行う場合（複数回答可）について、「排出者が分からない不用品が発生したとき（捨てた人が分からない粗大ごみなど）」との回答が最も多く87.3%（103件）、次いで「引越・転居時などに賃借人・借主から不用品の処理・処分の依頼を受ける」との回答が76.3%（90件）、「備え付けの家具・家電などが買い替え等で不用になったとき」との回答が22.9%（27件）と続く。

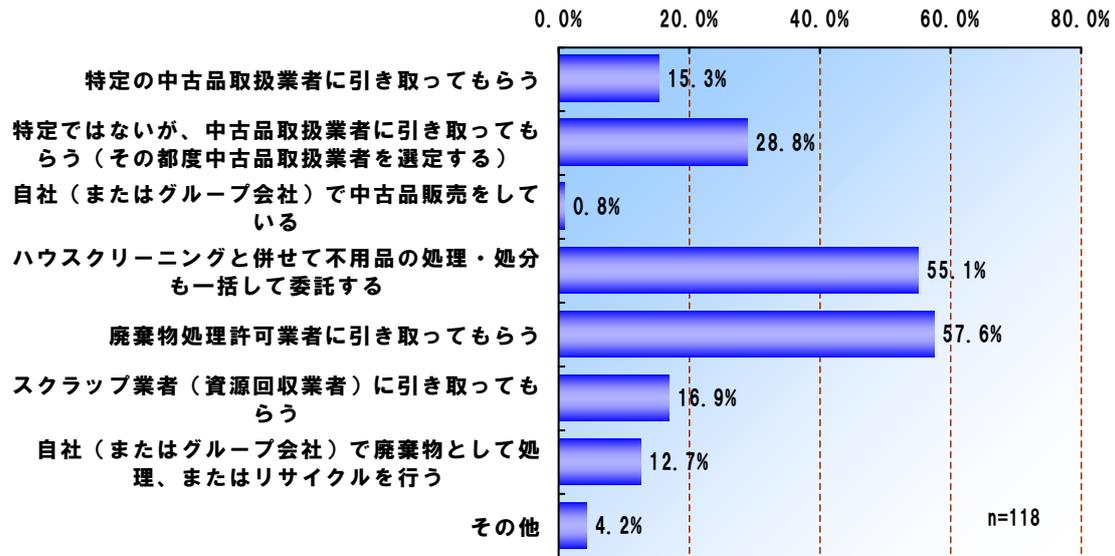
図表 3-107 不用品の処理・処分を行う場合について



(3) 不用品の処理・処分の方法について

不用品の処理・処分の方法（複数回答可）について、「廃棄物処理許可業者に引き取ってもらう」との回答が最も多く 57.6%（68 件）、次いで「ハウスクリーニングと併せて不用品の処理・処分も一括して委託する」との回答が 55.1%（65 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引き取ってもらう（その都度中古品取扱業者を選定する）」との回答が 28.8%（34 件）と続く。

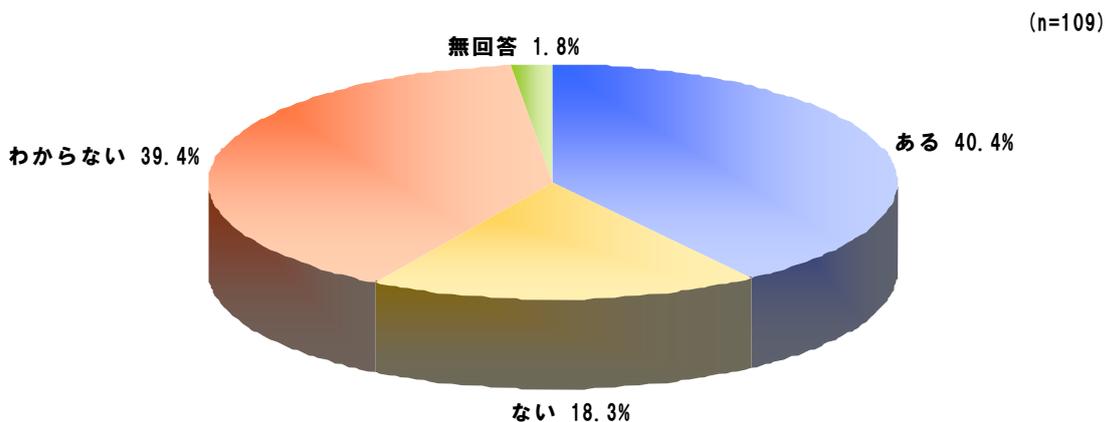
図表 3-108 不用品の処理・処分の方法について



(4) 中古品として利用できるものの有無について

中古品として利用できるものの有無について、「ある」との回答が最も多く 40.4%（44 件）、次いで「わからない」との回答が 39.4%（43 件）、「ない」との回答が 18.3%（20 件）と続く。

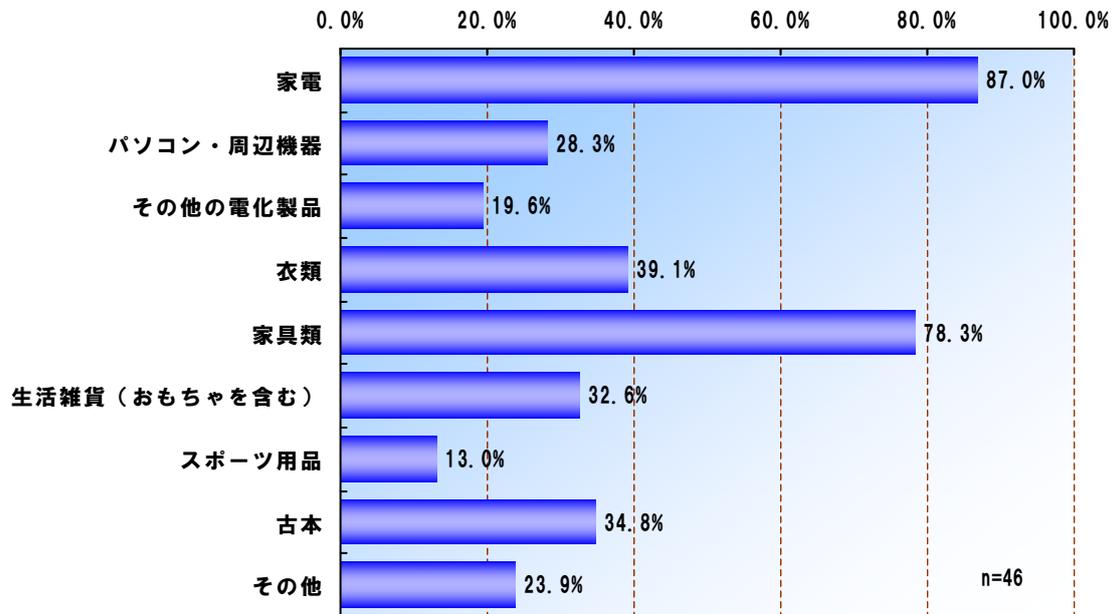
図表 3-109 中古品として利用できるものの有無について



(5) 引き取ったことがある品目について

引き取ったことがある品目（複数回答可）について、「家電」との回答が最も多く 87.0%（40 件）、次いで「家具類」との回答が 78.3%（36 件）、「衣類」との回答が 39.1%（18 件）と続く。

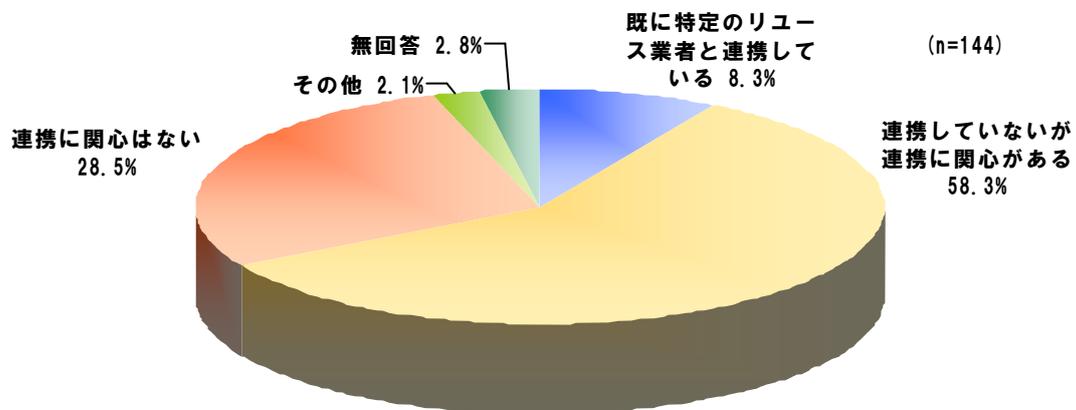
図表 3-110 引き取ったことがある品目



(6) リユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について

リユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について、「連携していないが連携に関心がある」との回答が最も多く 58.3%（84 件）、次いで「連携に関心はない」との回答が 28.5%（41 件）、「既に特定のリユース業者と連携している」との回答が 8.3%（12 件）と続く。

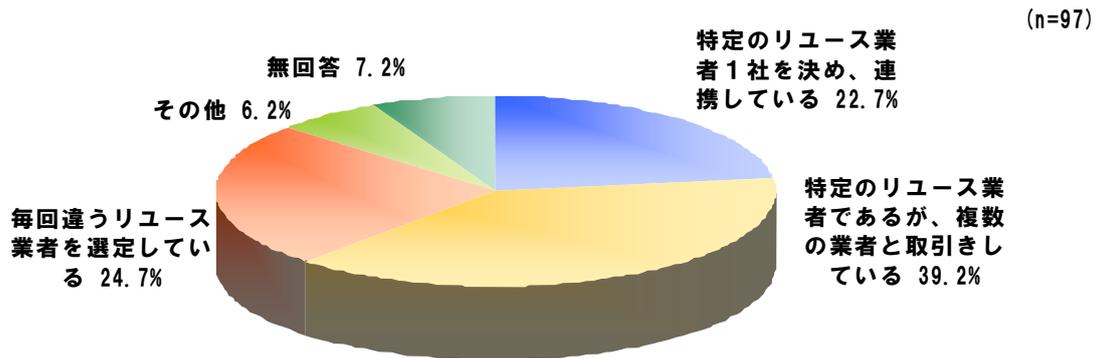
図表 3-111 リユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について



(7) リユース業者との連携の方法について

リユース業者との連携の方法について、「特定のリユース業者であるが、複数の業者と取引している」との回答が最も多く 39.2% (38 件)、次いで「毎回違うリユース業者を選定している」との回答が 24.7% (24 件)、「特定のリユース業者 1 社を決め、連携している」との回答が 22.7% (22 件) と続く。

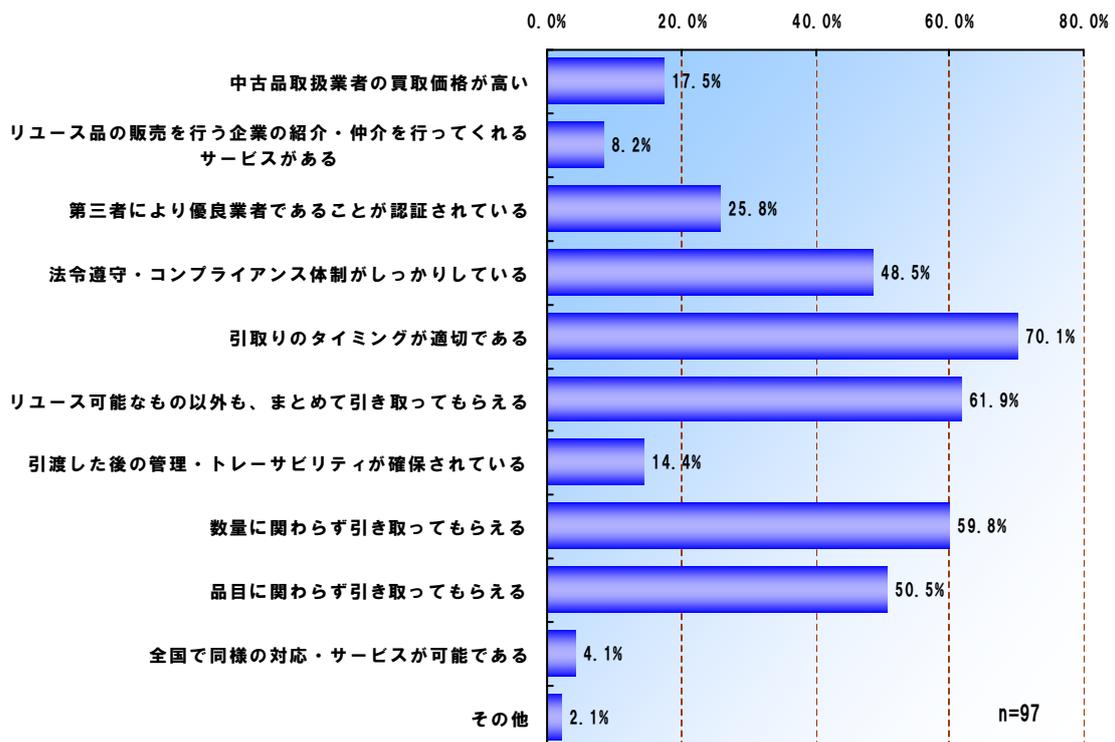
図表 3-112 リユース業者との連携の方法について



(8) リユース業者の選定の対応・条件について

リユース業者の選定の対応・条件（複数回答可）について、「引取りのタイミングが適切である」との回答が最も多く 70.1% (68 件)、次いで「リユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえる」との回答が 61.9% (60 件)、「数量に関わらず引き取ってもらえる」との回答が 59.8% (58 件) と続く。

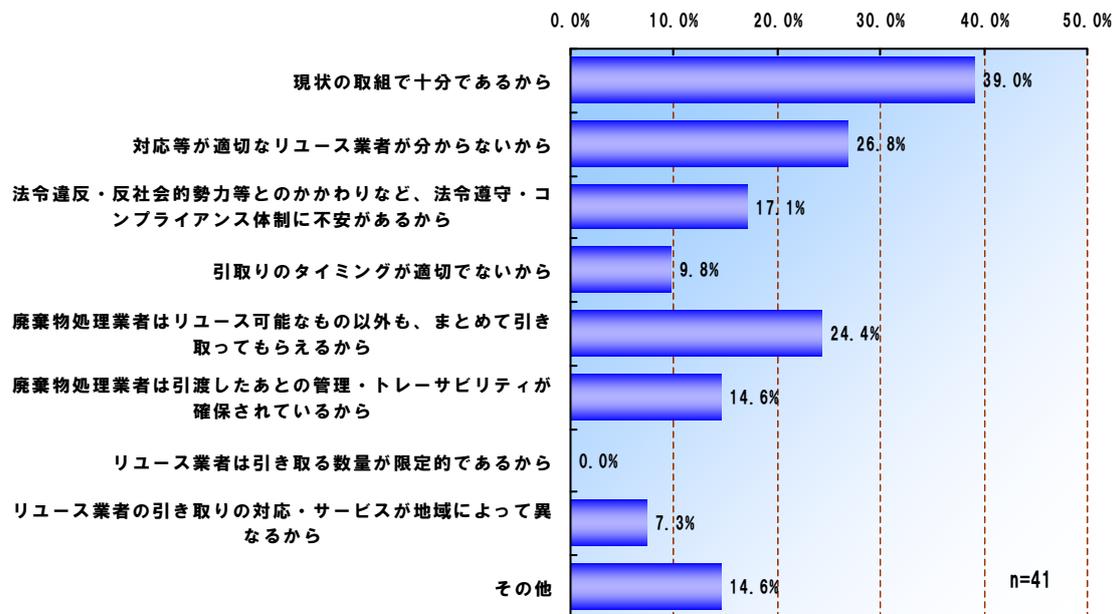
図表 3-113 リユース業者の選定の対応・条件について



(9) 連携に関心がない理由について

連携に関心がない理由（複数回答可）について、「現状の取組で十分であるから」との回答が最も多く 39.0%（16 件）、次いで「対応等が適切なリユース業者が分からないから」との回答が 26.8%（11 件）、「廃棄物処理業者はリユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえるから」との回答が 24.4%（10 件）と続く。

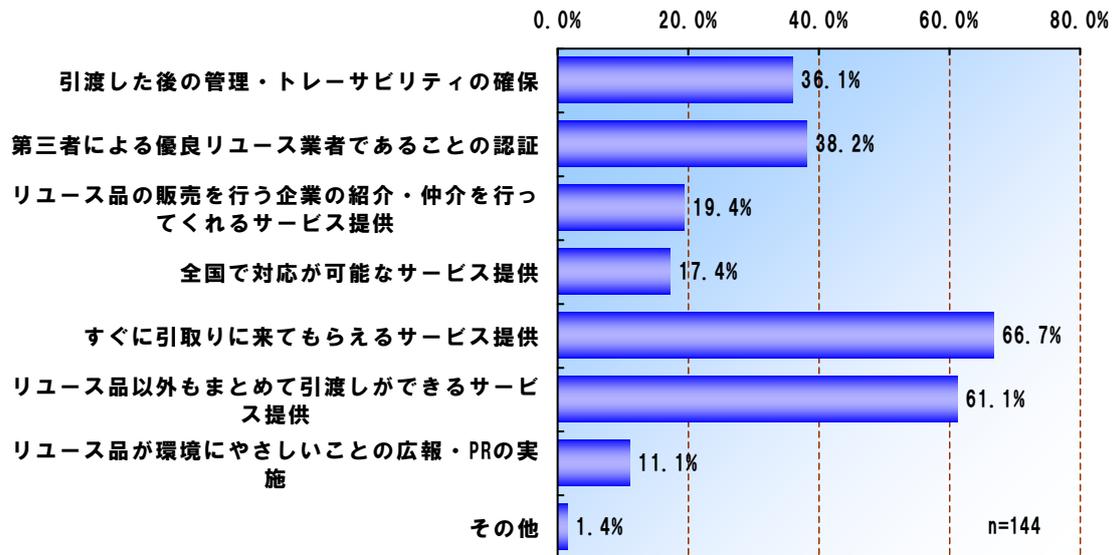
図表 3-114 連携に関心がない理由について



(10) リユース業界に推進して欲しいと思う取組について

リユース業界に推進して欲しいと思う取組（複数回答可）について、「すぐに引取りに来てもらえるサービス提供」との回答が最も多く 66.7%（96 件）、次いで「リユース品以外もまとめて引渡しができるサービス提供」との回答が 61.1%（88 件）、「第三者による優良リユース業者であることの認証」との回答が 38.2%（55 件）と続く。

図表 3-115 リユース業界に推進して欲しいと思う取組について



(11) リユース業界に対する意見・要望など（自由回答）

<中古品取扱業者についての意見>

- ・あまり信用できない人が多い様な気がします。対外的にも認められるように身なり、言葉使い等の初歩的なものからきちんとして欲しい。
- ・悪質業者の締め出しを強化して頂きたい。
- ・考えそのものは大変良い事だと思いますが、一括で処分していただける様な業者が欲しい、又、育てて欲しいと思っております。
- ・買い取られた額に対し、適切な価格(法外な設定をせず)で消費者に渡してほしい。

<消費者についての意見>

- ・粗大ゴミが年々増えてきて頭を悩ませています。特に不法投棄。修理するより買い換えた方が安価なのが問題では。物を大切に作る心が日々うすれてきている。
- ・ゴミ置場にテレビ冷蔵庫等、大型家電をだまっておいてゆく。費用がかかります。市では引きとってくれません。困っています。
- ・入居者向けの不用品買取サービスのチラシ等があれば、契約締結時に渡せるので、もれなく周知をすることが出来るので、助かると思う。
- ・現在、物が飽和状態にあり、不用品が多数出て来ている。その中で、3R（リデュース・リユース・リサイクル）は、昔から叫ばれて来ている、日本の社会全体が、その方向に動いて行ければ、日本も良くなるのではないか。
- ・リユースしたい人への幅広い情報提供が必要。

<国・地方自治体についての意見>

- ・リユースの前に、家具、家電付の賃貸物件にした方が環境的には良いと考えられる。現状ではリユースも課題ではあるが、家具・家電付にすれば、ほぼ問題はリサイクルの部分になるのではないか。但し、コスト面(維持管理面を含む)が課題として残る。補助金等も一手ではあるが、根本的には賃料の設定等の問題、特に消費者契約法による契約の自由度の制限が大きい。
- ・引渡者、引取者の両方に、より良い仕組みをつくり、地方公共団体と連携して取りくんで欲しい。

<その他>

- ・不法投棄等もなくなるように、期待しています。

平成 22 年度環境省請負業務報告書

「平成 22 年度使用済製品等のリユース促進事業」

平成 23 年 3 月 31 日

発注者 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

請負者 東京都港区港南 2-16-4

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社